

JK3447

86
206

匈牙利王國森林視察復命書



第一	匈牙利王國ノ形勢	一
第二	匈牙利王國ノ國柄	七
第三	森林ノ沿革及林政ノ確立セル機會	二十一
第四	森林ノ狀況	三十三
第五	森林ノ管理監督ノ組織	四十四
第六	森林官ノ配置及其職務	六十一
第七	森林ノ警察的及司法的事項ノ裁斷	百七
第八	人事及教育並林業夫	百二十一
第九	林業ノ執行及森林工場ノ狀況	百五十九
第十	森林ノ收支及林產物ノ輸出入並消費ノ狀況	百九十一

目次

目次

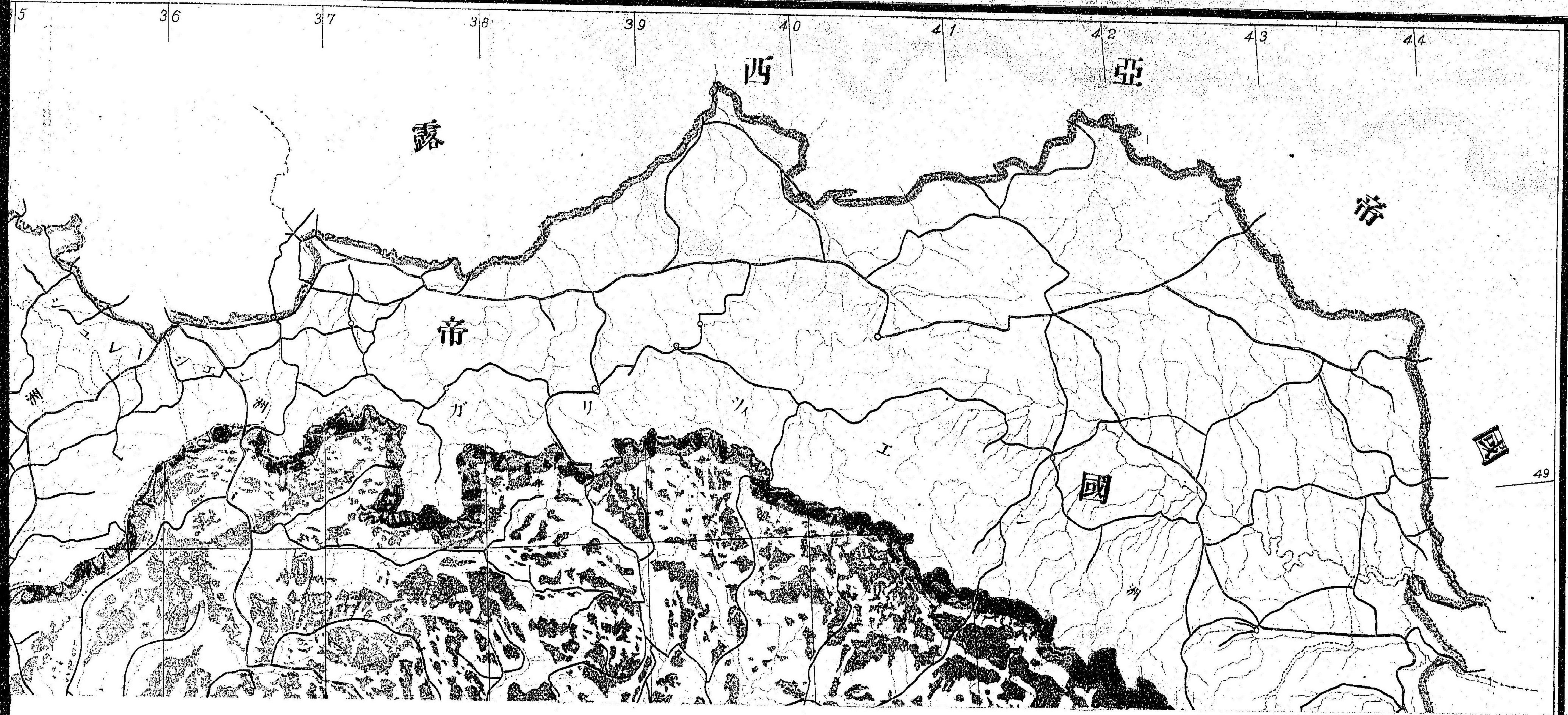
二

第十一 匈牙利王國林政ニ附帶スル重要事項
第十二 匈牙利王國ノ林政視察ニ對スル所感

二百二十三頁

二百四十五頁

目次終

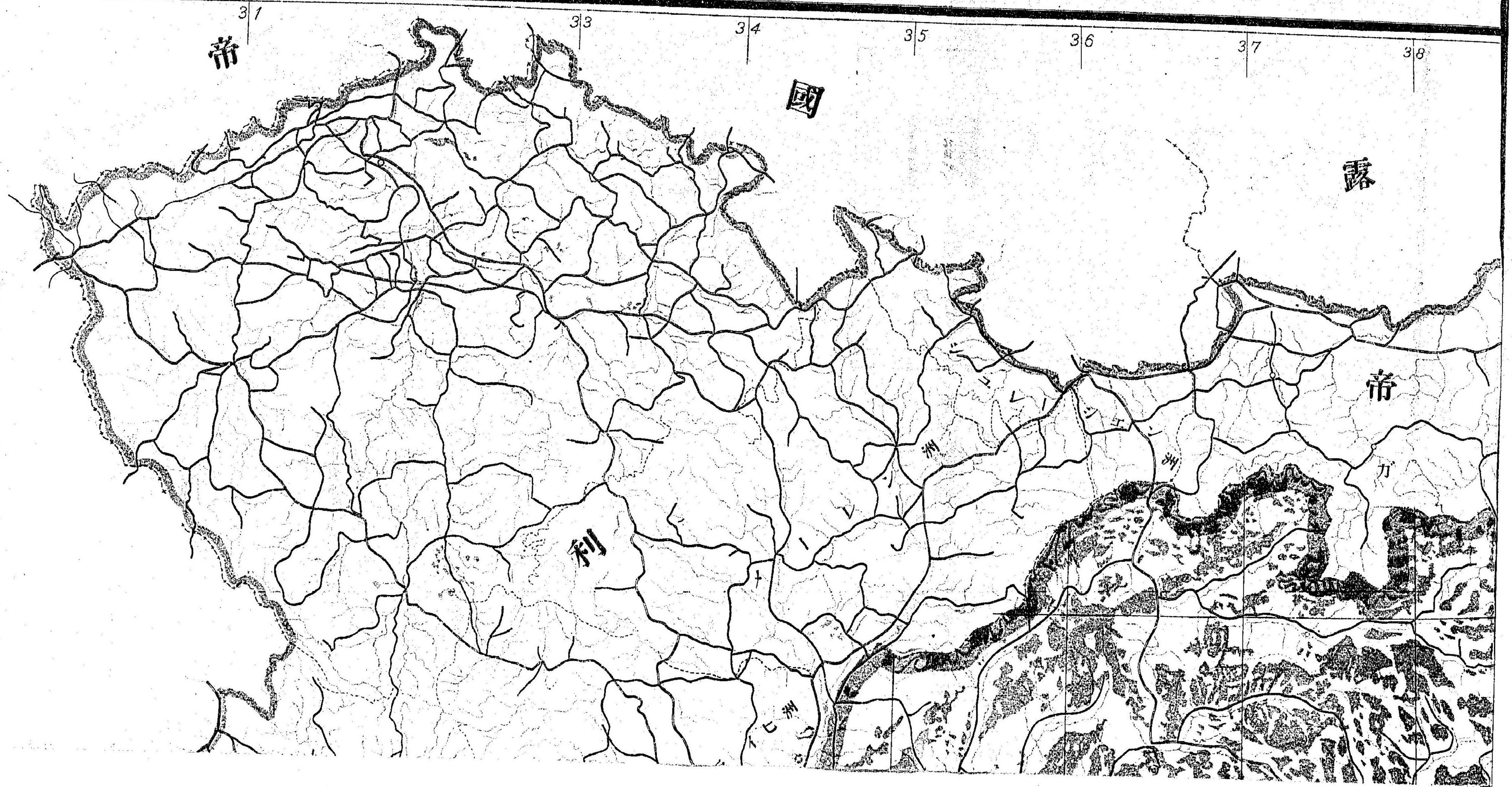


第一圖

國王

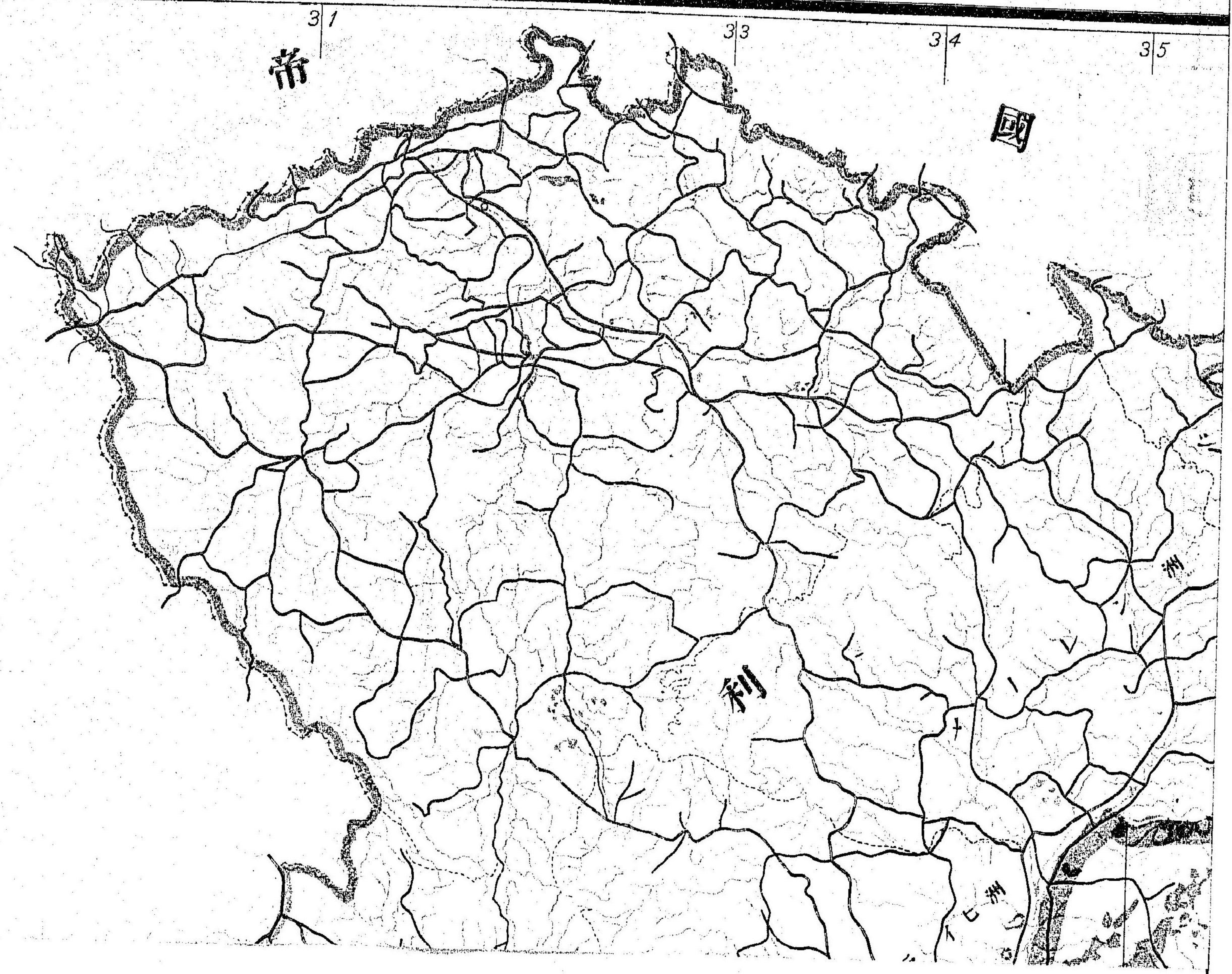
位置圖

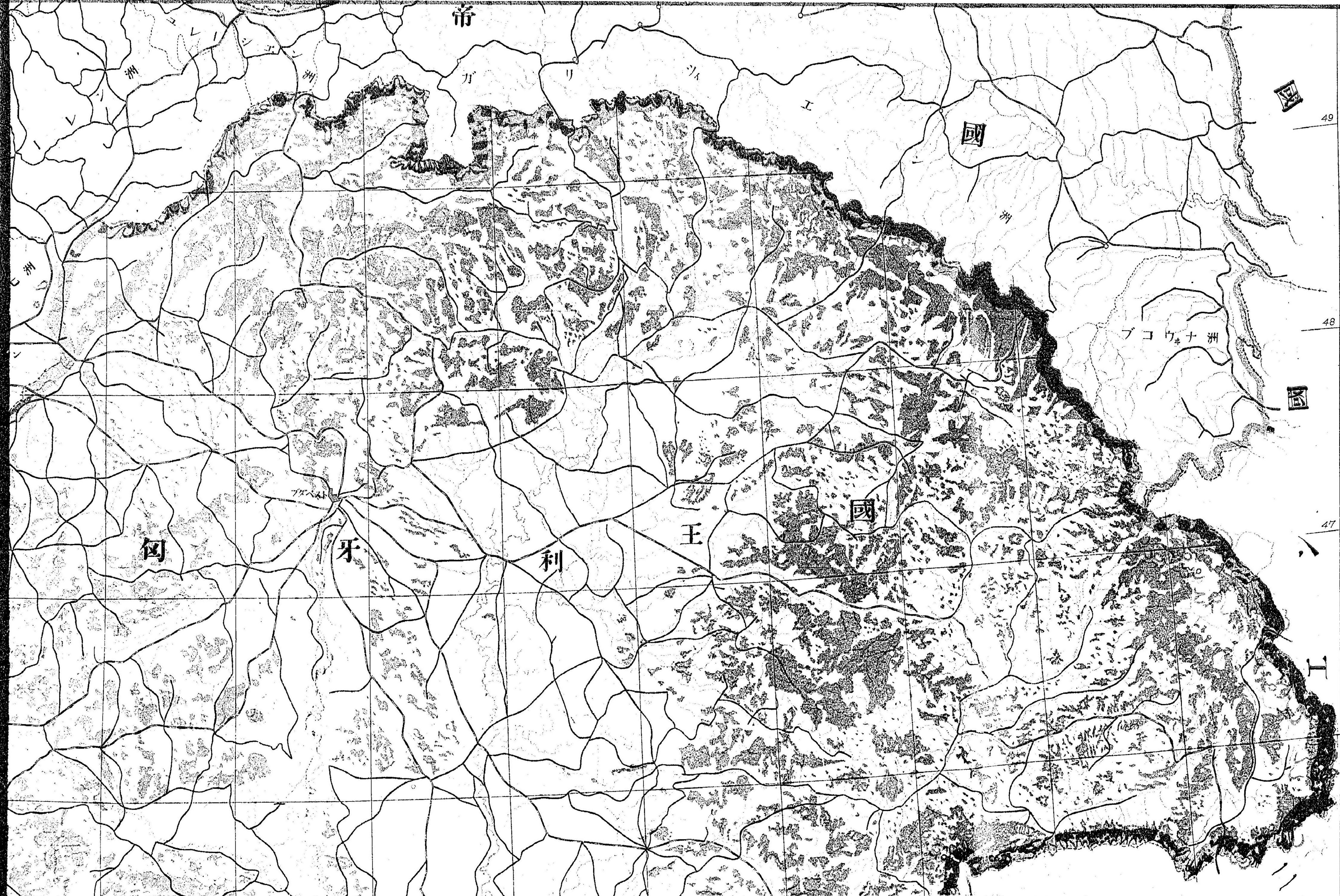
遊

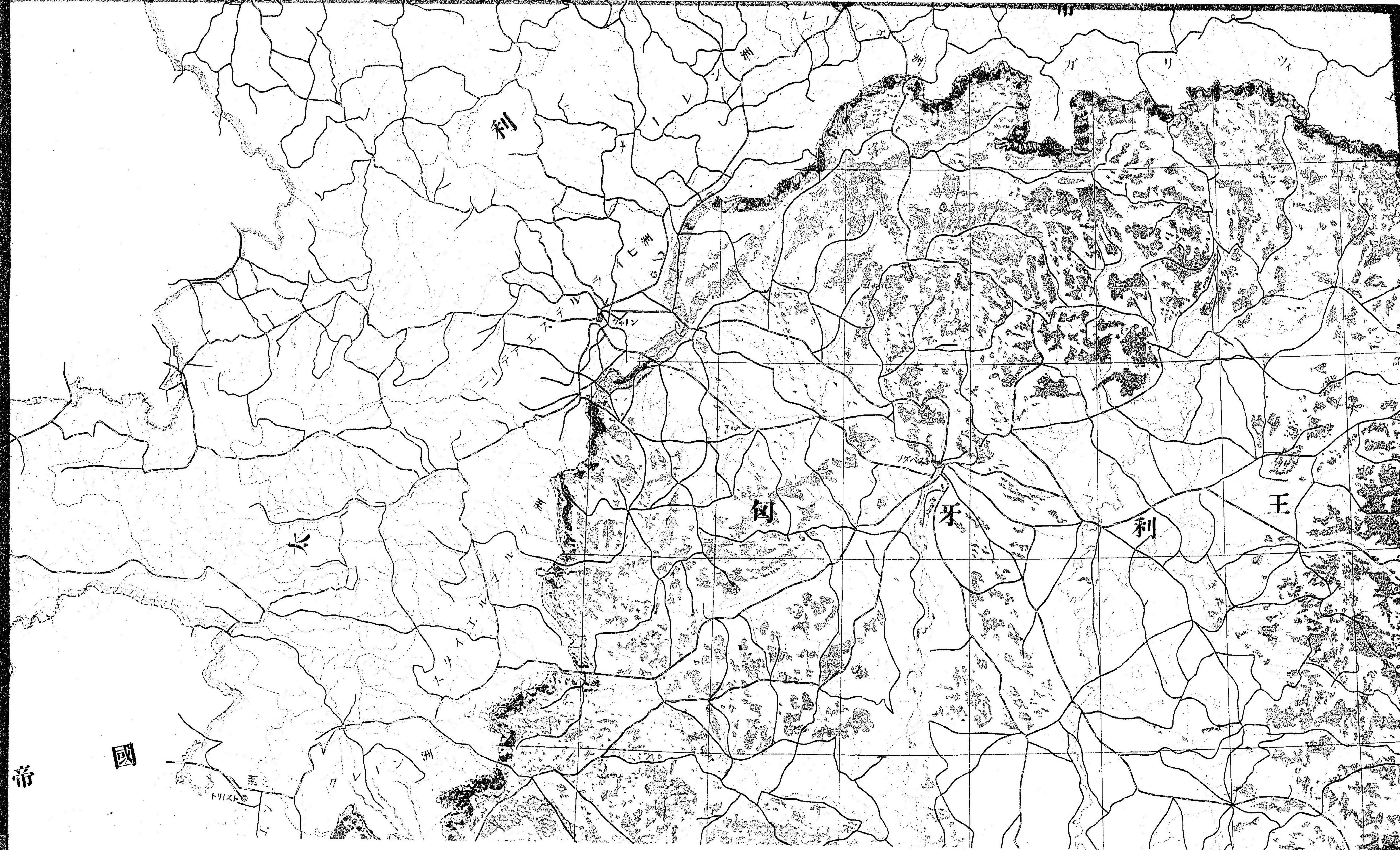


匈牙利王國

森林位置圖







利

王

牙

匈

利

太

國

帝

系

州

洲

洲

力

リ

シ

州

州

洲

州

州

州

州

州

州

系

系

49

遊

48

獨

47

羅

西

共

和

國

46

太

利

帝

國

トリス

州

工

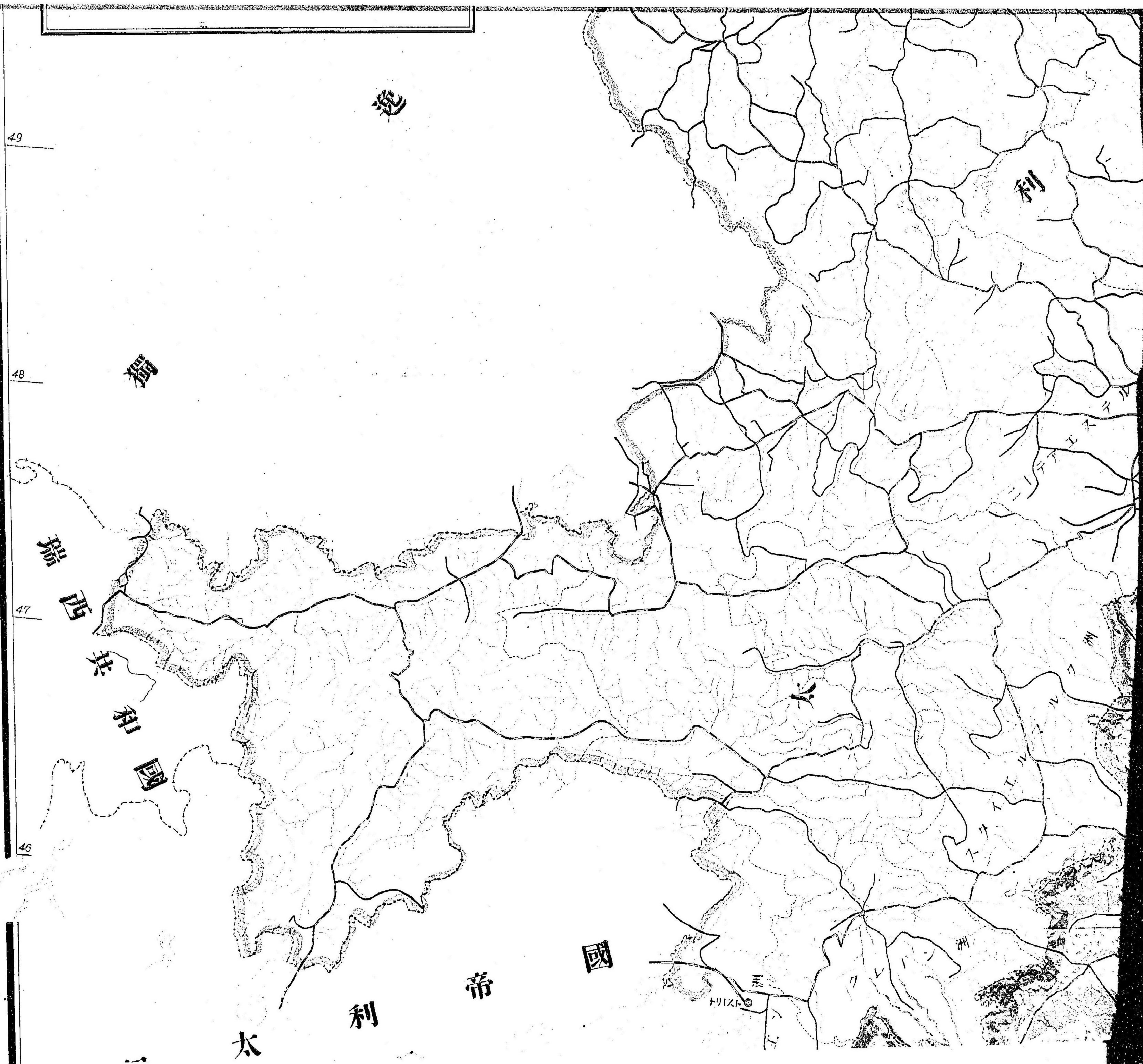
利

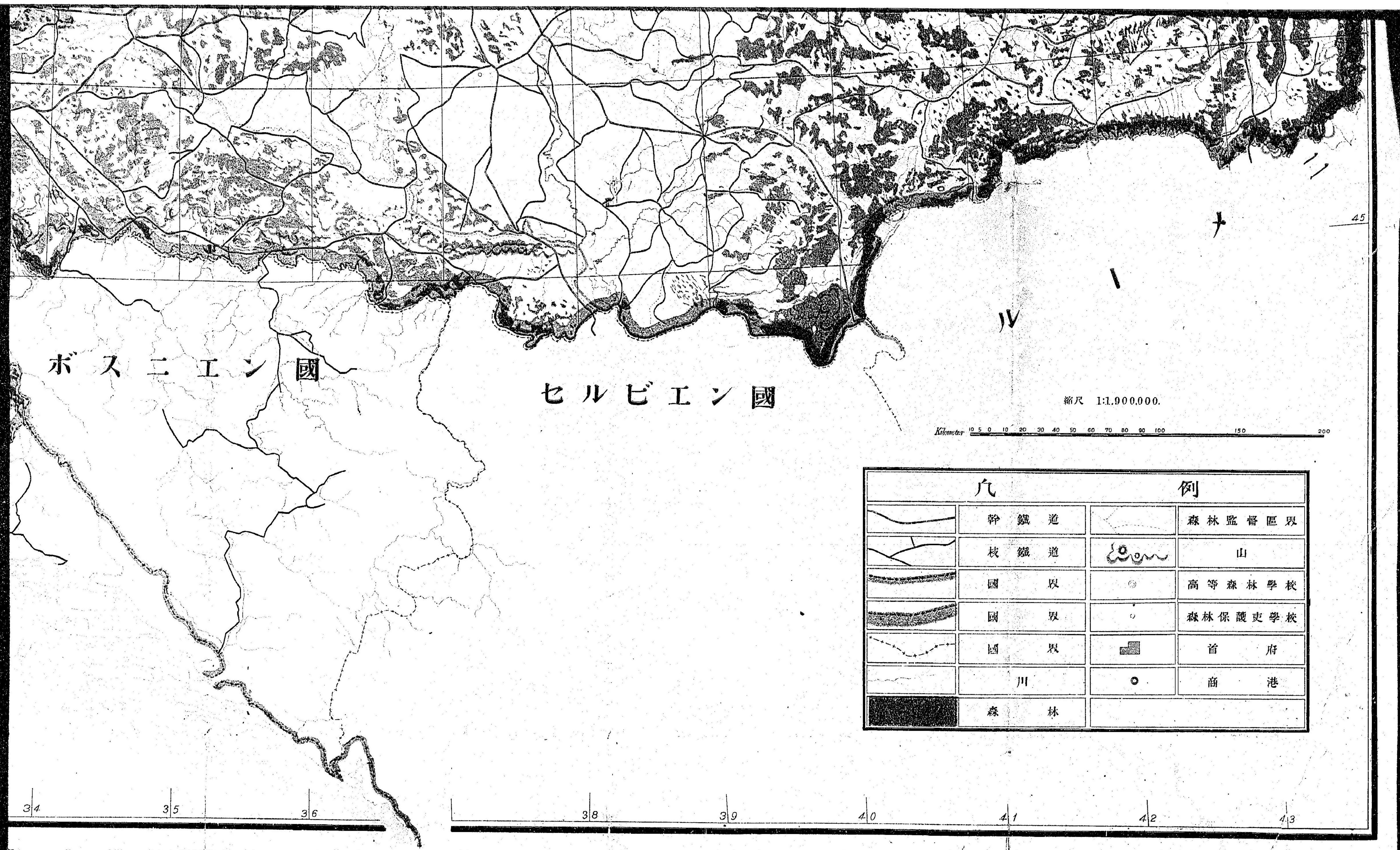
太

州

州

州





ボスニエン國

セルビエン國

縮尺 1:1,900,000.

Kilometer 0 5 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 150 200

凡		例	
	幹鐵道		森林監督區界
	枝鐵道		山
	國界		高等森林學校
	國界		森林保護吏學校
	國界		首府
	川		商港
	森林		

34

35

36

38

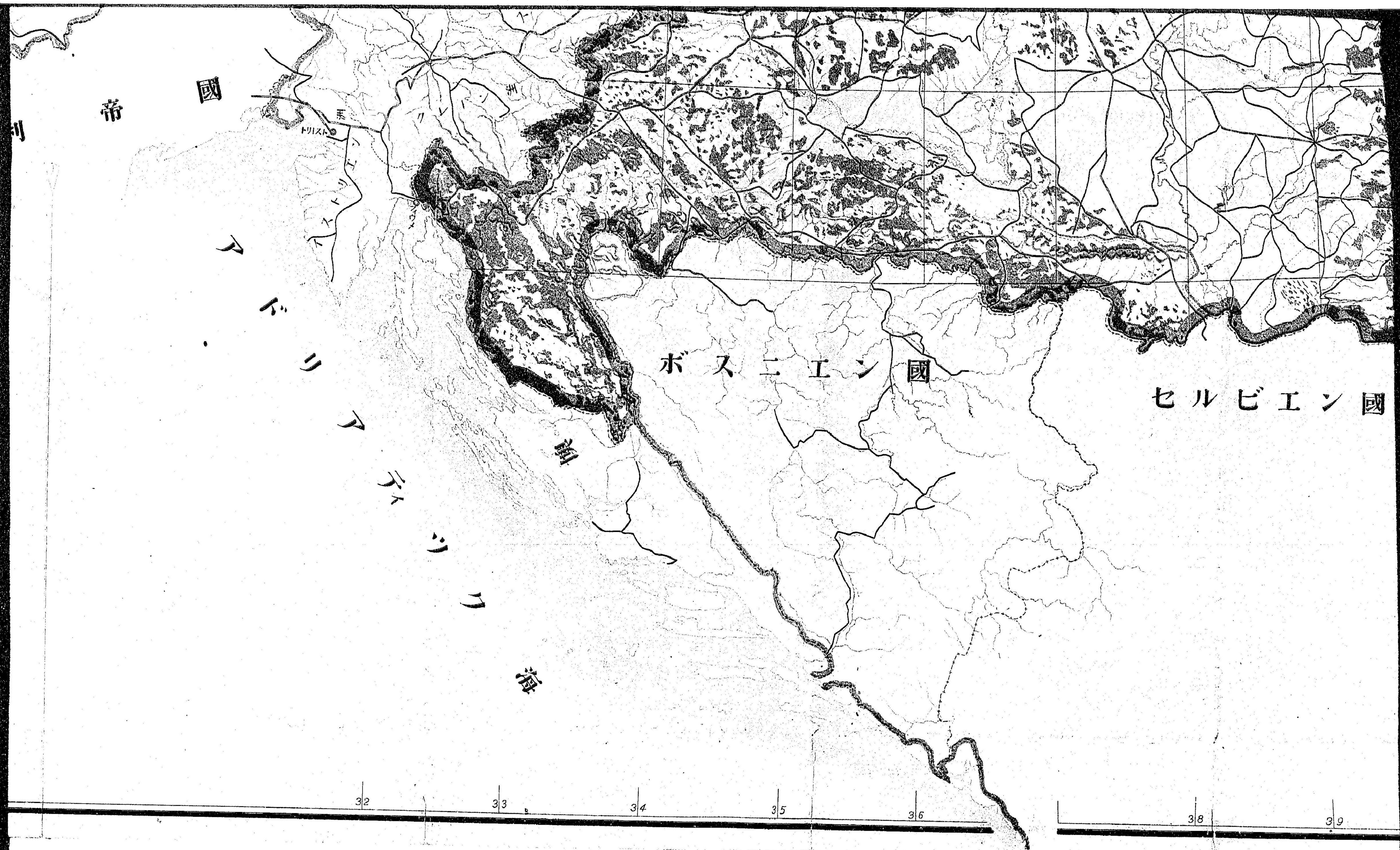
39

40

41

42

43



利

帝

國

ア

ド

リ

ア

チ

ク

コ

海

洲

トリステ

ザグレブ

ボスニエン國

セルビエン國

32

33

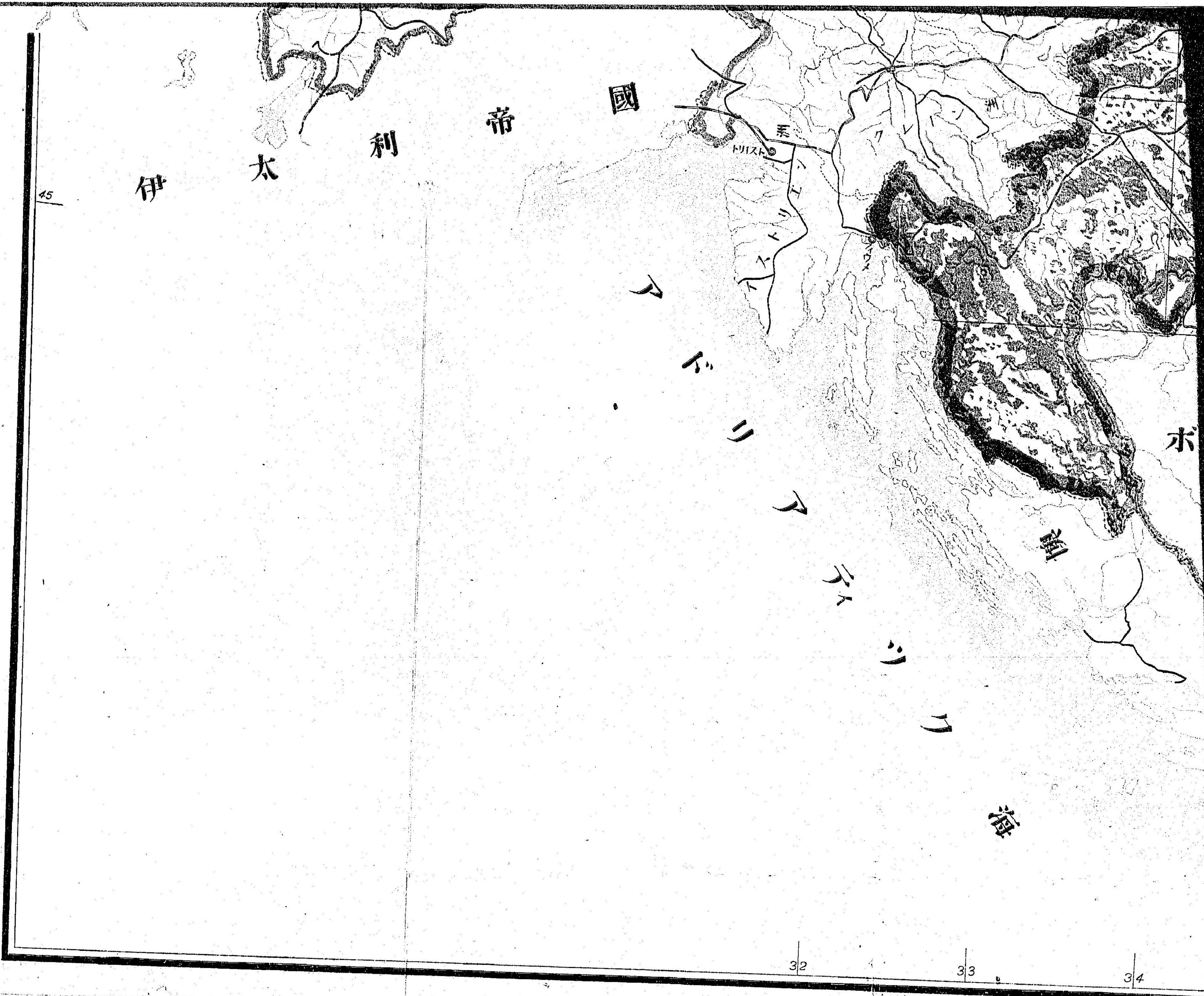
34

35

36

38

39



伊 太 利 帝 國

45

トリス

ア

ム

シ

ア

ル

シ

リ

海

ホ

島

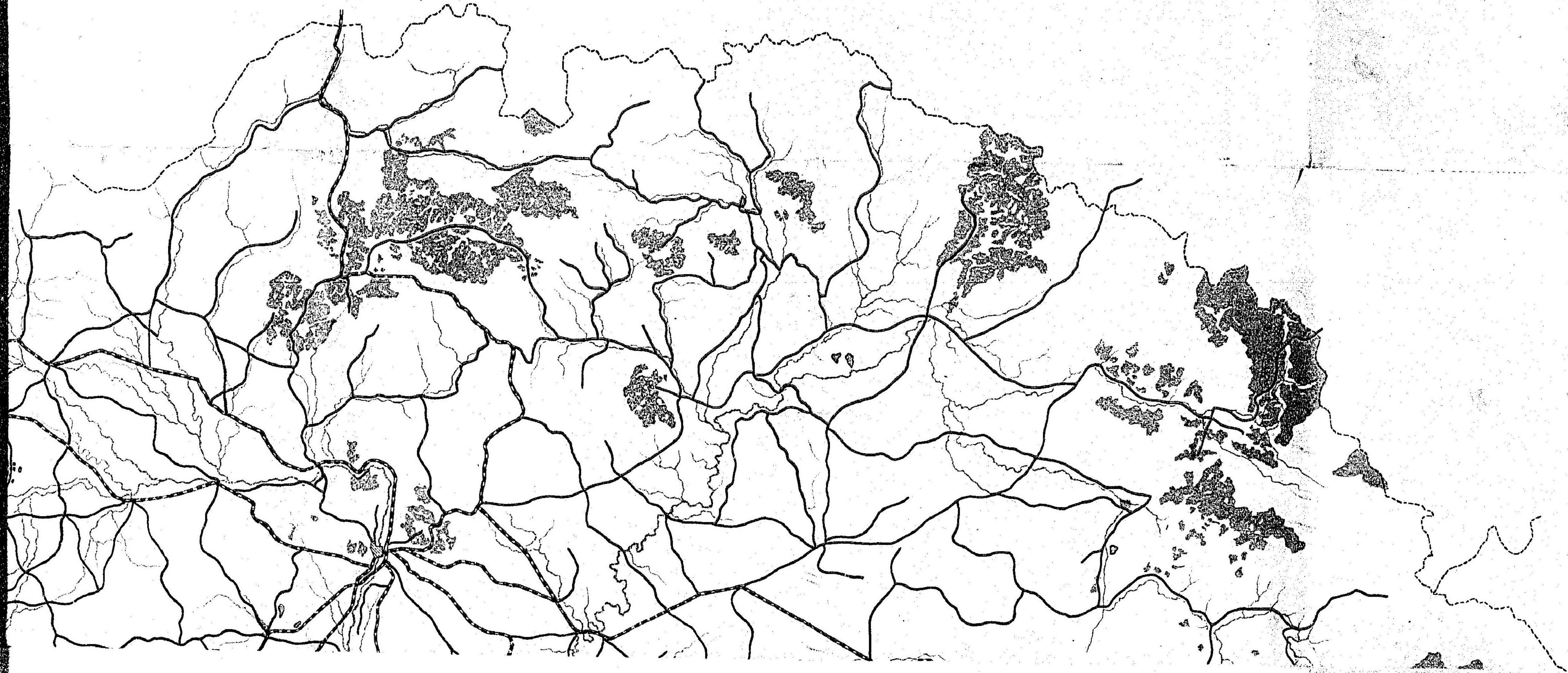
32

33

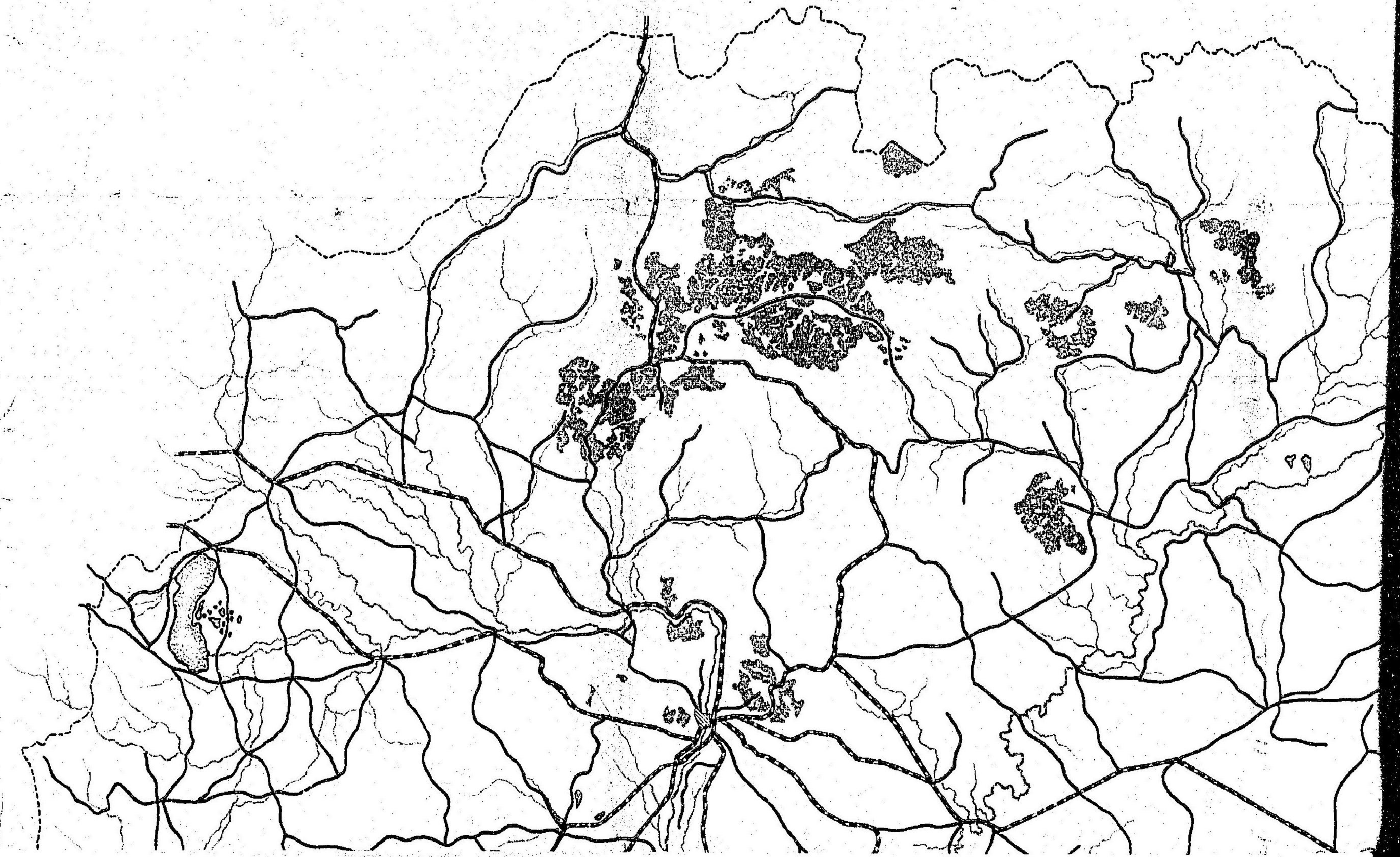
34

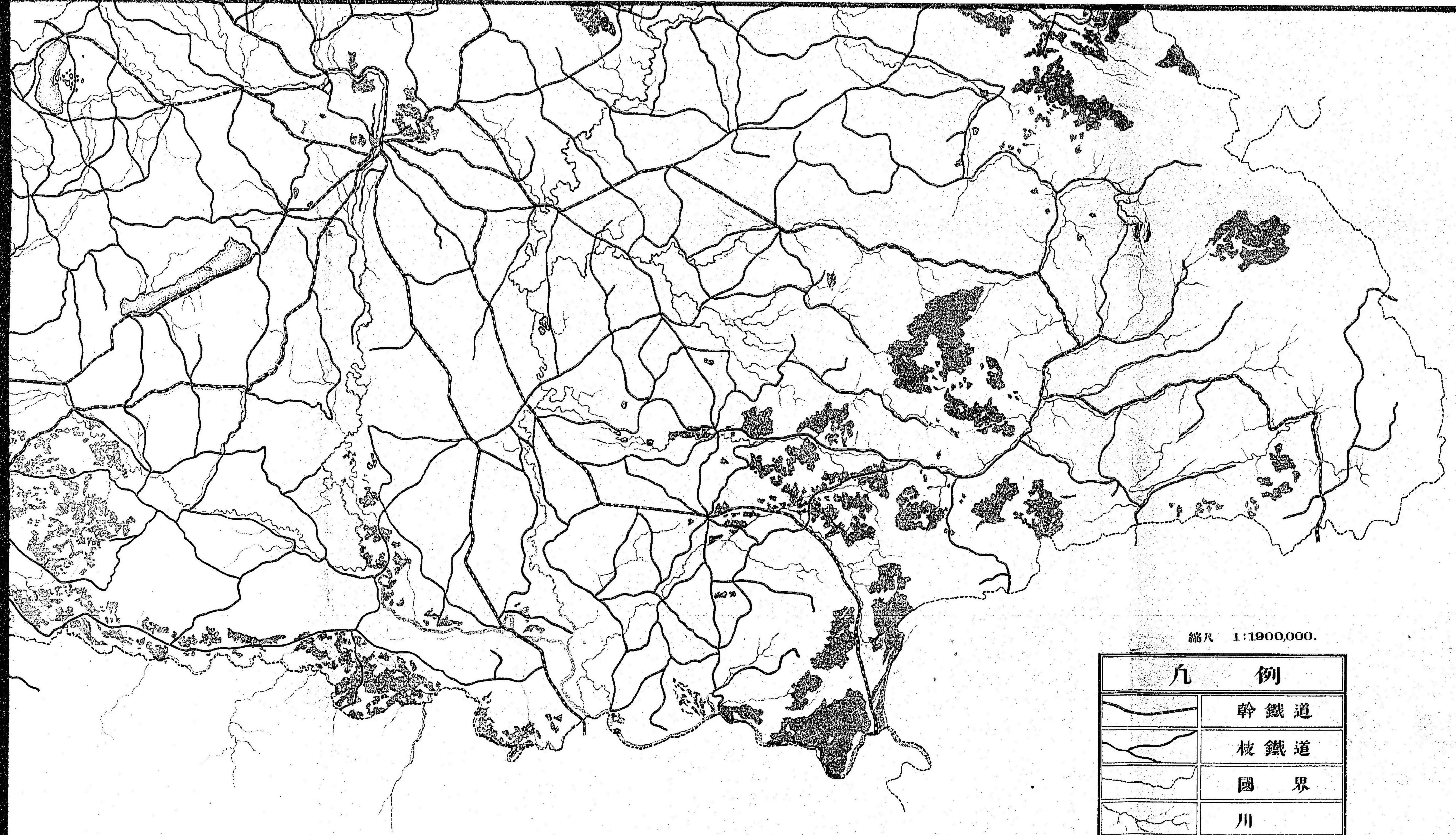
匈牙利王國國有林位置圖

第二圖








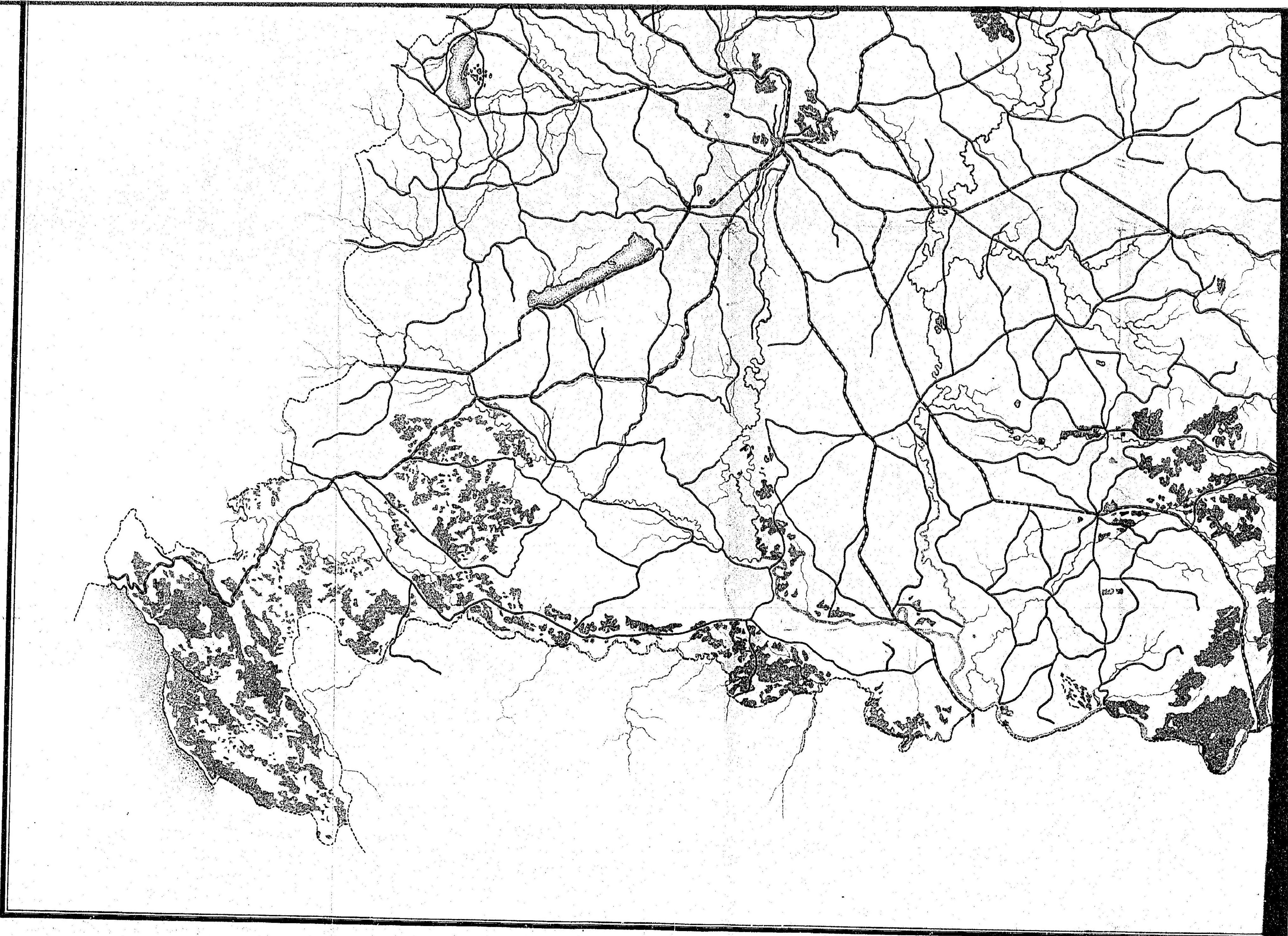
匈牙利王國國有林位置圖





縮尺 1:1900,000.

凡 例	
	幹 鐵 道
	枝 鐵 道
	國 界
	川
	國 有 林



客年歐洲森林視察ノ命ヲ奉シ五月十八日東京ヲ辭シ七月七日馬耳塞ニ上陸シ夫ヨリ順次佛蘭西、瑞西、獨乙、丁抹、那威、瑞典、露西亞、埃太利及匈牙利諸國ヲ歷周シテ林業ノ一斑ヲ視察シ本年三月二十七日倫敦ヲ解纜シテ五月十五日歸朝セリ其間視察ノ區域ハ斯ノ如ク廣キニ涉リシト雖モ視察ノ要ハ廣汎ニアラスシテ周密ニアリト信シ專ラ匈牙利王國ノ林業ノ視察ヲ爲シ此ニ據リテ聊カ帝國林政ノ一助ニ供シ以テ受命ノ責ヲ塞カンコトヲ期シタリ人或ハ云ハン歐洲ニ於テ埃塊佛ノ森林ヲ視スンハ未タ以テ森林ノ何物タルヲ語ルヘカラスト實ニ然リ然レトモ此三國ノ林政ニ就テハ查察ヲ遂ケン人多ク現ニ帝國ニ於テ實行セラル、林政ハ殆ト全ク此三國ヨリ傳來シタリト云フモ過言ニアラサルヘシ殊ニ近クハ營林技師志賀泰山及同村田重治親シク此三國ニ就テ視察ヲ遂ケラレ既ニ詳細ナル報告ヲセラレタルハ小官之ヲ再ヒスルノ必要ナ

キノミナラス寧ロ此ニ對スル調査力ヲ彼ニ移スノ有益ニシテ且適切タルヲ思
 惟シタレハナリ
 蓋シ匈牙利王國ハ歐洲ニ於テモ國ノ發達上一種趣ヲ異ニスルノミナラス其執
 ル所ノ林業上ニ於テモ亦特異ノ點尠ナカラス從テ内部ニ進ミテ觀察ヲ累ヌレ
 ハ種々ノ點ニ於テ我帝國ト相類似スルモノ多キヲ發見スルナリ俗言ニ所謂人
 ノ體様ヲ見テ巳ノ舉止ヲ矯ムト即チ彼ノ林業ノ形式及内容ヲ我ニ比較抽象シ
 テ以テ採長補短ノ實ヲ舉ケンコトヲ期セリ而シテ其最モ適切ナルハ我國ト情
 勢ヲ同シウスルモノニ求ムルヨリ便ナルハナシ匈國ノ我帝國ニ於ケル關係ハ
 殆ト斯ノ如キモノアリ是レ小官ノ殊ニ調査上此國ヲ擇ヒシ所以ノ一ナリ將又
 方今匈國ノ林政ハ秩然トシテ整頓シ之ヲ獨塊佛ニ比シテ敢テ遜色ナキノミナ
 ラス寧ロ或點ニ於テ長スルモノナクンハアラス是レ調査上此國ヲ擇ヒシ所以
 ノニナリ
 然レトモ爰ニ小官ヲシテ大ニ不便ヲ感セシメタルハ由來匈國ハ獨乙語ヲ以テ

國語トセシニ拘ハラス國ノ體面ヲ維持セントスルニアルカ概今ニ至リ斷然之
 ヲ廢シテ言語ハ勿論著述物ニハ殆ト自國語ノミヲ使用スルニアリ之ニ加フル
 ニ調査ノ日子ニハ限アレトモ調査ノ事率ニハ殆ト涯リナク從テ充分其調査ノ
 目的ヲ完了スルヲ得サシリハ竊ニ以テ遺憾トスル所ナリ然リト雖モ當局者ノ
 懇篤ナル指導ト統計ノ整備セルトニヨリ其一斑ヲ知ルニ難カラサリシハ小官
 ノ幸トスル所タリ即チ其要點ヲ摘録シテ恭シク閣下ニ進呈ス敢テ復命ヲ爲ス
 コト如斯

明治三十五年八月

山林局監督官兼農商務技師 松波秀實

農商務大臣男爵 平田東助殿

第一 匈牙利王國ノ形勢

匈牙利國ハ位置ヲ東歐ニ占ムル一王國ニシテ其地形ハ恰モ公孫樹葉ニ彷彿セ
テ而シテ其葉緣ニ當ル國ノ四圍ハ綿亘セル山脈ヲ繞ラセトモ其中部ニ至レハ
全ク平夷ニシテ一帯ニ膏腴ノ地ヲ爲セリ所謂ウングアルンノ平野ト稱スルモノ
是ナリ

此平野ヲ横貫シ逶迤トシテ南走スルモノハ有名ナル「ドーナウ」ノ本流ニシテ又
其支川タル「タイシ」ハ本流ト略ホ并流シ南方國境ニ近キテ相合シ一條ノ中心水
流ヲ爲セリ而シテ此他幾多ノ河川ハ源ヲ東北西ノ山岳ヨリ發スレトモ終ニ皆
「ドーナウ」ニ集注セサルナシ今此等河川ノ分布ノ狀ヲ見レハ宛然公孫樹葉面ノ
大小脈管ニ類シ其相集注シテ大河ヲ爲シ國外ニ流出スル所ハ殆ト葉莖ニ似タ
ルヲ見ルヘシ

匈牙利王國ノ形勢

位置

匈國ハ北緯四十四度九十九分乃至四十九度三十三分東經三十二度四分乃至四十四度十六分ニ位セリ而シテ此國ノ首府「ブダペスト」ハ殆ト其中央ニアリテ凡ソ北緯四十七度半ニ位セリ之ヲ我國ニ比スレハ先ツ北海道ナル占守島中ノアライト島ニ相等シト云フヘシ

氣候ハ緯度ノ高キニ拘ハラヌ冬季ハ寒威甚シカラスト雖モ夏季ハ比較的ニ溫度高シ又常ニ霧少ナク雨量適度ニシテ四季ノ好良ナルコト佛蘭西若クハ以太利ノ一部ニ及ハサレトモ其他ノ歐洲諸國ニ比スレハ優ニ上位ヲ占ムルモノ、如シ

氣候斯ノ如ク良好ニ地味斯ノ如ク肥沃ナレハ全國到ル處トシテ利用ニ適セツル地ナク且國間能ク拓ケテ穀菜豐熟シ又礦物及主副ノ林產物豐富ニシテ實ニ歐洲中唯一ノ農林業國ト稱スルヲ得ヘシ

四圍ノ境

國ノ東ハ「ルーマニヤ」國ノ一部及「埃太利」ノ「ブコウ」州ニ接シ北ハ「埃太利」ノ「ガリツ」州「シユレーシ」州及「メーレン」州ニ隣リ西ハ「ニーデア」州ニ

面積及人口

「ライヒ」州首府「ウキーン」ノ所在州「スタイエ」州「クレーン」州「エヌテル」州「ヒ」ノ要港「トリースト」ノ所在州「コシテ」南ハ「僅ニ」アトリア「ティツク」海ニ面シ「要港」「フィウメ」ノ在ル所ニシテ此國ノ海陸交通ノ連絡ハ此港ニ依ルノミ及「埃太利」ノ「ダルマチヤ」州「埃匈聯合」ノ保護國ナル「ボスニヤ」國并ニ「セルビヤ」國「ルメニヤ」國ノ一部ニ接ス

匈國ノ總面積ハ三千二百四十六萬九千五百十八ヘクタール一ヘクタールハ我凡一町二十五歩ニ當リ一ヨツホハ一ヘクタールノ五割七分五厘五毛ニ當ル以下便宜上ヘクタール或ハ匈牙利國稱ノ「ヨツホ」ヲ交互記載スルコトアルヘキニ付彼是參酌ヲ要スニシテ人口千七百三十四萬九千三百九十八人「ヘクタール」ニ付人口五分四厘弱ニシテ即チ假ニ「ヘクタール」ヲ我一町ト見做シ一方里ノ人口ヲ算スル時ハ八百四十人弱ニ當ル之ヲ我一方里總平均千七百七十七人ニ比スレハ甚稀少ニシテ我岩手縣若クハ宮崎縣ノ一方里ノ平均數ニ匹敵スルヲ知ルヘシ又該國ノ總面積ヲ方里ニ改算スレハ凡ソ二萬八百八十方里ニシテ之ヲ我國ノ總面積ニ

雨量及温

萬七千餘方里ニ比スレハ七千餘方里少クシテ即チ本州島ト臺灣島ノ面積ヲ合シタルモノト相伯仲スト云フ可シ
氣象上雨量及温度ノ最高最低ハ次ノ如シ

海面ノ高	雨 量	高温度(°C)	低温度(°C)	平均温度(°C)
最低	三六	四八五	二八度	五 度
最高	七七〇	一三〇	三六度	十四度

以上記スルカ如ク平均温度ノ最低ハ我國ノ十勝國十勝、北見國宗谷邊ト均シク其最高ハ銚子、津、岡山邊ト略ホ同シ又雨量ノ最高ハ廣島、松山、山形等ト同シケレトモ其最低ニ至ツテハ我國ニ於テ最モ少量ニシテ且最低ヲ示ス所ノ宗谷、網走及根室ノ下ニ在リ今試ニ宗谷ニ於ケル明治三十年ノ雨量ヲ擧ケンニ其最低ト雖モ尙ホ五六八ミリメートルナリ故ニ其最高ノ如キ之ヲ我國ノ雨量ニ比スレハ我ニ於テハ全國ニ於テ殆ト其中位ヲ示スニ過ギサルノミ去レハ鹿兒島縣大島ノ毎年三千ミリメートルノ如キハ匈國ニ取リテハ絶無ト云フ

各地種ノ面積歩合

モ過言ニアラサルヘシ而シテ小官カ參考シタル測候所ノ位置ハ海面上ニ於ケル最低三六メートル最高七七〇メートルノ間ニ存スルモノ、ミニシテ海面ニ近キ最低ノ場所若クハ最高部即チ北部ノ二千六百メートル以上即チ我八千五百八十尺以上ノ高所ニ於ケル測定量ヲ得ルコト能ハサリシハ實ニ遺憾トスル所ナレトモ前述スル所ニ就キテ略々其一斑ヲ推知セラル、ヲ得ハ幸ナリ匈國ノ總面積三千二百四十六萬九千五百十八ヘクタールニ對シテ生産ノタメ利用スル各地種ニ於ケル歩合ヲ掲クレハ次ノ如シ

耕地	四〇%四四
菓樹園	一%二五
牧草地	一〇%五七
葡萄園	一%〇二
放牧地	一三%二一
蘆荻地	〇%二七

森林

地租調査當時除外地

二七%九四

五%三〇

計

ニシテ二七%九四ニ對スル森林ノ相當面積ハ實ニ九百七萬四千二百二十ヘクタ
一七三ナリ

第二 匈牙利王國ノ國柄

フン種
族ノ侵入

蒙古種
族ノ侵入

紀元三百七十五年ニ亞細亞ノ「ステッペン」方面ヨリ「フン」種族起リ「アッティラ」ナル者ヲ將トシテ東歐羅巴ニ侵入シ「ゴート」人種ノ住メル「パンノニア」國ヲ占領セリ此ノ「パンノニア」ハ「ウングアル」國ノ舊別稱ナリ「アッティラ」ハ蒙古ノ資ヲ以テ能ク部衆ヲ統御シ兵ヲ進メテ終ニ獨逸以太利及佛蘭西ノ東部ヲ掠奪セシモ其歿後殘餘ノ徒黨ハ相率キテ匈國ノ東部ニ位スル「シーペンビルゲン」ト云フ地方ニ退キ此處ニ永住ノ策ヲ講シ後ニ「セクラ」人種ヲ見ルニ至レリ
降リテ紀元八百五十年頃ニ及ヒ裏海及烏拉河近傍ノ平地ヨリ遊牧ノ民屬起リ「アルバード」ナル者ヲ將トシテ「マジャール」(Magyar)ニ侵入シ「マジャール」トハ匈牙利國ヲ指スモノニシテ其意義ハ蒙古ト云フニアリト而シテ目下外國ヨリ全國ヲ呼ビテ一般ニ「ウングアル」(Hungary)「或ハ」ハンガリヤ等ト爲スモ自國ニテハ

一ニ「マジャール」ト稱ス主トシテ東部ニ於ケル「カルパーテン」山派ヨリ「ドーナウ」河ノ間ニアリテ狩獵及漁業ニ従事セリ此民屬ハ頗ル慍悍ニシテ屢々近隣ヲ侵略シ紀元九百七年頃ニハ西歐羅巴マテ攻メ入りシモ九百五十五年頃各隣邦聯合軍ノ爲ニ大敗シテ悉ク退却セリト云フ

耶蘇教ノ傳來

其後ニ至リ「ゲイシヤ」ナル者出テ「マジャール」ノ主將トナルニ及ヒ「ビザンツ」今ノ「コンスタンチノーベル」ヨリ「ギリキ」教ヲ傳來シ宗教ノ力ヲ藉リテ粗暴ノ氣風ヲ融和シ夫ヨリ隣邦ト修交條約ヲ締結シテ交通ヲ爲スニ至リ大ニ蠻風ヲ脱シテ民俗ヲ改良セリ是ヨリ先キ「マジャール」人ハ偶像教ヲ奉スルニ過キサリシカ「ゲイシヤ」ノ子「ワイク」ハ熱心ナル耶蘇信者トナリテ洗禮ヲ受ケ「ステファン」ト稱シ初メテ「マジャール」國王ノ位ニ即キタリ王ハ性聰明ニシテ國ヲ治ムルニ一定ノ主義ヲ持シテ教育ヲ興シ殖産ヲ盛ニシテ以テ國力ノ發達ヲ圖レリ其後數代ノ王ハ孰レモ英邁ニシテ能ク前代ノ遺緒ヲ紹キ一意國內ヲ整理シ外交ヲ修メ又憲法ヲ制定セリ

初位ノ匈國王

亞細亞內
部諸國
ノ侵入

文化ノ振興

第十三世紀ノ半ハニ至リ蒙古人種ハ亞細亞内部ノ平地ヨリ起リテ先ツ歐洲ヲ併呑セント欲シ軍ヲ分チテ漸次東歐ニ侵入セリ此時「マジャール」ニ來タリシハ「パトユウ」將軍ニシテ三十萬ノ貔貅ヲ率キテ大ニ劫掠ヲ肆ニセリ而シテ此等ノ蒙古人ハ自ラ「ターター」ト稱シ先ツ「マジャール」ヲ攻メ尙ホ近隣ノ諸國ヲ蠶食セシカ偶々在卿總督ノ訃報ヲ聞キ蒼皇軍ヲ収メテ亞細亞方面ニ退却セリ當時此軍中ニテ重立チタル者等ハ歸郷セシモ其他ハ「マジャール」ニ殘留セシカハ國王ハ此等ノ者ヲ保護シテ殖民上大ナル便宜ヲ與ヘタリト云フ

紀元千三百六十五年頃「ルドウイク」大王立ツニ及ヒ其勢頗ル隆ニシテ「ダルマツィエン」「セルビエン」「ボスニエン」及「ブルガリエン」ヲ「マジャール」ノ保護國ト爲シ併セテ「ポーレン」國ノ王位ヲ兼ヌルニ至リ益々銳意治ヲ圖リ或ハ農商業ヲ進メ或ハ風俗ヲ改良シ又大學ヲ建テ、文學ヲ旺ニシ專ラ國ヲ文明ノ域ニ進メンコトニ努メタリ而シテ其大學ヲ興シ、ハ實ニ千三百八十二年ニシテ凡ソ我曆ニ徵スレハ弘安時代ニ當レリ

埃國公爵
兼ノ王位兼

紀元千四百三十七年ニ至リ「マジャール」王家ハ勢ヒ衰ヘテ政令行ハレス遂ニ倒
レテ埃太利國ノ主治者タル公爵「アルブレヒト」五世「マジャール」國ニ君臨シ尙ホ
「ベーメン」王國ノ王位ヲモ兼併セリ是レ爾後今日ニ至ルマテ埃太利國ノ公爵若
クハ皇帝ノ「マジャール」即チ「ウングアル」國ノ王位ヲ兼ヌルノ發端トナリシ所以
ナリ

土耳其ノ
支配

其後十七年ヲ經テ紀元千四百五十三年ニ土耳其人ハ「コンスタンチノーベル」ヲ
占領シタル餘威ニ乘シ瀕々「マジャール」ヲ窺ヒシカ途ニ其志ヲ得ス然ルニ此時
「マジャール」國王ナル埃國公爵ハ王位ヲ「マジャール」人伯爵「フンヤンディ」ニ讓リ
シカハ「フンヤンディ」ハ「マティアス」コルツイヌスト稱シテ國ヲ統治セリ王モ亦
意ヲ教育ニ注キ大學ヲ「ブレスブルグ」ト云フ舊都ニ建テ又圖書館ヲ「オーフェン」
ニ設ケタリ此時ニ方リ土耳其人ハ前志ヲ遂ケント欲シ竟ニ兵ヲ擧ケテ「マジャ
ール」ニ攻メ來リ首府「オーフェン」ヲ陥レテ此圖書館ヲ「コンスタンチノーベル」ニ
移セリ今尙ホ同所ニ該圖書館ヲ存スト云フ

自由主義
ノ勃興

此戰ヨリシテ「マジャール」ハ五十有餘年ノ間土耳其ノ支配ヲ受ケタリ而シテ其
後ニ至リテモ國內ニ種々ノ紛擾起リシ爲メ再ヒ土耳其ノ干涉ヲ被リ終ニハ「マ
ジャール」全部ハ土耳其ニ占領セラレ首府「オーフェン」ヲ失フコト百四十五年間
ナリキ然ルニ當時ノ「マジャール」王ハ他國ノ干涉ヲ受クルヲ屑トセス經營慘憺
遂ニ償金ヲ土國ニ出シテ和親ヲ結ヒ十八世紀ニ至リテハ全ク其勢力ヲ國外ニ
退ケタリ

斯クテ紀元千八百三十五年ヨリ千八百四十八年マテ埃太利皇帝「フェルディナ
ント」二世「マジャール」王位ヲ兼ネタリシカ此時偶々佛蘭西ノ大革命起リシカハ
此風潮ニ誘ハレテ「マジャール」國內ニモ自由黨顯ハレテ現時ノ如ク埃國皇帝ノ
兼攝ニシテ内治外交悉ク埃太利ノ方式ニ由リ抑壓セラレハ快シトセス之ヲ
排除センコトヲ唱導セリ中ニモ「コッシェー」ト「(Kossuth)」ナル名士ハ慷慨自ラ禁ス
ル能ハス蹶然起ツテ黨ノ領袖トナリ日夜國事ニ奔走シ終ニ自ラ埃國ニ迫リテ
其分離ヲ請求センカハ埃國モ止ムヲ得ス「コッシェー」トノ請求ヲ容レ千八百四

十八年三月十五日ヲ以テ或ル條件ノ下ニ國務ヲ引渡セリ是ニ於テ「マジャール」政府ハ全年全月十五日ニ首府「ブダペスト」ニ特有ノ行政機關ヲ設ケ國內一般ノ行政事務ヲ執行シ且國ノ西南部ニ位スル「タ。アティエン」及「スラフ。オニエン」ヲモ支配スルニ至レリ然レトモ王位ハ從前ノ如ク埃國皇帝ノ兼攝スル所タリ

然ルニ「ウングアル」國民ハ尙ホ之ヲ以テ足レリトセテ特有ノ君主ヲ戴カントスルノミナラス國務ヲ全ク獨立セシメテ埃國ト關係ヲ絶タンコトヲ希望シ遂ニ宣言シテ埃國ト戰端ヲ開キ痛ク抗戦セシカト埃國ハ自國軍ノ外「スラフ」人ヲ用ヒタル上ニ露西亞軍ノ應援ヲ得タルカ爲メ衆寡敵セス遂ニ首府ハ埃軍ノ爲ニ陥落セラレ大將「ハイナン」ハ虜ニセラレテ斬首ノ刑ニ處セラレ殘餘ハ多ク以太利ニ逃レタリ斯クテ一旦國內平定ニ歸セシモ之カ爲メ「ウングアル」國固有ノ憲法ハ既ニ消滅シテ又救フヘカラサルニ至レリ然ルニ暫クシテ埃國ハ普魯西ト戰ヲ交ヘシカ途ニ利アラサリシカハ匈國ハ此機ニ乘シ再ヒ埃國ニ強請シテ

埃國ノ編
紳ヲ脫ス

匈國ノ王
改從右ノ
時期
匈國人種

埃匈聯立ノ實ヲ舉ケタリ然レトモ埃帝ノ匈國ノ王位ヲ兼攝スルコトハ尙ホ舊ノ如シ是ニ於テ「ウングアル」ハ固有ノ憲法ヲ復シ聯立議會ノ外ニ匈國特有ノ議會ヲ起シ又兩國共通ノ外交軍事ノ兩省ノ外共通財政ヲ掌ル大藏省ヲ「ウキーン」市ニ置クコト、シ更ニ必要トスル諸省ヲ特有スルニ至レリ時ハ維レ千八百六十七年ニシテ恰モ我國ノ王政維新ト同時ナリ

匈國即チ「マジャール」王國ノ人種ハ初メ紀元三百七十五年「フンス」人種ノ「ゴート」人種ヲ追ヒタル後紀元八百五十年裏海附近ノ遊牧ノ民移住シ第十三世紀ノ終リニハ蒙古人種ノ侵略以來常ニ亞細亞人種殊ニ多數ノ蒙古人種移リ來テ國ヲ成セリ此點ヨリ見レハ匈國ニハ羅馬人種又ハ獨逸人種若クハ「スラフ」人種ト異ナル種屬ノ今日ニ存セサルヘキカノ感アレトモ其實際ハ然ラスシテ一見東洋的ノ蒙古人種ト大ニ異ナルヲ知ルヘシ而シテ同國ニテハ純粹ノ「マジャール」人ハ人口ノ半數ヲ占ムルト稱スレトモ吾人ノ見テ以テ蒙古人種ニ近似セルカノ疑ヲ起ス者ハ多ク山間僻陬ノ地ニ於テ見ルノミニシテ首府其他多少繁華ノ

市街ニ至ツテハ全ク匈牙利特産人種ナルモ他ノ歐州諸國ノ人種ト大差ナキ者ナルカ如シ

匈國初代ノ王ナル「ステファン」ハ賢明ノ人ナリキ嘗テ謂ヒラク只一語一慣習ノミヲ株守スル國ハ衰弱スルカ或ハ破滅スヘシト是ニ由テ王ハ斷然國是ヲ定メテ多クノ獨逸人ヲ移住セシメ國民ニ令シテ獨逸語ヲ學ハシメタリ爾後累代ノ諸王モ亦此國是ヲ遵守シテ心ヲ拓植ニ用ヒタリ就中「タータール」歸郷後王位ニ昇リシ「ベーラ」ノ如キハ特ニ獨逸人種ノ多數ヲ移住セシメ彼等ニハ土着ノ者ニ比シテ一層ノ恩典ヲ附與シ大ニ保護ヲ加ヘテ殖民上便益ヲ圖リシカハ自然是等他人種ノ増殖ヲ速カナラシメ爲ニ蒙古人種ニ甚シキ特異ノ變体ヲ來シタルト「スラープ」人種及「ユウヂ」人種國內ニ甚タ多キトニ由リテ一見蒙古人種ノ後裔タルヲ知リ難カラシムルニアラサルナキカ現ニ首府「ブダペスト」ノ如キハ「ユウヂ」人種總人口ノ四割七分ヲ占ム然レトモ小官ヲシテ強ヒテ蒙古風ニアラサルカノ外觀上ノ判斷ヲ下サシメナハ先ツ幹軀長大ナラ

匈國人種ノ普通外觀

ス頬骨高ク又頭髮黑色ニシテ鬆疎、眼球ハ濃褐色若クハ黑色其上皮膚少シク黃色ヲ帯ヒ態度、姿勢等聊カ東洋人ニ類スル所アルノミナラス氣風及嗜好品モ亦之ニ似タルモノ多ク存スルカ如キ或ハ姓名、住所ヤ年號月日等ノ記載方法全ク東洋ト同シクシテ彼ニハ只羅馬字ヲ用フル差アルノミナルカ如キハ幾分カ其特徴トスルニ足ランカ然レトモ以上述ヘタル外形上ノ差ハ既ニ蒙古人種ノ純然タルモノニシテ現時存スル東洋的蒙古人種トハ多少差異アル所ノ尙純蒙古人種ナリトノ専門的解説ヲ得ハ予ハ之ヲ以テ満足センノミ

而シテ匈牙利國ハ亞細亞人種ノ移住以來久シク威ヲ四隣ニ振ヒシカト其後ニ至リテハ往々王位爭奪ノ變アリシノミナラス内亂モ屢々起リ第十四世紀ニハ特有ノ君主ヲ失ヒテ遂ニ奧國ノ干渉トナリ尋テ土耳其ノ壓抑トナリ第十六世紀ノ終リマテハ既ニ獨立國トシテ遺憾ナキ能ハサリシニ而カモ尙土耳其ノ爲メニハ第十五世紀ニ於テ五十年間又其後ニ至リテ百四十五年間全ク主權ヲ失

シテ「スルタン」ノ支配ヲ受ケタルカ如キハ吾人ヲシテ坐ロニ曩祖ノ武烈ヲ辱カシムルノ感アラシム然レトモ第十七世紀ニ至リ匈國當時ノ國王ハ前代明君ノ遺訓ヲ體シテ内ハ民力ヲ培養シ外ハ歐洲諸國ノ趨勢ニ鑑ミテ百般ノ制度ヲ改良スルニ至レリ

國勢ノ進歩

斯クテ千八百四十八年ニ及ヒ「コッシユート」ノ蹶起ハ端ナクモ革命ノ導火線トナリ匈牙利ニ一大光彩ヲ放タントセシカ時機未タ熟セス志士或ハ困圍ニ繫カレ或ハ斬ニ處セラレ一國ハ培奮ノ非運ニ陥リシモ晏天尙ホ匈國ヲ捨テス千八百六十七年ニハ再ヒ獨立王國トナリ外交及軍事財政ニ就キテ埃國ト聯合スルモノアルノ外凡テノ政務ハ國王ノ獨裁スル所トナレリ是ニ於テ永ク壓抑ノ下ニ運設セラレタル國民ノ熱誠ハ頓ニ發輝シ僅々三十五霜星ヲ經過セルノ今日教育、政治、經濟ヨリ萬般ノ事業ニ至ルマテ長足ノ進歩ヲ爲シ管ニ他ノ諸強國ニ恥チサルノミナラス寧ロ或ル點ニ於テ一步ヲ踰越スルモノナクンハアラズ然ルニ東洋ノ表ニ卓立スル我帝國モ亦匈國ト時ヲ同シテ奎運隆易ヲ致シ東

首府ノ繁華

西相對シテ蒙古人種ノ頭角ヲ世界ニ發顯スルニ至レルハ豈又奇ナラスヤ此事タル、既ニ世ノ識者ノ認ムル所ナレハ予カ特ニ述フルノ要ナシ唯爰ニ一例ヲ舉クレハ首府「ブダペスト」ハ二十年前マテハ其人口二十五萬ニ過キサリシカ今ヤ七十萬ニ達シ市府ノ規模構成ヨリ建築土木ニ至ルマテ其設計ハ悉ク最新式ニ依リタリ故ニ市街ハ宏壯ニシテ頗ル美觀ヲ極メシヨト他ニ多ク其比ヲ見ス常ニ一般國民ノ腦裡ニ伏在セル一種ノ感念カ事ニ遭ヒ物ニ觸レ自カラ激發シテ此ニ至リシモノニシテ或ハ國ノ實力ニ比セハ斯ル市街ノ裝飾ノ如キハ自然ノ需用ノ度ヲ過キタルカノ感アラシムモ要スルニ一見其隆盛ヲ認ムヘク決シテ他文明國ノ班ヲ脱セサルカ如シ刻下國內一般ニ此種ノ進運ヲ現ハシアルモ匈國人ノ短處トシテ人ノ評スル所ヲ聞クニ曰ク匈國人ハ品格ノ高尚、業務ノ勤勉ハ他ニ比シテ缺クル所ナキカ、曰ク傲放ナル者又ハ奢侈ニ耽ル者多シトセサルナキカ、曰ク起業資本ヲ投スル者比較的少ナキニアラサルカ、曰ク匈國ノ經濟力ハ本國人ニ乏シク多クハ猶太人ニ占メラル、ニ非サルカ、曰ク商

匈人ニ對スル人ノ評

工機關ヲ運用スヘキ人材乏シク從テ特ニ工業ノ發達ヲ見ル遲キニアラサルカ
トノ區々タル評言アルモ其當否ニ付テハ予カ今茲ニ直接ノ判斷ヲ下スノ必要
ヲ認メス

行政區劃

是ヨリ少シク説ヲ轉シテ行政區劃ニ就キテ一言センニ先全國ヲ分チテ地方行
政團體 (Municipien) ヲ作り此内ニ縣 (Comitate) ハ六十三及縣ト同様ノ行政權ヲ附與
セラレタル市 (Freistadt) 以下之レヲ便宜特別市ト稱スヘシ二十四トス而シテ縣
ノ下ニ郡 (Bezirk) アリ其下ニ町村 (Gemeinde) アリテ之レヲ大小町村ノ二種ニ分チ
普通ノ市モ其内ニ包含ス此市ハ大小町村ト異リテ行政顧問役ヲ有ス而シテ地
方行政團體ニテハ參事會員 (Verwaltungsratsmitglieder) ニヨリテ行政ノ運用ヲ爲ス此委
員ノ半數ハ多額納稅ニ就キ高キ者ヨリ順次ニ撰定シ半數ハ一般撰舉ニヨル而
シテ縣ニアリテハ人口五百人ニ付委員一人、特別市ニテハ二百五十人ニ付一
人ヲ出タス又委員ノ總數ハ縣ニテハ百二十人以上六百人以下、特別市ニテハ
四十八人以上四百人以下ニシテ十年毎ニ人口調査ノ結果ニヨリ總員ヲ改ムル

官吏以外
ノ森林委員

ノ制ト爲シ一般撰舉ニ依リタル委員ノ半數ハ五年毎ニ改ムルヲ以テ都合十年
ノ任期トナル是等行政ノ組織ハ小官視察ノ事項ニ對シテハ間接ナルカ如キモ
參事會員ハ森林行政ニ對シテ甚密接ノ關係ヲ有スル組織トナリ居ルカ爲メ後
ニ説ク所ト相關聯シテ必要ナルカ故ニ其概略ヲ茲ニ述フル所以ナリ

第三 森林ノ沿革及林政ノ確立セル機會

往古ノ森林狀態

森林所有ノ起源ヲ釋スルニ往古ハ何レノ國ヲ問ハス凡テ共同の入會ノ利用ニ始マレリ即チ匈牙利國モ亦往昔ハ凡テ共有ニシテ林地ノ使用產物ノ採取ニ對シテ別ニ制限アルコトナク各自自由ニ其ノ必要ニ應シテ需用セリ紀元八百五十年頃ニ裏海近傍ヨリ起リテ匈國ニ移リ遂ニ同國ノ主治者トナレルアルバード時代ニハ森林ハ凡テ彼ノ領スル所トナリ之ヲ管理スルカ爲ニ山守ヲ置ケリ此山守ハ獨リ森林ヲ監視セシノミナラス狩獵及漁業ノ支配ヲモ兼帶セリ後王政時代トナルニ及ヒ此等ノ森林ヲ國ノ功勞者ニ分與シテ箇人ノ占有ヲ許セリ是ニ於テ其森林ノ山守ナル者ハ同時ニ各地主ニ隸屬スルニ至ル而シテ王領林ヲ分與スルハ獨リ之等功勞者ニ止マラス其大森林ニ至ツテハ或ハ教會ニ下付シ或ハ市町村ニ分與シ或ハ貴族ノ希望ニ應シテ下賜セシ等ノ原因ヨリ漸々其

減少ヲ見ルニ至レリ加之第十三世紀ニタータル侵入スルニ及ヒ王ハ是ニ土地森林ヲ分與セシカハ大數ノ森林ヲ失フニ至レリ匈國ノ森林ハ斯ル變遷ヲ經テ其所有主殆ト確定シ今日存スル所ノ各所有別ノ森林ハ當時定マレルモノト大差ナシ而シテ今日最モ利益アリト稱セラル、森林ハ既ニ往時ニ於テ最モ能ク世ニ鴻益ヲ感セシメタルモノニ屬セリ當時大地主ノ一般ニ森林ヲ有セシハ今日ノ利用ト其趣キヲ異ニシ狩獵ヲ爲スヲ以テ主眼トセシカト村落ニテ有セシ森林ハ最モ早ク林業的ノ利用ヲ始メタリ然レトモ其施業至ツテ單純ニシテ最低度ノ整理ヲ爲セシニ過キヌ更新ハ總テ天然ニ委シ人工植栽ノ利ヲ知ラザリシハ勿論タリ

第十五世紀以來林業ハ幾分進歩ノ状態ヲ顯シタレトモ素ヨリ一般ノ森林ニ係ルニアラスシテ獨リ王領林ノミナリ而シテ最モ直接ノ原因ハ當時ヨリ礦業頓ニ發達シケレハ礫山ニ要スル薪炭林ヲ其最寄森林ニ仰クノ便ヲ悟リ從テ森林利用ノ保續ヲ望ムニ至レルハ自然ノ數ニシテ是レ蓋シ林業進歩ノ萌芽ヲ發セ

林業ノ初期

森林荒廢ノ原因

シ所以ナラン第十六世紀ノ半ハニ至リテハ王室ハ森林管理上専門ノ智識ヲ有セル森林官ヲ登用シ之ニ命シテ森林取扱方法ニ關シ指導ノ目的ヲ以テ千五百六十五年ニ一種ノ森林規則ヲ發布セシコトアリ其中ニハ伐採案ノ調製林產物ノ利用方法造林上種樹殘留ノ方法等ヲ規定セリ

要スルニ森林其モノ、價值ヲ増シ且之ヲ保續スル方法ヲ初メテ講シタルハ前述ノ如ク王領林ニシテ就中礫山附近ノ地方ナリトス而シテ民有林ニ向ツテ低度ノ林業ヲ爲スニ至リシハ千八百年代ニシテ此時代ニハ森林ニ關スル法令、數多發セラレタレトモ局部ノ必要ヨリ出テタルモノナレハ全國ヲ通シテ一律ノ下ニ林業ノ隆盛ヲ期スルニアラサルヲ以テ格段ナル利益ヲ見ルコト能ハス是ヨリ先キ一時土耳其ノ支配ヲ受クルニ及ヒ森林ヲ荒廢セラレタルコト甚シ素ト土耳其人ハ殖産工業ノ爲ニ過度ノ伐木ヲ爲シタルニアラスシテ軍事ノミニ熱中シ處々ニ壘岩ヲ築造シタル爲メニ非常ノ亂伐ヲ爲シタルニ基因ス、其後ヲ受ケタル匈國人ハ大ニ之ヲ憂ヒ種々ノ手段ヲ運ラシテ之レカ恢復策ヲ講セリ

人工造林ノ初期

千七百四十三年ニハ當時ノ女王「マリヤ、テレシア」ハ或ル森林官ノ提案ニヨリ東
 匈ノ森林缺乏ノ地ニ大ニ新植スヘキコトヲ嚴命セリ此命令ノ下ニ直ニ第一着
 ニハ森林官ノ指揮ニヨリ數村ニ二萬一千本ノ苗木ヲ植付ケシメ尙ホ引續キテ
 王室若クハ州ノ保護ヲ受ケツ、植樹ヲ爲セシカ其成績ヲ見テ政府ハ勿論民間
 ニテモ林業ナルモノニ人目ヲ引クニ至レリ千七百五十五年ニ「スラフ、ニエン」
 州ニテハ全州ニ通スル森林規則ヲ定メ同時ニ林利ヲ舉クルノ方法ヲ示シ并ニ
 林産物(重)ニ有名ナル本州ノ「擲」(Jag)ナランカヲ國外ニ輸出スルコトニ付獎勵的
 注意ヲ與ヘタリ之等ノ規則中今日ヨリ見ルトキハ却テ害ヲ及ホシタルモノナ
 シトセス假令ハ州内各部ニ命シテ加里製造ヲ獎勵シ多量材ノ消盡ヲ爲シタル
 カ如キハ其一例ナリ

又「ウンガルン」本國ニテハ千七百五十四年既ニ全國ニ通スル森林規則ヲ制定シ
 此時ヨリ匈國ノ林業ハ愈國家的ノ事業タルコトヲ明ニセリ「マリヤ、テレシア」女
 王ノ千七百六十九年十二月二十二日ニ發布シタル森林規則ハ永キ審議ノ結果

森林監督官ノ創設

第一次ノ森林法

行ハレタル有益ノ法令ナリシカハ之カ爲メ頓ニ林業ニ志ス者増加シ且外國林
 業ニ感化セラレテ森林熱益々熾トナリ世人ハ眞ニ林業ノ何物タルヲ解スルニ
 至ルト同時ニ森林ハ一般ノ安寧上必要ナルハ勿論各人ノ利益モ甚大ナリト云
 フコトヲ明ニ知ルニ至レリ而シテ「マリヤ、テレシア」ノ森林規則ハ重ニ林業ヲ修
 ムルコトニ付テノ教訓的命令トモ云フヘクシテ其規定スル所ハ即チ森林ノ測
 量ヨリ施業圖ヲ作ルコト并ニ利用ノ種類及使用方法其他伐木地ニ順序ヲ立ツ
 ルコト等ニシテ當時ノ森林官ノ技術及林業ノ程度トシテハ適當ナル方法ニ基
 ケルモノト云ツヘシ而シテ此規則中林業ノ監督組織ヨリ各州ニ監督官ヲ置ク
 ノ規定アリシカ爲メニ地方ニヨリテハ大ニ利益ヲ増進セシ所アリ又此規則實
 行ニ伴ヒ改租調査ノ業務ト密接ノ關係ヲ有セル共有林ヲ同時ニ整理セントス
 ルノ問題起リシカ此問題タル實ニ必要ノコトナリキ是レ千七百八十六年ノ頃
 ナリ然ルニ此共有林整理問題ハ千七百九十一年ニ愈々解決セラレテ遂ニ實行
 ノ運トナレリ而シテ此年又森林ニ關スル一法律發布セラレタリ之レ即チ第一

次ノ具體的森林法ニシテルテ森林ヲ保續スルノ義務ハ中央地方ノ各行政廳ニ歸セシメ同時ニ東部「シーベンピュルゲン」ニ於テハ共有林ノ分割ヲ禁止シ且若シ過量ニ森林ヲ使用シタル爲メ荒廢ニ屬セシメタル者ハ磔刑ニ處スルノ嚴法ヲ布ケリ即チ千七百九十一年法律第三十號之ナリ思フニ以上ノ如キ匈國ノ森林沿革ハ往古ヨリ降リテ今ヨリ凡ソ百年前即チ第一次森林法發布マテノ如キハ實ニ我國ト大同小異ニシテ其森林思想ノ程度法令發布ノ狀況等亦相似タルカ如シ只國體ノ彼ハ君王獨裁ニシテ我ハ封建ノ政治タルノ差アリタルノミ第十九世紀ニ至リテハ林業ニ關スル問題増々盛ントナリ專門教育モ甚タ進歩シ斯業ノ爲メニ著シキ影響ヲ及ホセリ就中注意スヘキハ森林ノ專門教育ハ私立小學校ヨリ起リタルコト之ナリ初メ國有林ノ監督官「ウホーシチル」氏ハ千七百九十六年ニ各森林官ノ男兒ノ爲ニ自ラ資ヲ投シ之ニ友人ノ義捐ヲ加ヘテ一校ヲ創立セリ氏ハ此時之等男兒ノ教科書ニ充テシカ爲メ森林問答書ヲ編纂シ尙ホ同時ニ自己ノ森林ニ對スル意見ヲ發表セリ此學校ハ後ニ至リ政府ニテ保

林學ノ創

高等森林
學校ノ初

高等森林
學校卒業
ノ名士

護ヲ與ヘ森林見習生ノ教育所ト爲セシカ惜哉後年ニ及ンテ經濟上ノ關係ト種々ノ故隙ヲ生シタルトニ依リテ廢校セシモ其短期間存立セシ割合ニハ良好ノ成績ヲ現ハセリ殊ニ匈國ニ於テ森林取扱者ニ森林ノ專門技術ヲ修得セシムルコトノ最必要ノ手段ナルコトヲ知ラシメタル點ニ於テ其功績顯著タリト云フヘシ是ヨリ政府ハ森林學ヲ組織的ニ研究スル必要ヲ認メ千八百六六年ニ「ケストヘリヨ」ノ農學校ニ千八百八八年即チ九十四年前ニ「シエムニツ」ノ礦山學校ニ森林學ノ一科ヲ新設シ尋テ千八百十七年ニハ國ノ東部「シーベンピュルゲン」ニ特ニ森林學校ヲ設立シタリ

序ニ記ス右ノ「シエムニツ」ノ礦山學校ナルモノハ目下礦山及森林ノ高等專門學校ニシテ森林教育ノ初マリタルハ他歐洲諸國中ニテモ遅カラサル部分ナリ素ト獨逸語ヲ以テ教授セシ間ニハ多クノ外國人就學セリ而シテ本校ヲ卒業シタル内外國ノ大家少カラス今其二三ヲ舉クレハ Prof. festman-ntel, Prof. Gutenberg 匈國第一次ノ森林局長 Karl Wagner 同第二次局長 Bedó Albert

森林ノ沿革及林政ノ確立セル機會

同第三次局長即チ現局長 Soliz Julius 其他 Cotta, Hartig 及 Handeshagen 等ナ

林業ノ獨立

往時ハ完全ナル森林家ナキ爲メ却テ森林ニ大害ヲ起シタル例少カラヌ爲ニ政府モ自カラ外國ノ森林家ヲ雇入レ管理ヲ委任セシ程ナリキ第十九世紀ノ半ハニ於テ匈國ノ森林官ハ漸ク森林事業ノ獨立ヲ遂ケシメタリ當時マテハ林業ハ我國ト同一運命ノ下ニ在リテ全ク農業牧畜其他ノ利益殊ニ礦業ノ爲メ左右セラレタリ之ヲ慨キテ匈國森林官ハ林業ノ獨立ヲ期シ爲ニ非常ノ困難ニ遭遇セリ然レトモ能ク之レニ對シテ忍耐シ決シテ急激ノ動作ヲ爲サス即チ凡ソ森林アレハ直ニ獨特ノ管理ヲ爲セシニアラスシテ國有林ニ付テ云フトキハ固有農地又ハ鐵山ヨリ離隔セル大面積ノ森林ヲ先ツ森林行政ノ特別機關ニ編入シ其他機會ヲ得テ漸々擴大シ遂ニ今日ノ如ク全森林ヲ編入スルニ至レルモノニシテ我國地理局設置以來徐々手ヲ擴ケ明治三十年地方廳管理ニ委セシ山林原野ヲモ林政部ニ直轄スルニ至ル間ノ種々ノ困難ト大ニ彷彿セリ其他森林ヲ改良

埃國森林法ニ服從

スル上ニ就テ困難ヲ感シタルハ各所有地ノ不規律ナルコト殊ニ林役權ノ附着之ナリ

木材需用ノ勃興

千八百五十八年ニハ千八百四十九年ノ政治上ノ關係ヨリ固有ノ森林法ハ消エ更ニ埃國森林法カ入り込ミタルモ實際行ハレサリキ而シテ千八百六十七年匈國憲法ノ復活ニ伴ヒ森林法モ効力ヲ有スルニ至リタリシカ法律施行ノ不完備ナルカ爲メ充分ノ効果ヲ收ムルニ至ラザリシカト社會ノ進運ニ伴ヒ森林ノ利用ハ年々増加シ水路モ大ニ修理セラレテ搬出ヲ便ニシ道路鐵道工事モ頓ニ發達シ商業著シク進ミタル結果木材ノ需用益々多ク從テ材價騰貴セシカハ各所有者ハ過度ニ森林ヲ伐採セリ而シテ其伐採タル順序立テタルニ依ラスシテ漫ニ良木ノミヲ撰伐シ剩サヘ牧畜頓ニ盛大トナリ遂ニ森林内ニ過度ノ放牧ヲ爲スニ至リ爲ニ幾分ノ砂流レモ初マリ裸地モ殖エ伐跡ニ人工植栽ヲ爲ス者少ク且國有林ニ於テモ其更新方法完カラサルヲ以テ日ニ月ニ良林ヲ減シ爲ニ或ル地方ハ氣候ノ調和ヲ保テ難ク出水ハ年々増嵩シ其責タル舉國同時ニ亂伐セ

森林荒廢

森林ノ沿革及林政ノ確立セル機會

シニ外ナラサリシモノト断定セラレ、ニ至レリ百有餘年前第一次ノ森林法制定以來今ヲ遡ルコト凡ソ三十有餘年前ニ至ル間ノ森林盛衰ノ有様ハ獨リ百年前ノ昔ノミ我國ノ歴史ト同様ノ感アリタルノミナラス尙其時代事柄略同一ニシテ東西符節ヲ合スルカ如シ但既往三十有餘年頃我維新ノ結果百般ノ制度ヲ變更セシ時林政ノ弛廢ニ乘シテ投機者ノ亂伐ヲ爲スニ加ヘテ諸種ノ事業勃然トシテ起リ鐵道道路港灣建築其他ノ土木及諸工業ノ振興ニ伴ヒ必要已ムヲ得スシテ伐採シ其結果何國ト同様ノ災害ニ陥リ頓ニ森林ノ改善策ヲ唱導セシカ如キハ殆ト彼我差ナキカ如キモ森林行政ヲ中央ニ集メ全國通シテ長計ヲ期スルカ爲ニ法律ヲ制定シ若シクハ早ク森林教育ヲ振興シタルカ如キハ我ノ遠ク及ハサル所ナリ

國有林ニ對スル施業ハ是迄ノ如ク緩漫ナルヲ許サス即チ監督ヲ嚴ニシテ一般ノ利益ヲ一層高大ナラシメントノ必要ニ迫ラレ且森林法ノ尙完全ナルモノヲ作ルノ議起リ千八百四十四年何國農會ハ該法案ノ委任ヲ受ケタリ其脱稿セ

第二次即
現行森林
法

シ時ハ政府ノ當局者ハ其完然ナルヲ認メ此種ノ法律ヲ制定センコトヲ期スト言明セン程ナリシモ千八百四十九年ノ政治上ノ關係ハ之ヲ實施スルコトヲ得シメス然ルニ暫クシテ千八百七十九年ニ於テ千八百六十三年ノ創立ニ係ル森林會ハ非常ノ熱心ヲ以テ法律制定ニ盡力シ遂ニ千八百七十九年法律第三十一號即テ現行森林法ヲ第二次ノ具體的法律トシテ公布セリ之ヨリ林政ノ基礎確立シテ何國森林ノ前途ハ益々鞏固トナルニ至レリ

今ヲ去ルコト二十四年前政府ハ地理局ヲ特設シテ森林ヲ管理センメ又森林ノ整理ヲ期シテ官林調査假條例ヲ發シ更ニ森林繁殖ノ一助トシテ部分木仕付條例ヲ制定シ官林ノ重モナルモノヲ中央政府ノ直轄ニ移シ之カ地方管理ノ方法ハ林區制度ニ準シ加之森林法案ヲ作ルコトニ決定シテ諸種ノ準備ヲ爲シタルカ如キ之ヲ我國ノ廢藩以來弛ミタル林政ヲ國家的業務ニ導カントシテ諸種ノ礎ヲ敷キタルニ回想セハ何國林政ノ確立センモ略同期ニ屬シ其氣運ノ殆ト一致センハ甚タ奇異ノ感アラシム而シテ何國政府ハ外務大藏及軍事ノ三省ヲ

森林ノ管理

奥國ト共有スルモノアル外内務、大藏、商務、農務、司法、宗教及教育、國防、クロアチエン、スラフ・ニエン省ノ八省アリ而シテ現ニ森林事務ハ農務省ノ第一局即チ森林局ニ於テ所管シ全森林ノ管理監督事務ノ最上廳トナリ全國林業ヲ務メテ一律ノ進歩ヲ爲サシメンコトヲ期シ孜孜トシテ經營スル所以ナリ

林況

第四 森林ノ狀況

匈國ノ森林ハ國境山岳部ニ多クシテ中央平地ニハ至ツテ少シ而シテ國境ノ東北部ニハ大面積ノ重要樹種ヲ有シ又南部ニハ歐州中ニ於テモ著名ナル貴重樹多ク存在ス而シテ總森林ノ面積ハ第一ニ述ヘタル如ク全國總面積ノ殆ト二十八%ヲ占メ即チ九百七萬四千二百二十「ヘクタール」ナリトス其重モナル樹種ハ唐檜、樅、榲及山毛櫸ニシテ落葉松其他數種ノ濶葉樹存在ス今此森林ヲ土地ノ狀況ニヨリテ分ツトキハ「ヘクタール」以下ハ普通切捨ツ

- 保安林 四十七萬七千九百四「ヘクタール」
- 飛砂地ノ森林 十一萬二千八百四十四「ヘクタール」
- 限林地ノ森林 六百八十一萬六千八百十七「ヘクタール」
- 非限林地ノ森林 百六十六萬六千五百五十四「ヘクタール」

又樹種ニヨリ其概略ヲ區別スルトキハ

柳林

二百四十三萬九千八百七十九ヘクタール

山毛櫨及其他ノ濶葉樹林

四百七十五萬三千二百六十四ヘクタール

針葉樹林

百八十八萬九百七十六ヘクタール

而シテ是等ノ森林ヨリ得ル年々ノ總木材收穫ハ

二千八百六萬九千四十八立方メートル

人口一人當リノ森林面積ハ

〇・五二ヘクタール

ニシテ其木材收穫ハ

一立方メートル六ナリ

又此總森林ノ公定ノ純收入ハ

八百九十一萬九千九百九十六グルデン

ニシテ一ヘクタールニ付

〇・九八弱グルデン

即チ凡ソ我七十八億五厘ニ當ル

森林ノ種
類及面積

今此森林ヲ所有状態ニ依リ分ツトキハ其各面積ハ

國有林

百四十五萬七十二ヘクタール

地方行政團體及町村有林

百六十七萬四千二百六十四ヘクタール

(以下略シテ之ヲ公有林ト云フ)

宗教團體及其簡人有林

五十二萬五千七百二十四ヘクタール

(キリスト教會若クハ僧止ノ有スル林ニシテ以下略シテ教會林ト云フ)

公共基本林

六萬七千四百五十七ヘクタール

(公共團體ヨリ教育慈善事業ノ爲メ特定ノ目的ヲ指定シテ附シタル森林ヲ云フ)

私人基本林

六千五百三十四ヘクタール

(一己人ヨリ同上)

貴族世襲財産林

五十五萬千六百六ヘクタール

組合林及財産村有林

百六十萬千六百十四「ヘクタ」

(組合林ハ重ニツルヤル整理ノ結果組合作業トナセシ森林、財産村有林(Vermögensbeweidung)ノクローアアイエン、スラフカニエンニ有ル軍事境界整理ノ結果起リタル村落ニテ共)

會社林

十六萬五千六百五十二「ヘクタ」

私有林

三百三萬千六百九十三「ヘクタ」

(森林法第十七條ニ服從セザル森林井王有ノ森林ヲ云フ)

總面積ニ對スル歩合ハ

- 國有林 一五、九八%
- 地方行政團體及町村有林 一八、四五%
- 宗教團體及其簡人有林 五、七九%
- 公共基本林 〇、七四%
- 私人基本林 〇、〇七%
- 貴族世襲財産林 六、〇七%

高サニ依
ル森林ノ
分配

組合林及財産村有林

一七、六五%

會社林

一、八三%

私有林

三三、四二%

右ノ如クニシテ其配置ハ第一圖ノ如ク若シ國有林ノミナルトキハ第二圖ノ如シ

又海面上ノ高サニ付テ云フトキハ

六百メートル以上ノ森林 五百十八萬九千四十八「ヘクタ」

二百メートル以下ノ森林 二百五十三萬二千六百四十四「ヘクタ」

二百メートル以下ノ森林 百三十五萬二千四百二十八「ヘクタ」

之レカ總面積ニ對スル歩合ハ

- 六百メートル以上ノ森林 五七、%
- 二百メートル以下ノ森林 二八、%
- 二百メートル以下ノ森林 一五、%

各部要
樹種

尙之ヲ森林ノ分配木材商業并地理ノ如何ニヨリ全國ヲ北部、東部、平地、西部及南部ノ五區ニ分テ調査シタルモノヲ見ルニ其樹種ハ

北部 唐檜、樅、赤松、落葉松、山毛櫸、シデ、榿、アカシヤ

東部 唐檜、樅、山毛櫸、榿

平地 黒松、山毛櫸、榿、アカシヤ

西部 赤松、山毛櫸、榿、樅、アカシヤ、白楊、柳

南部 唐檜、樅、赤松、黒松、榿、山毛櫸、シデ、榿、樅

其林木ハ殆ト天然林ニシテ各林齡ヲ見ルニ

北部ノ各林ハ凡ソ五十年以上二百年以下ニシテ二三十年ノモノ至テ少ク七八十年ノモノ甚タ多シ當部ニ於ケル主林木ナル唐檜及樅ノ百年位ノモノハ一ヘクタールニ付凡ソ八百本其材積六百立方メートルヲ有ス

東部ノ各林ハ尙五十年以上二百年以下ニシテ五十年以下ノモノ殆ト之

レナク百年位ノモノ甚タ多シ當部ニ於ケル主林木モ唐檜及樅ニシテ一ヘクタールノ本數及材積ハ北部ヨリ猶一層優等ナリ

平地ノ各林ハ東部ニ近似ス而シテ主林木ハ山毛櫸及榿ニシテ一ヘクタールノ本數ハ北東部ト似タレトモ材積ハ少クシテ凡ソ三百乃至四百

立方メートルナリ

西部ノ各林ハ北部ニ似タルモ只老木少シ而シテ主林木ハ赤松、榿及山

毛櫸ニシテ百年以上ノモノヲ見ルニ前各部ト大差ナシ

南部ノ各林ハ五十年乃至三百年ノモノアリテ幼木稀少ナリ之レ榿ノ特

産地ナルニヨリ多ク老木ヲ存スル所以ナリ其主林木ナル榿ノ二百

五十年位ノモノハ一ヘクタールニ本數凡ソ百本其材積八百乃至千立

方メートルナリ

斯ノ如キ總森林面積九百七萬四千二百二十ヘクタールヨリ二千八百六萬九千四百八立方メートルノ年收穫アルニ付一ヘクタールニ帶フル所ノ年伐量ハ三、一弱立

林種別面積
及年伐量

方メートルナリ今作業種ニヨリ其面積輪伐齡及年伐量ヲ示セハ

喬林 六百六十八萬六千四百四十七ヘクタール

八十年乃至百二十年稀ニ六十年乃至七十年

二千六百六十一萬三千七百七十三立方メートル

中林 十二萬六千八百二十八ヘクタール

上木ハ喬林、下木ハ矮林ノ輪伐齡

三十七萬七千四百一立方メートル

矮林 二百二十七萬千五百五十一ヘクタール

十年乃至六十年

六百七萬八千四百七十四立方メートル

以上述フルカ如クニシテ未タ人造林乏シク殆ト天然林ノミナリ

「スラフ・ニエシ」ノ樺林及「マラモロ」シ并「ベステルツェバーニヤ」唐檜及樅ノ

各國有林ノ如キハ實ニ美良ナル森林ニシテ東部ノ「マラモロ」シ及北部ノ「ベス

有名ノ美

テルツェバーニヤ「南大林區管内ノ如キハ匈國屈指ノ名林ニシテ其管内凡テ恰
モ我青森及秋田ノ大美林ヲ見ルト同一ナリ小官ハ親シク「ベステルツェバーニ
ヤ」大林區管内ヲ實査セシカ天然林トシテハ殆ト最良ノ森林タルヲ信セントス
從テ業務ノ施設モ地大林區ニ比シ完全ニ行ハル其詳細ハ後ニ述フル所アルヘ
シ

第五 森林ノ管理監督ノ組織

森林法ノ
要點

森林管理ノ組織ヲ知ラントセハ先ツ現行森林法ノ一斑ヲ解スルヲ要ス之レ尙
國森林法ハ我森林法ト大ニ其趣キヲ異ニシ國有林以外ノ森林管理方法ノ如キ
ハ其組織權限及人事等ニ至ルマテ詳シク茲ニ規定シアレハナリ
千八百七十九年法律第三十一號森林法ノ要旨ハ務メテ各森林所有者ノ所有權
ヲ保護スルト同時ニ其所有者カ自己ノ利益ヲ害セラル、コトナク林業ノ特性
トシテ常ニ守ラサルヘカラサル所ノ國家ノ利益ヲ保持スルヲ以テ目的トセリ
而シテ各自ノ所有森林ニシテ他ノ殖産ノ爲メニ永久ノ使用ニ適セサル所ノモ
ノハ絶對的即限林地トシテ之レヲ保存セシム又保安林ノ制ヲ設ケ農業及交通
機關ニ直接利害ノ關係ヲ有スル森林ヲ最モ適實ニ處理シ且官廳ノ命令ニ從ヒ
テ合理ノ施業ヲ爲スコトヲ得シム其他森林内ノ放牧及下草採取ニ制限ヲ加ヘ

林火及蟲害ノ豫防防止森林違犯者ニ對スル裁判組織ヲ規定シ又隣接セル土地ニ危害ヲ及スヘキ裸地ニ新植スルノ義務ヲ負ハシメ產物ノ運搬方法ニ關シテ其利害及行政手續ヲ明定シ并森林官署ノ組織運用等ヲ規定シテ完全ニ其大意ヲ貫徹スルノ方法ヲ執レリ

又國有林ハ勿論公有、教會、公私基本、世襲財産、組合及會社等ノ所有林ニ對シテ特ニ干涉ノ政策ヲ執リ各森林ニ於テ森林專門ノ智識ヲ有スル者ヲ採用スヘキコトヲ命シ從テ森林官(Forest Officer)ハ政府ニテ任用シタル者ヲ森林官、民間ニテ採用シタル者ヲ森林役員ト譯シテ其區別ヲ立ツルヲ適當トスヘキモ便宜上單ニ森林官トセリ以下之レニ同シ)及保護吏ノ資格并其採用方法ヲ規定シ以テ合理ノ管理施業及利用ヲ完全ニスルノ方針ヲ執レリ而シテ此主義ニ依リタル現行森林法ハ千八百八十年七月一日ニ施行セラレシカ其後千八百九十八年法律第十九號ヲ發布シ以テ公有林其他各種森林ノ經營ヲシテ前法律ノミニテ完ツシ得サリシ缺點ヲ補ヘリ

森林法ト
町村林等
ニ關スル
政府管理
法律ノ
關係

今森林法ト此特別法トノ關係ヲ略述センニ森林法ノ表面ノミニヨルトキハ小面積ノ森林ヲ有スル市町村ニテモ森林官ヲ採用セサルヘカラサル義務ヲ負ハシメ若シ單獨ニ爲シ能ハサルトキハ共同シテ一人ノ森林官ヲ雇フコトヲ許シタルニ拘ハラズ實際ニ於テハ容易ニ行ハレス故ニ此特別法ヲ發布シテ其弊ヲ排除セリ其特別法ハ市町村有又ハ組合有ノ森林ヲ擧ケテ政府ノ管理ニ委シ各森林所有者カ完全ニ單獨ニテ經營シ得ルニ至ル迄政府ニテ取扱フコト、ナシ所有者ハ管理費トシテ從來年々各所有林ニ對シテ支拂ヒタル額ニ相當スル金額ヲ政府ニ納付スルコト、セリ此故ニ自然適當ナル森林官ニ委シテ完全ニ經營セラル、ヲ得ルノミナラス其最モ至難トスル裸地ノ新植モ充分ニ實行シ得ラル、ニ至レリ

森林事務
ノ所管

抑々國ノ林務ハ素ト大藏省ニ屬セシカ千八百八十年七月一日森林法實施ノ日ヨリ之レヲ農務省ノ所管ニ歸セリ其大藏省ニテ主管セル間ハ只管收入ヲ増スコトニノミ汲々トシテ林業全般ニ涉リテ周到ナル經營ヲ爲スコト能ハサリ

シト雖モ一旦農務省主管ニ移リシヨリ庶般ノ施設整備シ其實行ノ効果亦著シク進ミテ成績ノ見ルヘキモノ尠カラズ而シテ目下森林事務ヲ總括スル爲メニ農務省ニ第一局(即チ森林局)ヲ置キ更ニ之ヲ四課ニ分ツ、今其分課及主管事務ヲ擧クレハ次ノ如シ

農務省

第一局

第一課 國有林ノ事務

第一係

- 一、 國有林ノ行政
- 二、 國有林ノ管理組織
- 三、 官吏ノ身分ニ關スル事項
- 四、 利用
- 五、 木材、炭、截材其他ノ林產物ノ採得、運搬及勞力賃ノ決

森林局分課

定

- 六、 主產物ノ賣拂及其方法ヲ定ムルコト及產物ノ賣拂契約
- 七、 内外國木材市場ニ關スル調査
- 八、 國有林ノ收支取扱ニ關スル事項
- 九、 高等森林學校及演習林ニ關スル事項并學生ニ給與ノ件
- 十、 國有林ヨリ補助スル建設濟及將來新設スヘキ鐵道ニ關スル事項
- 十一、 國有林ヨリ湧出スル水路ノ修正及排水ニ關スル事項
- 十二、 千八百八十一年ニクローアテイエン、スラフ、ニエンニ屬セシメタル軍事境界ニアル特別事業資本ナル森林ノ管理及其森林賣却ニ關スル事項
- 十三、 財產村ノ森林事業上ノ監督
- 十四、 國有林ノ狩獵ニ關スル件

十五、千八百八十四年法律第二十七號ニ基ク森林買上資本ニ對スル最上監督

第二條

- 一、森林保護吏ノ身分ニ關スル事項
- 二、教會ニ補助スルカ爲メ有スル國有林ノ權利義務ニ關スル事項
- 三、林地ノ買賣及交換并借地契約
- 四、副産物ノ賣却
- 五、林産物ノ處理及施業上ニ要スル土木
- 六、水路陸道ノ運搬裝置ノ新設及其維持ニ要スル設備技術上ノ實行ハ之レヲ除ク
- 七、土木工事ノ見積金額ノ認定
- 八、恩給及恩賜金恩給年限ニ達セサルモ特ニ内閣ノ決議ニヨリ若クハ稀ニ國王ノ恩惠ニヨリテ下付スル

トコ

- 九、常置林業夫ノ件
- 十、期限經過ノ契約處理
- 十一、森林官ノ子女教育補助費ニ關スル現金取扱
- 十二、ツールパリアル事件ノ處理

第二課 森林經理

- 一、正式及假施業案ノ認可及監視
- 二、保安林ノ指定及其施業法ノ決定
- 三、正式及假施業案ニ反スル利用ノ認可
但政府ニテ管理スル町村林ヨリ非常ノ災害ニヨリ要スル採取ハ之レヲ除ク
- 四、森林臺帳ノ整理ニ關スル事項
- 五、國有林經理部ニ關スル事務取扱技術ハ之レヲ除ク

- 六、 國有林ノ測量林値調査并其施業案ノ編製
 - 七、 國有林ノ造林及造林案ノ最上ノ檢査及認可并其實行ノ監督
 - 八、 國有林ノ苗圃ニ對スル實行及監督
 - 九、 森林ノ統計
 - 十、 國有林ノ年伐案ノ認可
 - 十一、 利用セラルヘキ材積ヲ決定スルコト
 - 十二、 土木ノ設計及見積案ノ技術的最上ノ監督
 - 十三、 森林測候所及試驗場
 - 十四、 森林經理部員ノ身分上ノ件
 - 十五、 避暑ノ目的ニ供スル別莊殖民ノ設備及技術上ノ事項
- 第三課 町村林其他ノ森林事務
- 第一係

- 一、 政府ノ管理ニ屬スル國有以外ノ森林ニ關スル取扱
- 二、 千八百九十年法律第十九號ノ施行及千八百九十八年法律第十九號ノ第一章ノ規定ニ關聯スル行政事務
- 三、 政府管理ノ町村林及其他ノ森林所有者ヨリ任用セラレタル森林官及森林屬ノ身分及事務上ノ件
- 四、 國有苗圃ノ件

但森林保護吏學校ノ監視ニ屬スルモノヲ除ク

第二係

- 一、 千八百九十八年法律第十九號ノ實行ト之レニ伴フ庶般ノ事項
- 二、 同法第二章ノ實行ニ伴フ行政事務
- 三、 政府管理ノ町村林及其他ノ森林ニ於ケル正式及假施業案ニ反スル非常入用ノ木材採取ノ認可

第四課 森林監督

- 一、千八百七十九年法律第三十一號ニ基ク森林保存上ノ注意及林内放牧ニ關スル事項
- 二、町村林及ウールバリヤリストノ森林事業ニ關スル件
- 三、森林警察ノ違犯事項
- 四、林產物價格表ノ認可
- 五、新植スヘキ裸地ノ決定
- 六、造林組合ニ關スル事項
- 七、新植ノ獎勵
- 八、苗木ノ交付
- 九、裸地ノ新植事項
- 十、林產物ノ運搬
- 十一、森林資本ノ件

大小林區

- 十二、森林監督署及森林保護吏學校并其事務及身分ノ件
 - 十三、保護吏ノ登用試験及森林普通教育ニ關スル事項
 - 十四、森林專門書出版ノ件
 - 十五、狩獵ノ件
 - 十六、森林會狩獵會及森林會社ノ件
 - 十七、燃料、炭流シ及其他ノ林產物ニ對スル關稅并鐵道運賃表ニ關スル件
- 又國有林管理ノタメ地方ニ十八ヶ所ノ森林官署ヲ置ク之レ我國ノ大林區署ニ相當スルモノニシテ森林面積ノ多寡及管理區域ノ如何ニヨリ更ニ之レヲ三種ニ區別シ其面積ノ少ナキ所ニハ單ニ森林署(Forestamt)其多キ所ニハ上等森林署(Oberforstamt)ヲ置キ尙一層多クノ面積ヲ有スルノミナラス諸般ノ關係重大ナル所ニハ森林廳(Forstdirektion)ヲ設ケ其下ニ百七十二ヶ所ノ森林管理者ヲ置ク之レ我國ニ於ケル小林區署ニ相當スルモノニシテ此機關ニモ亦面積其他ノ關係

ヨリ二種類アリ從テ其署長タルヘキ者ニモ自カラ等差アリ今其大小林区署カ所管スル各面積及一大林区内ニアル小林区ノ數ヲ示セハ(千八百九十五年ノ統計ニ依ル)

森林官署 即チ大林区署名	森林管理署 即チ小林区署數	森林面積	除地面積	合計
ベステルツェバール	一五	120,055	20,719	140,774
ザルノツァ	七	57,107	4,717	61,824
コロツァール	三	29,549	2,455	32,004
サーゼン	八	175,841	24,230	200,071
マイラマロシス	三	247,671	47,816	295,487
フンティアン	七	157,271	16,570	173,841
ルン	三	82,556	5,937	88,493
カレンロワ	九	27,201	59,033	86,234
リントウワール	八	90,501	33,960	124,461

保護區
及受持
面積

ウシタウアル	リッパ	ナシロバール	シロバール	アマティン	グロドロー	ヤーグラーフ	オトチャーツ	ウフンコツエ	計
上等森林署	上等森林署	上等森林署	森林署	森林署	森林署	森林署	森林署	上等森林署	一八
六	二	五	九	五	七	八	九	九	二七
167,733	113,190	89,036	82,091	33,497	31,375	38,133	163,399	107,367	246,630
20,433	49,444	5,397	28,591	11,815	3,536	26,251	4,527	17,571	289,444
188,166	162,634	94,433	110,682	45,312	34,911	64,384	167,926	124,938	536,074

本表ニ森林面積トアルハ現ニ林地中森林トシテ利用スルモノニシテ除地面積トアルハ林地中建設物敷地、耕地、牧草地、放牧地アルベシ高山ノ草生地及不毛地等ノ合計面積ナリ尙又山岳地ノ森林豐富地方ト平地ノ森林稀少地方ト

ノ二大林區署ニ付其管内各小林區ノ所管スル森林及其除地并保護區數等ノ面積ヲ示セハ(千九百年ノ統計ニ依ル)

マールマローシ、スイーゲト森林廳管内

小林區署番號	保護區數	森林面積	除地
一	八	七、二二三	一、二二三
二	五	一九六四〇	六、一七〇
三	四	三一、五二八	五、三四〇
四	五	八、六一三	八、六六
五	三	一〇、六八五	一、三七四
六	五	三〇、四六二	四、九二
七	四	二一、四七〇	一、九三六
八	四	二三、九三四	五、四七八
九	四	三五、一五〇	八、七九四

グロドロー、森林署管内

一〇	四	二四、五一五	五、三九二
一一	四	一七、四五四	二、六三五
一二	三	一五、七〇七	五、九二一
一三	一	一、二八五	二、三〇三
一	七	四、五五六	五、二八
二	六	四、〇一九	二、三六
三	五	四、七四一	八、二〇
四	四	三、五三五	三、一五
五	六	三、八八三	七、八
六	五	四、三〇六	八、七二
七	九	五、六六八	四、七五
八	一	六、六二	一、四七

本表ニ依レハ山方ニテハ一小林區ノ平均面積除地ヲ除キ一萬九百五十一ヨツ
 ホニシテ平地ハ四千四百八十二ヨツホナリ而シテ保護區ノ受持面積ハ山方ハ
 平均四千五百八十六ヨツホニシテ平地ハ七百三十ヨツホニ過キス今尙國全体
 ニ付總平均ヲ見ルトキハ一小林區ニ付一萬四千三百五十二ヨツホ及一保護區
 ニ付二千六十九ヨツホナリ

特別大小
林區署

且又政府ニ於テ特別ニ森林法第十七條ノ規定ニ基ク町村林其他ノ森林ヲ管理
 スルカ爲メノ大小林區署ト同様ニ四十五ヶ所ノ森林署(Staatsforstamt)其下位ニ
 百五十三ヶ所ノ郡森林管理署(Bezirksverwaltungen)ヲ置ク此名稱ハ國有林ニ係ルモ
 ノト混同ノ恐れアルヲ以テ小官ハ便宜前者ヲ特別大林區署ト稱シ後者ヲ特別
 小林區署ト稱ス加之國有林ニ係ル官署名モ爾後便宜我國ノ名稱ニ準シ單ニ大
 小林區署若クハ特別大小林區署ト稱シ時々彼此對照ノ煩ヲ避ントス

森林監督

以上ノ組織ノ外國有林及其他一般ノ森林事業監督ノ爲メ全國ヲ二十一區ニ分
 チ森林監督區ヲ設ケ其一區内ニハ數縣ヲ包轄スルモノアリテ其主要ノ地ニ森

林監督署ヲ置ク

要スルニ尙國ノ森林管理ノ組織ハ中央ニ農務省森林局アリテ森林ニ係ル萬般
 ノ事項ヲ總轄シ地方ニ十八大林區署ヲ置キテ國有林ノ管理機關ヲ備ヘ尙四十
 三ノ特別大林區署ヲ設ケテ町村林等ノ施業ヲ管理シ其外二十一ノ森林監督署
 ヲ置キテ一般森林ノ監督及警察ノ事務ヲ司レリ

森林官々
俸給

第六 森林官ノ配置及其職務

匈國政府ノ森林官ノ官等ハ五等官ヨリ十一等官ニ至ル其他ハ屬官トス而シテ其五等官ハ我國ノ高等官二等ニ當リ十一等官ハ高等官八等ニ相當ス今其各官配置ノ狀況ヲ述フルニ先タ茲ニ官名及之レニ相當スル官等及俸給額ヲ掲ク
レハ左ノ如シ

官名	一級	二級	三級
森林總監 Oberlandforstmeister	五〇〇〇	四〇〇〇	三〇〇〇
上等森林總事官、森林監、上等森林監督官 Oberforst Rath Forstdirektor Oberforstinspektor	三〇〇〇	二五〇〇	
森林總事官、上等林務官、森林監督官、森林主計監 Forst Rath Oberforstmeister Forstinspektor Forstrechnungsdirektor	二四〇〇	二二〇〇	二〇〇〇
林務官、上等森林工師、森林主計參事官 Forstmeister Oberforstingenieur Forstrechnungsrath	一八〇〇	一六〇〇	一四〇〇
上等森林官、森林主計檢査官、下等森林監督官 Oberforster Forstrechnungsgrevidant Unterforstinspektor	一三〇〇	一二〇〇	一一〇〇

森林官ノ配置及其職務

森林官ノ配置及其職務

森林官ノ配置

狩獵監督官 Jagdinspektor	
森林主計官、森林官、園官、森林管理官 Forstrechnungsschreiber Forster Arzi Forstverwalter	十等 一〇〇〇 九〇〇 八〇〇
森林官試補、秘書、森林主計 Forstenddiak Kanzlei-Official Forstrechnungsoffizial	十一等 七〇〇 六〇〇 五〇〇
今匈國政府ノ農務省第一局即チ森林局、大林區署、特別大林區署及森林監督署人員ノ配置ヲ見ルニ左ノ如シ	
中央局	
中央森林行政官トシテ	
森林總監	一
上等森林參事官	四
森林參事官	三
上等森林監督官	一
林務官	二
上等森林工師	一

下等森林監督官	一
狩獵監督官	一
上等營林官	四
森林官試補	三
合計	二一
此外中央ニ於テ事務繁劇ノ場合ハ地方部ヨリ引上クルコトヲ得	
森林監督署	
森林監督官	二〇
下等森林監督官	二〇
合計	四〇
大林區署	
森林官	
森林行政官トシテ	

森林官ノ配置及其職務

森林官ノ配置及其職務

森林監	五
森林參事官及上等林務官	一一
林務官	二六
上等營林官	一一一
森林管理官	一五〇
森林官試補	二七
森林官見習	七六
合計	四一六
補佐トシテ	
醫官	八
秘書	八
合計	一六
森林司簿トシテ	

森林官ノ配置及其職務

森林主計監	一
森林主計參事官	五
森林主計検査官	一六
森林主計官	二〇
森林主計	一九
森林主計官見習	四
合計	六五
右司簿ノ爲メ設クル官吏ノ内ヨリ中央ニ於テ左ノ人員ヲ使用ス	
森林主計監	一
森林主計參事官	一
森林主計検査官	四
森林主計官	二
森林主計	三

森林官ノ配置及其職務

六十六

森林屬

技術及補佐並巡視トシテ

上等森林監守

二三九

森林監守

九九一

土木主任

二四

木場監守

七五

合計

一三二九

補佐トシテ

産婆

六

等外吏トシテ

森林壯丁

一三五

森林等外吏

一二三

廳舎小者

六

合計

二六四

特別大林區署

森林官

森林行政官トシテ

森林監

林務官

上等營林官

森林管理官

森林官試補

森林官見習

合計

一三〇

工師トシテ

三角測量師

一

森林官ノ配置及其職務

六十七

森林官ノ配置及其職務

六十八

森林工師

合計

二 一

森林司簿トシテ

林森主計検査官

森林主計官

合計

二 一 一

此司簿ノ爲メ置カル、二人ハ中央局ニ在勤セシム

森林屬

上等森林監守

一二

森林監守

三五

合計

四七

高等礦山及森林學校并森林保護吏學校ニ係ル人員ハ左ノ如シ
高等礦山及森林學校

森林教授

森林助教授

合計

八 四 四

森林保護吏學校

森林官

上等營林官(校長)

森林官試補(助手)

森林官見習

合計

九 一 四 四

森林屬

上等森林監守

森林監守

合計

五 一 四

森林官ノ配置及其職務

六十九

故ニ以上五大別ノ總員ヲ示セハ左ノ如シ

官 廳 名	森 林 官	森 林 屬	等 外 吏	計
中 央	二一			二一
森 林 監 督 署	四〇			四〇
大 林 區 署	四九七	一、三三五	二六四	二、〇九六
特 別 大 林 區 署	一三四	四七		一八一
高 等 礦 山 及 森 林 學 校	八			八
森 林 保 護 吏 學 校	九	五		一四
合 計	七〇九	一、三八七	二六四	二、三六〇

林務ノ處

森林ニ關スル事務取扱ヲ見ルニ中央ナル森林局ハ第五ニ記シタル事務ヲ處理スルニアリテ森林局長ハ各課ヨリノ提案ニ付自己ノ權限ニ屬スル事項ハ充分ノ責任ヲ以テ專行スルモノニシテ其權限ハ常ニ一定スレトモ往々大臣ノ意見ニヨリテ増減伸縮セラル、コトアリ目下既定豫算内ノ實行ハ勿論其事業ニ伴

取扱件數

フ事務ノ大半ハ局長ノ專行ニ屬スト云フヘシ而シテ林務ハ比較的中央集權ナルヲ以テ其繁忙ナルコトハ恰モ我國ノ山林局ト異ナラス故ニ局員モ多ク合計四十二人ナリ其年々取扱フ事務ノ件數ハ凡ソ三萬乃至三萬二千件トス殊ニ繁忙ヲ極ムルハ第一課ニシテ年々一萬二千件位ヲ處理ス本課ノ或ル主任高等官五等ニ相當スル林務官ノ昨年中取扱ヒタル實際ノ件數ヲ聞クニ五百十六件ニシテ其最モ多數ヲ取扱ヒタル官吏ハ千件ヲ超過セシモノアリト云フ故ニ局内ニ於テハ斯ク中央集權ト爲シ置クノ不利ナルヲ唱フル者少カラス斯ノ如クナルヲ以テ局員タル四十二人ハ既ニ農務省全員ノ三分ノ一ヲ占ム又此三萬有餘件ノ外ニ林務ニシテ直接本省總務局ニ於テ取扱フ事務ノ件數ハ毎年千件餘ナリト云フ

委員會處

林務ニシテ委員組織ニ依リ處理スルハ森林官ノ採用及懲戒處分並森林違犯ノ判決ナリ其官吏ノ採用ニ就テハ森林局長又ハ其代理者會長トナリ森林局ノ四課長及一人ノ主任會計員其他森林主計監一人ヨリ成ル所ノ委員會ヲ設ケ、懲

戒ニ就テモ尙森林局長其會長トナリ局内ノ關係ノ二課長ト其兩課内ノ係長トノ多數人ヨリ成ル委員會ヲ設ケ、森林違犯ノ審理ニ對シテハ森林局長ヲ審判長トシ四人ノ森林參事官及一人ノ上等森林監督官ヨリ成ル委員會ヲ設ケテ之レヲ執行スルモノトス

事業上ニ關スル各般ノ設備ハ殆ト整頓セリト云フヲ得ヘク即チ測量ハ素ヨリ施業案ノ編成ニ至ルマテ既ニ結了シ林道、水路ノ如キモ樞要ノ場所ニハ相應ノ設備アラサルナシ又不要林野ノ存セサルニハアラサレトモ隨時賣却スルコトセルヲ以テ大仕掛ノ事務トナサス從テ森林ニ係ル諸般ノ統計モ進歩セルコト實ニ豫想外ナリ故ニ吾人ハ尙國森林統計ヲ一覽スルトキハ座ナカラニシテ林業經營ノ方針及方法ヲ推知シ得ルノ便益アリ

國有林管理ノ爲メ設ケアル大林區署ニ於テハ既ニ掲ケタル事務ト林業全般トヲ司掌スルモノニシテ大體我林區ニ異ナラス今大林區署長ノ司掌スル重モナル事務ヲ掲クレハ人事、管理、施業、賣拂、土木及貸地等之レナリ

大林區署長ノ人事權限

大林區署長ノ事務權限

人事ニ關シテハ森林官ヲ新ニ任用セントスル際ハ三人ノ候補者ヲ撰定シテ本省ニ上申シ部下官吏ノ懲戒ニ付テハ五人ノ委員ヨリ成ル委員會ニ於テ第一審ノ判決ヲ下シ森林監守及之レト同等ナル屬官ノ任用ヲ專行シ等外吏、勞力者組長及勞力者ヲ採用シ部下ノ森林官、屬官、勞力者ノ諸手當ヲ決定シ而シテ森林官ニハ六週間屬官ニハ三週間ノ賜暇ヲ與ヘ又三ヶ月ヨリ多カラサル俸給ノ前貸ヲ許スコトヲ得極メテ緊急ノ場合ニハ八十グルデンマテノ保證金ヲ下付シ保證金及任官義務納付金之レハ初任ノ際年額三百グルデン以上ナレハ其三分ノ二ヲ爾後十二ヶ月ニ割リ當テ政府ニ納入スニ付減額ノ取扱、森林官及屬官ヲ管理及施業上ノ研究トシテ管内又ハ他大林區管内ニ派遣シ勞力者ニ六ヶ月間ノ病氣慰撫金ヲ與ヘ又法令ノ規定ニ從ヒ屬官等外吏及常備夫ノ懲戒免除ヲ專行スルコトヲ得而シテ施業及管理事務ニ關シテハ其權限次ノ如シ

一、施業上ノ試驗ニ關シテハ五百乃至千グルデンノ支出

二、施業上ノ材料購入ノ契約ニシテ一ヶ年以内ニ終了スルモノ

三、五百乃至千グルデンノ器具器械ノ購入
 四、木材ノ採得運搬ノ事業ニ於テ本省認可ノ運搬賃及勞力賃價格表ニ依リタルモノニシテ契約ハ一ケ年以内ニ終ハルモノ
 賣却ニ關シテハ

一、一年内繼續シテ同一伐採地ヨリ出タス產物ノ賣却ニシテ本省ヨリ認可アリタル價格表ニ依リタルモノ
 二、多大ノ木材賣却及貸地ニ關スル掛合並本省ヨリ與ヘアル權限ニ於テ契約シ及實行スルコト

土木ニ關シテハ

一、森林官、屬官及勞力者ノ住宅並森林内殖民地ノ寺院、學校及貸家ノ建築物ヲ修繕スル場合ハ百五十乃至三百グルデンノ支出但爾來五年間修繕ヲ行ハサリシ場合ナルノミナラス規定ノ宿舍料或ハ賃借料ヨリ多クヲ要セサル場合

二、廳舎及作業小屋ノ修繕ハ二千グルデンマテ、其新營ハ四千グルデンマテノ支出

貸地、契約、未納金、棄却及信用貸借ノ事件ニ關シテハ

一、契約ハ一ケ年ヲ通シテ五百乃至千グルデンヲ超エサルトキ
 二、百五十乃至三百グルデンノ未納金ハ其債權ヲ拋棄スルコトヲ得
 三、又計算上五百乃至千グルデン不足スルコトアルモ明ニ之レカ證明アルトキハ帳簿ヲ消スコトヲ得
 四、訴訟事件ニシテ千乃至二千グルデンナルトキハ和解ニ應スルコトヲ得但法律及會計事務上正當ノ理由ヲ備フルヲ要ス
 五、信用上ノ後納ハ五千乃至一萬グルデンマテナレハ六ヶ月迄之レヲ許ス

上來ノ如クニシテ低キ數字マテハ森林署 Forstamt ニ適用シ高キ額マテハ森林廳又ハ上等森林署ニ適用スルモノトス而シテ各廳署トモ其取扱フヘキ事柄ハ

小林區署
長事務及
業務

其與ヘラレタル權限ヲ超ユルコトアルモ速ニ行フトキハ政府ニ利益アル場合ニシテ躊躇スレハ却テ有害ナリト認ムル場合ハ先ツ之レヲ專行シ然ル後本省ニ上申シテ認可ヲ受ク

一局部ノ施業區即チ森林署ノ實行機關トシテ小林區ヲ設ク其署長ニ上等營林官或ハ營林官ヲ置キ相當ノ權限ヲ與フ併シ權限内ニアラサル事柄ニテモ豫猶シ能ハスト認ムル事件ハ專行シテ上廳ニ上申認可ヲ受ク

人事及施業上ニ關シテハ第一次ノ取扱場所ニシテ其管内ノ仕事ヲ取ラシムル爲メ屬官、等外吏、常備夫ヲ採用スルコトヲ得又其配下ノ役員ヲ必要ニ應シ一時休職セシムルコトヲ得而シテ施業上ニ對シ自カラ其原動力トナリテ其事業ヲ執行ス

小林區署ニシテ大林區署ニ遠キトキハ小林區署長ハ當該年度ニ屬スル經費ヲ受取り置キ支拂ヲ爲スコトヲ得而シテ材種ノ分類ヲ爲シ置キ大林區署ハ之レヲ檢定シテ正確ニ材量計算簿ニ記入スル材料ヲ整理シ且其管内ノ材量ハ務メテ當該小林區署長ノ許ニ於テ賣リ盡スヘキ義務アリ

小林區署長ハ林產物ノ賣拂及貸地等ニ付一切競争ノ方法ニ依リ之ヲ取扱ヒ大林區署長或ハ其代理者ノ立會ヲ求ムヘシ但シ特別ノ價格ヲ有スルモノハ此限リニアラス而シテ競争ノ結果ニ基ク許否ハ大林區署又ハ本省ニテ之ヲ決ス森林ノ損害事件ニシテ三十グルデンヲ超ヘサルモノニ對シテハ常ニ政府ヲ代表ス

大林區署
業務ノ通

森林鋸場ノ事業ヲ監督スルモ會計ニ關シテハ鋸場ノ管理者(尙ホ森林官)專ラ之レヲ行フ

又管内ニ數區ノ保護區アリテ之ニ上等森林監守或ハ森林監守ヲ配置ス是等ハ專ラ森林保護ニ從事シ此外狩獵上ニ關シ有用動物ノ保護ヲ爲ス其人物タル森林ノ簡易教育ヲ受ケタルノミナル故ニ別段ノ才幹ナシト雖モ凡テ軍律的ニ職務ニ服セシメ柔順忍耐ニシテ強壯ナル者ヲ以テ之レニ充ツ

今大林區署カ年々行フ業務ノ實際ノ有様ヲ參考セン爲メ千九百年ニ於テ之ニ

ラルツェバーニヤ森林廳管内ニ於テ行ヒタル成績ヲ得タルヲ以テ其要領ヲ左ニ記スヘシ而シテ本林區ハ小官モ一度實査セシ所ニシテ既ニ前ニ述ヘタル如ク匈國中屈指ノ良林ヲ有ス

森林面積 森林地ハ八萬千三百ヘクタールニシテ除地ハ一萬千四百二十二ヘクタールナリ

樹 種 森林地面積ノ四%ハ樺、六%ハ潤葉樹、九十%ハ針葉樹ニシテ此針葉樹ノ内五%ハ豫備林

伐 期 森林地ノ九十二%ハ百二十年三%ハ百年ノ輪伐期ニヨリ四十作業級ニ分ツ

小林區 此數十六數年前ノ統計ニハ十五トアリ後年増加セシモノト認ムニシテ最多ノ面積ヲ管轄スルハ八千六百十五ヘクタールニシテ最少ハ三千四百七十三ヘクタールナリ
年伐面積 施業案ニヨレハ其面積ハ六百十五ヘクタールニシテ材積ハ建築材

十七萬千九百九十四立方メートル、薪炭材十萬七千四百七十一立方メートルナリ

實行成績 面積五百六十一ヘクタール建築材其他ノ用材十六萬二千七百三十一立方メートル、薪炭材十萬六千十四立方メートルヲ得タリ

收支豫算

支出	
一、俸給	一六八、三〇八
二、旅費	二、三三六
三、賞與及救助	二、〇〇〇
四、廳費	四、八〇〇
五、飼馬料及其手當	三七、〇〇〇
六、家屋修繕費	一六、〇〇〇
七、訴訟費	二、〇〇〇

八、	管理上ノ雜費	五、〇〇〇
九、	經理及測量費	七、〇〇〇
十、	薪材ノ採得及運搬費	二〇、〇〇〇
十一、	用材ノ同上	二七、〇〇〇
十二、	木製品ノ採得費	三、〇〇〇
十三、	木炭ノ製造及運搬費	七六、〇〇〇
十四、	造林費	四三、〇〇〇
十五、	副產物採得費	一五、〇〇〇
十六、	作業小屋及運材裝置費	四六、〇〇〇
十七、	材料購入費	一、〇〇〇
十八、	器具器械新調費	三、〇〇〇
十九、	事業上ノ雜費	一六、〇〇〇
二十、	國稅及町村稅	一二八、九二六

廿一、學校及寺院等ニ給與

四二、〇〇〇

計

一、〇八八、三七〇

收入

一、	訴訟費納入	二、一〇〇
二、	管理上ノ雜收入	四、〇〇〇
三、	薪材	二六〇、三六四
四、	建築其他ノ用材	一、二三〇、〇〇〇
五、	木製品	五、五一六
六、	木炭	一五〇、〇〇〇
七、	副產物	一〇七、六三六

計

一、六五九、六一六

斯ノ如クナルヲ以テ差引純收入ハ五七二、二四六〇クローネナリ
收支實行 收入一、六六八、〇六四クローネニシテ支出一、一四、九八八クロー

ネナリシヲ以テ純收入ハ實ニ五五三、〇七六クローネニシテ全面積ニ配當スレハ平均一ヘクタールニ付五、クローネ九八ナルヲ以テ我國ニ比スレハ殆ト一町歩ニ付現ニ二圓三十九錢二厘ノ純收入ヲ收ムルナリ

林木賣却 林木ノ一部ハ林内ニ於テ立木ノ儘評定シテ賣却ヲ爲シ一部ハ國費ヲ以テ一定ノ木場マテ車又ハ筏ニテ運致スルノ契約ヲ以テ賣却シ年度内ニ盡ク賣却シ終レリ

造 林 施業案ニヨレハ年々千八十ヘクタールツ、造林スヘキ豫定ナルモ本年度實行ハ千百三十六ヘクタールニシテ今造林種類及其費用ヲ示サシニ

播種造林	五二、ヘクタール	一、二二九、クローネ
植樹造林	一、〇八四、ヘクタール	三四、二八六、クローネ
計	一、一三六、ヘクタール	三五、五一五、クローネ

故ニ造林費ハ一ヘクタール平均播種ハ二三クローネ、六三ニシテ植樹ハ

苗

三二クローネ六三ナリ之レニ要セシ種子及苗木次ノ如シ	五、六七、キログラム
樅ノ種子	六三〇、キログラム
唐檜ノ種子	三、キログラム
黒松ノ種子	三五、二〇〇本
潤葉樹苗木	四、一〇三、〇〇〇本
唐檜、樅、落葉松、松等ノ苗木	苗木代ハ七、八三二クローネニシテ總種子代ハ七五五クローネ、苗木代ハ七、八三二クローネニシテ一ヘクタールニ付テノ苗木ノ植付本數ハ平均四、一一〇本ナリ
圃 總テ小畝歩ノ點在苗圃ニシテ二百六十一箇所アリ僅ニ一六ヘクタールニ九ニシテ三ヶ年毎ニ順次播種ス本年度ハ左ノ如シ	
唐檜	二九四、キログラム
樅	一、二五六、キログラム
落葉松	七九、キログラム

松 檉 槭 柳

以上ノ總種子代ハ二、八八〇、クローネニシテ全苗圃ノ手入費ハ九、七四〇、クローネヲ要シタルヲ以テ總計一二、六二〇、クローネトナル即チ苗圃一、ヘクタールニ付平均七百七十クローネヲ要スルノ割合ナリ而シテ本年度ニ於テハ四、四五五、〇〇〇本ノ苗木ヲ山行トシ外ニ一、六四三、〇〇〇本ヲ他ヘ送りタルニヨリ今苗圃ニ現存ノ本數ハ針葉樹一三、七八五、〇〇〇、潤葉樹二九五、〇〇〇計一四、〇八〇、〇〇〇本ナリ又此苗木ニ對スル代價ハ平均千本ニ付九十ヘルラートス以上ノ各種子ノ内唐檜、樅、槭、柳、檉ハ管内ニテ採集シ落葉松及各種ノ松ハ他ヨリ購入セシモノニ係ル

四七五、キログラム

四九、キログラム

一五、キログラム

七、ヘクトリクター

建

物 本管内ノ常設建物ハ事務所ハ百三十事業上ノ建物四十ニシテ總數百七十箇所ニシテ其修繕費ハ六四、一五三、クローネナリ而シテ本管内ニ存シ政府ノ保護ヲ要スル寺院二七、僧侶ノ住家二六、學校三六計八九箇所ニシテ其修繕費ハ四二、〇〇〇、クローネヲ要セリ

運材装置 陸上及水路運搬ノ爲メ次ノ装置ヲ使用シテ木材ヲ搬出シ以テ國有蒸氣鋸四臺及私有ノモノ二臺ニテ製作シ其總鋸數ハ格子鋸十七ヶノ外圓鋸亦多シ

主林道ノ延長

二六五、キロメートル

副林道ノ延長

六八七全

筏流ノ水路延長

九四全

網

一七〇全

石造大堰

二箇所

木造小堰

一三全

常設留場

一一全

官 吏 十六小林區署ニ對シテ上等營林官十二人、營林官四人ノレカ長タ
リ管理監督測樹會計等ノ爲メ大林區ニ二十五人ノ森林官、森林保護
倉庫、秘書及建築等ノ爲メ二十四人ノ上等森林監守七十人ノ森林監
守二人ノ工師三十人ノ森林壯丁及若干ノ等外吏ヲ置ク而シテ其管理
費ハ本年度ニ於テ二四一、四六八クローネヲ要シタルヲ以テ「ヘクタ
」平均二クローネ四一ニ相當ス

木材價格 木材ノ單價ハ其使用地及グラシ河ヨリノ遠近ニヨリ大差アリ今
林地カ夫等ノ場所ヨリ隔タルコト十二キロメートル以内ヲ一級トシ
其以外ヲ二級トシ其成績ヲ見ルニ山元代價左ノ如シ

材	種	一級	二級
硬薪材	一	〇、九〇—一、二二	〇、六八—〇、九〇
軟薪材	一	〇、五九—〇、七九	〇、四四—〇、六〇

硬用材—フェストトメーダー 二、八〇—一、五〇〇 二、〇〇—一、〇〇〇

軟用材—フエストトメーダー 三、八〇—八、四〇〇 一、七〇—六、八〇〇

硬木炭—クトロリーダー 〇、二六—〇、三九 〇、二一—〇、三二

軟木炭—クトロリーダー 〇、一八—〇、二七 〇、一三—〇、二二

農業間作 一面伐採跡地ノ直ニ雜草ニ被ハレサル爲メ一面森林ノ勞働者ニ
幾分ノ營養原料ヲ給スルカ爲メ次ノ方法ニヨリ農事ノ間作ヲ施行ス
ルコト、セリ

即チ木材ヲ搬出シタル後春季ニ於テ勞働者ニ四乃至八「アール」ツ、ノ
伐採跡地ヲ貸與シ四年間收穫セシメ其借地料トシテ「アール」ニ付三
十ヘルラーヲ納メシム然ルトキハ勞働者ハ枯枝等ヲ掃ヒ根株ヲ取り
除キ若クハ枝條ト共ニ燒キ捨テ又取り除キタル根株及大石ヲ借地區
域ノ周邊ニ運ヒテ垣根トナシ以テ初メノ二ケ年間ハ馬鈴薯ヲ作り第
二年ノ秋ニハ大麥、燕麥、及野麥(Sandekorn)ヲ播キ第三年目ニ大麥及燕麥

ヲ收穫シ野麥ハ生長遲緩ナルヲ以テ其翌年成熟ス而シテ第三年目ニ
 斯ク耕セル跡地ニ三年生ノ唐楡(三分ノ二)及樅(三分ノ一)ヲ混植ス以前
 ハ借地者ナル勞働者ニ任シテ植樹セシメシコトアリシモ不規正ナル
 方法ニヨルヲ以テ却テ補植ニ多クノ費用ヲ要スルノ不利アリタルヲ
 以テ現今ハ凡テ林區ニテ直營スルコトニセリ
 四年目ニ野麥ヲ收穫スルニハ稚樹ヲ害セサランカ爲メ地表三五乃至
 四〇センチメートルノ高サニテ竝取ル若シ唐楡及樅ノ種子ヲ撒播
 センニハ先ツ大麥、燕麥及野麥ヲ播キ後ニ「ヘクタール」ニ付唐楡八、キロ
 グラーム樅三、キログラームノ割合ニ木製ノ熊手ヲ使用シテ掻キ交セ
 多少種子ノ地中ニ入ルヨウ注意ス植樹ノトキハ唐楡二千本ト樅一千
 本ノ割合トス此間作ヲ爲ス所ヲ實見セシニ傾斜十度以上ノ場所ニモ
 作業セシカ地盤堅固ニシテ土地モ肥沃恰モ我東北地方ノ林地ニ彷彿
 セリ素ヨリ耕作ノ爲メ國土ノ保安ヲ害スル等ノ場所ニアラス該地ハ

割合ニ雜草ノ繁茂力弱キヲ以テ容易ニ此間作ヲ行フヲ得ルモ我國ノ
 如キ雜草ノ發生劇甚ナル所ニテハ容易ナラサルヘシ然シ少シク其方
 法ヲ異ニスレトモ九州四國若クハ北陸地方ニハ既ニ此間作ヲ爲スモ
 ノアレハ手入次第ニ依リテハ其目的ヲ達シ得ヘケン乎而シテ其收穫
 ノ模様ハ種子量ニ對シテ馬鈴薯ハ十五倍、大麥、燕麥等ハ十倍、野麥ハ
 十倍乃至十五倍トス

管流シノ設備

運滞ニ移シ下流ニハ留場アリ本管内ニ於テ寧ロ匈國中最大ノ留場ヲ
 「ベステルツェバーニヤ」市ニ設ケ薪材及丸太材ヲ蒐集ス其留場ハ千百
 六十七メートルノ長サニシテ側壓ニ堪ユル爲メニ四十一箇ノ石柱ヲ
 以テ固定ス之レヨリ石造及木造ノ運河口ヲ作り六「ヘクタール」ノ面積ヲ
 有スル貯木場ニ通ス此所ニハ木材ヲ三萬乃至四萬ラウムメートルヲ
 蓄積スルコトヲ得此留場ノ上流ニ於テ筏ノ通行スヘキ水門ヲ設ケ此

所ヲ通過スル一年間ノ筏數ハ約三千ニシテ其材積四萬四千「フェスト
 メーター」ナリ而シテ其下流ニ於テモ斯ノ如キ種々ノ運搬裝置アリ
 勞力者ノ 數箇ノ酒保ヲ設ケ勞力者ノ需用ヲ辨ス本年度ノ賣上高ハ食品其
 他ハ十五萬九千二百八十七「クローネ」ニシテ、 國立ノ宿屋ニ於テ飲料
 ノ賣上高ハ一萬四千二百九十二「クローネ」ナリ

種子精製 本年度ハ本所ニ於テ唐檜ノ種子ヲ精撰セリ即チ乾燥暖爐ヲ用キ
 種子ノ採集ハ十月ニ於テ乾キタル時季ニ臨ミテ收集シ置キタル毬果
 ヲ空氣ノ流通宜シキ乾倉ニ貯藏シ然ル後焙網上ニ据エ置キ攝氏四十
 度乃至四十五度ヲ以テ四十八時間此所ニ置キ乾燥セシム而シテ其焙
 網上ニハ五十七「ヘクトリーター」ヲ重積スルコトヲ得故ニ一ヶ月ニハ七
 百五十「ヘクトリーター」ノ毬果ヨリ種子ヲ採集シ得ヘシ種子ヲ出シタ
 ル後翼ヲ去リ精撰シタルモノヲ空氣ノ流通良キ所ニ蓄フ近年二十四
 時間ニテ乾燥スル方法ヲ講セリ之レ焙網ニ入ル、以前ニ既ニ暖室ニ

特別大林
區署ノ主
管事務

藏置シ置クニアリ、普通本林區ノ一年ニ要スル種子ノ量ハ三千乃至
 四千「キログラム」ナルヲ以テ其剩餘ハ販賣スルナリ其一「キログラム」
 ムノ價ハ一、四〇乃至一、六〇「クローネ」トス

特別大林區ニ於テハ町村林其他ノ森林ニ於テ施業上ノ技術的事項及森林警察
 事務ノ執行ヲ司ルノミニシテ木材ノ利用、材量及現金ノ取扱、賣却並森林保
 護ニ關スル事項ヲ取扱ハス之レ等ハ皆所有者自ラ處辨スルヲ以テ順序トス然
 レトモ所有者ハ費用ヲ政府ニ支拂フトキハ事業ノ全部若クハ一部ヲ當該大林
 區署ニ委託スルコトヲ得ルモノニシテ其官吏ハ勿論政府ニ於テ任命セルモノ
 タリ

今政府カ國有林以外ノ森林ヲ特別ニ管理スル點ニ於テ其詳細ノ種類範圍ヲ千
 八百九十八年法律第十九號ニヨリテ檢スルトキハ

- 一、大小町村ノ所有林及財產村ノ所有林
- 二、ウールパリアル整理上其權利者ニ歸シタル普通ノ組合林及國土保安上

- ノ性質ヲ有スル組合林並其權利者カ更ニ他ヨリ贈與ヲ受ケ購入交換等ニヨリ得タル組合林ニシテ國土保安上ノ性質ヲ有スル森林
- 三、縣、特別市及市ノ所有林ニシテ此法律施行ノ當時既ニ政府ノ管理ニ屬シ或ハ然ラサルモ其收入ハ特設セル森林官ノ俸給ヲ支辨シ能ハサルモノ
- 四、教會林、公共基本林、私人基本林、世襲財產林、組合林及森林法第十七條ニ服従スル會社林ニシテ此法律施行當時既ニ政府ノ管理ニ歸シ或ハ然ラサルモ其施行後六ヶ月以内ニ専門的智識ヲ有スル森林官ヲ採用セサルモノ
- 五、森林法其他ノ法律ニヨリ規定セラレタル林地中ノ裸地ニシテ第一及第二國土保安上ノ關係ナキ普通組合林ノミノコトニ服従スヘキ森林所有者ノ有スル土地及森林法第六十六條ニ基ク造林組合ノ新植スル義務ヲ有スル裸地

特別大林區署長ノ權限

- 六、前五項ニ掲クルモノ、外ノ保安林、森林法ニヨリ新植ノ義務ヲ有スル第五ニアルモノ、外ノ裸地及森林法第六十五條及其他ノ法律ニヨリ義務ヲ帯ヒサル裸地、即チ國土保安ニ關係ナク全ク經濟的ノミニ利用シ得ヘキ林中ノ裸地
- 右ノ如ク一旦政府ノ管理ニ托スルモ所有者ハ獨立シテ完全ノ經營ヲ爲シ得ルニ至レハ其管理ヲ廢罷スルコトヲ得ルナリ然リ而シテ特別大林區署長ノ權限ヲ見ルニ
- 一、境界ノ標示及之レヲ保持スルコトノ注意
 - 二、測量、製圖及林相調査ニ關スル技術
 - 三、施業案編製ニ關スル一般ノ事業
 - 四、利用上ノ程度ヲ示シテ之レヲ監視ス
 - 五、實地ニ就キ新植地ヲ指定シ森林保護ニ關スル一般ノ事項ヲ定ム
 - 六、賣却スヘキ材量及豫價ヲ定ム且產物ノ分配賣却ノ方法及契約條件ニ就

キ注意ヲ付ス

七、所有者ノ採用シタル森林監守ヲ監督ス而シテ探知セル森林違犯ニ付相當ノ取扱ヲ爲シ且現行犯中捕ヘサリシ犯罪者ヲ追捕スル命令ヲ爲ス、又特別ノ委任ナキモ森林犯罪者アルトキ裁判所へ出訴シ且訴訟ノ進行中所有者ノ代理トナリ且所有者ノ委任アルトキハ損害ニ關スル手續ヲモ實行ス

八、森林警察上ノ必要ニヨリ専門的ノ調査ヲ爲ス

九、所有者及官廳ニ説明シ又前段ニ掲ケタル主管事件ニ關スル問題ニ付意見ヲ提出ス

特別大林區署カ以上ノ仕事ヲ爲スニ付必要ナル勞力材料其他必要ナル車及宿泊ノ設備ハ所有者自ラ之レヲ爲スヘシト雖モ其以外ハ政府ニ於テ之レヲ支拂フ然レトモ所有者ハ毎年打切り額ヲ地方行政團體毎ニ綜合シテ政府ニ納入スヘシ其額ハ政府ニ委託セサル前ニ各所有者カ管理ノ爲メ支出シタル毎町ノ單

町村林等
管理費ノ
回數

森林監督
署ノ主管
事務

位ヨリ起算ス其算定手續ハ當該參事會員之レヲ算定スルモノニシテ政府ノ徵收スル方法ハ租税ト同一ナリ而シテ所有者ハ事務整理ノ爲メ組合會ヲ起スモノニシテ此會ニハ特別大林區署長出席スルコトヲ得ルモ素ヨリ議決權ヲ有セス

而シテ特別大林區署ノ署長ハ森林監督若クハ林務官ニシテ其他尙數種ノ官吏之レニ附屬ス又郡森林管理署即チ特別小林區署ニハ署長トシテ上等營林官若クハ營林官稀ニ森林官試補ヲ置キ大林區署ノ事務ヲ分掌セシム

森林監督署ハ全國ヲ二十區及ブダベスト直轄區ノ二十一區ニ分チ其各區ノ長トシテ農務大臣ノ奏請ニヨリ國王ヨリ命セラレタル森林監督官就任ス其下僚ニハ場合ニヨリ一人或ハ二人ノ吏員ヲ屬セシメ事務ヲ補助セシム

抑々森林法ヨリ起ル事務ハ各官廳及地方行政團體(特ニ參事會員)ニ於テ之レヲ處理ス而シテ參事會員中森林ニ關スル特別委員ヲ設ケ専ラ林務ニ當ラシム此森林委員會ニ於ケル林務林業上ニ關スル專門技術ノ代表者ハ森林監督官ニシ

森林監督官ノ權限

テ農務大臣ノ監督責任ニ屬スル唯一ノ機關ニシテ常ニ大臣ヲ代表シテ其受持區内ニ於ケル森林事業ニ關スル國家的事務ノ委任ヲ受ケ之レヲ處理ス而シテ其官吏ハ直接森林ノ中央局ニ屬シ第一局第四課ノ所屬タリ本課ノ職務權限ハ既ニ述ヘタルヲ以テ茲ニ重複ヲ避クヘント雖モ要スルニ森林監督官ハ一地方ニアリテ殆ト第四課全部ノ事務ヲ司掌スルモノト見テ可ナリ

- 一、森林委員會へ參加委員トシテ毎回出席スルヲ要ス若シ自己出席シ得ハサルトキハ部下ノ官吏ヲシテ代表セシメ結局時機ヲ失セス自己ノ意見ヲ發表スル義務ヲ有ス
- 二、參事會員ニテ森林違反者ヲ審理スルトキ及森林技術ニ關スル問題ニ係ルトキハ必ス出席スルヲ要ス若シ差支アレハ部下ノ官吏ヲシテ之レヲ代表セシム
- 三、森林監督官ハ森林委員會ノ決議ニ關シ同意シ能ハサル事項アルトキハ

時機ヲ失セス農務大臣ニ上告シ且必要ト認ムル場合ニハ直接異議ヲ申出ツルコトヲ得故ニ森林監督官ノ出席スルト否トニ拘ラス監督官ハ委員會ノ開會ニ付通知ヲ受クル權利ヲ有ス

四、森林所有者ヲシテ法規ニ從ヒ完全ニ森林ヲ保持シ且之レヲ合理ニ施業セシムルコトヲ期スルニハ勢ヒ管内ノ熟知ヲ要スルカ故ニ少クモ毎年一度ハ全管内ヲ旅行シテ森林事情ヲ觀察スル義務アリ而シテ其見聞シタル事項ニ付テハ參事會員ヲ經テ農務大臣ニ意見ヲ具シ上申スルモノトス

- 五、旅行中若シクハ平常特ニ注意スヘキハ左ノ如シ
 - イ、保安林及限林地ノ森林事業力適當ニシテ且合法ナリヤ
 - ロ、若シ森林違反者ヲ發見シタルトキハ其調査手續ヲ爲シテ其所有者ノ違反ニ付參事會員ニ訴フ
 - ハ、危險ノ恐レアル森林取扱ニ付禁シ得ヘキ事件ナルトキハ職權ヲ以

- テ之レヲ禁制シ臨機ノ取扱ヲ要ス此禁スヘキ事項ニシテ事重大ナリト認ムルトキハ各市町村ノ普通警察官ノ援助ヲ受ク
- ニ、合法ノ施業ヲ爲ス爲メ政府ニテ特ニ管理スル森林ノ所有者ニハ施業案編製及十年毎ノ檢閲ヲ命令通り及適當ノ時機ニ取扱ハシムルヨウ監視ス
- ホ、調成濟ノ施業案ニ付實査シテ不都合ナキ様注意シ若シ不都合アルトキハ變更若クハ訂正ヲ爲サシムル爲メニ意見ヲ述ヘ參事會員ニ提出ス
- ヘ、既ニ所有者ハ適當ノ森林官及森林保護吏ヲ採用セシヤ否ヤヲ監視ス
- ト、服制其他ノ規律正シキヤ否ヤヲ監督ス
- 六、參事會員ノ職權ニ屬スル森林上ノ問題ニ付森林監督官調査スル場合ニハ先ツ施業案省略ノ爲メノ願書及森林ヲ正式施業案ニヨリテ作業セザ

- ルヘカラサルカ否ノ申出其他既ニ農務大臣ノ認可シタル施業案ヲ忌避シ之レヲ變更セントスルノ申出並森林地域ヲ變更スル問題ニ對シテ之レヲ行ヒ必ス自己ノ意見ヲ提供ス
- 七、他人ノ所有地ヲ通シテ林產物ヲ運搬セントスル場合及其方法ヲ指定スル事件ニ關シテハ前項ト同シ
- 八、保安林及限林地ノ指定及ウールバリヤル權利者ノ組合所有林内ニ放牧權アリテ今日之レヲ從來ノ行政處分ニ基キ林地籍ヨリ除キテ放牧地ニセントノ申出アルトキハ森林監督官ハ實際斯クノ如キ牧畜ヲ爲シ得ルトノ行政處分アリシヤ否ヤヲ審査ス而シテ之レ等ノ事件ニシテ若シ裁判所ニ移リタルトキハ裁判所ハ必ス森林監督官ヲ召喚スヘシ
- 九、新植スヘキ裸地ヲ指定シ且造林組合ヲ組成スヘキ場合ニハ規定ニヨリ之レヲ創設シ且之レニ參加スヘシ
- 十、裸地新植ノ爲メ政府ヨリ交付スヘキ苗木ノ養成ノ爲メ作レル苗圃ノ管

理監督ヲ爲ス

- 十一、政府ニテ毎年廣告シテ募集スル苗木交付又ハ補助金請求額、貸金等ニ付農務大臣ニ差出シタル申込書ヲ審査シテ意見ヲ付ス
- 十二、森林犯罪者著シク増加スルトキハ森林產物ノ賣買ハ森林法ノ規定ニ從ヒ所有者ノ証明ヲ得ルモノニ限り之レヲ行フヲ得ル様命令ヲ下スコトヲ得
- 十三、虫害ノ大ニ起リタルトキハ詳細ノ案ヲ參事會員ニ出クシテ其害ヲ防止シ又ハ其繁殖ヲ防ク方法ヲ講スヘシ且必要アルトキハ其仕事ヲ政府ニ於テ施行シ其費用ヲ所有者ヨリ納付セシム
- 十四、管流シ筏流シ并此等ヲ爲スニ必要ナル水工事ニ關シ參事會員ニテ第一次ノ處斷ヲ爲ストキハ森林監督官ハ政府側ノ鑑定者トシテ其都度實査シ且其處斷ノ際ハ必ス列席スヘシ
- 十五、毎年何國ノ各地ニ於テ行フ森林保護吏採用試驗ニハ森林監督官試驗

森林監督官トシテノ關係

委員長トナリ試驗ヲ行ヒ及第者ニハ合格證ヲ交付ス

- 十六、森林監督官ハ政府ノ管理ニ歸セン森林ノ施業事件ニ關スル規程ヲ作ルニ當リ本省ニ意見ヲ提出ス
 - 十七、森林統計ノ調査ニ共力シ森林臺帳及施業案臺帳ノ保管ヲ爲シ又其後ノ變化ヲ記入ス
- 森林監督官ノ職務ノ梗概ハ以上ノ如シ尙一言セントスルハ其職務ヲ完全ニ執行センカ爲メニ何國政府ハ森林監督官ヲ各官廳殊ニ參事會員ト全ク獨立セシメ以テ前掲ノ諸業務ヲ其權限内ニ於テ自由ニ實行シ得シメタリ去レハ若シ參事會員ニシテ森林監督官ノ發議ニ對シ必要ノ措置ヲ爲サ、ルカ或ハ森林監督官カ法律、命令ニ反スト認ムヘキ事項ニ付森林警察上ノ命令ヲ下ストキ若クハ合理的林業ニ適合セサル森林警察命令ヲ發スルカ或ハ森林所有者ノ森林違犯ヲ看過スル等ノコトアルトキハ森林監督官ハ森林委員會ノ決議又ハ宣告ヲ農務大臣ニ上申セサルヘカラス是レ森林監督官トシテ純粹ニ國家的ノ職務ヲ

會計事務

奉スル者ノ當然爲スヘキノ義務ナリトス
 森林ノ金庫及主計事務ニ付少シク述フル所アラントス然レトモ其大體ハ我國ト等シケレハ敢テ詳説スルノ必要ヲ認メスト雖モ參考ノ爲メ一斑ヲ略記セハ即チ一般金庫ノ出納ヨリ普通會計事務整理ハ一般會計法規ニヨリ行フモノニシテ特ニ森林ニ限リ行フ所ノ會計法規アルニアラス然レトモ其實際ノ取扱ハ我國ニ比シテ便法ナキニアラス故ニ森林會計ニ屬スル概略ノ組織及其取扱方法ヲ記スルト同時ニ我國ニ見サル特例等ヲ述ヘ且各官廳同一ナルヲ以テ主トシテ國有林管理部ナル大小林区署ノ金庫關係及主計事務ニ付説クヘシ
 森林金庫ノ事務ハ大林區署所在地ニアル王國稅務署之レヲ取扱フナリ而シテ稅務署ハ大林區署長ノ命令ニヨリ收支ヲ爲スモノニシテ其事務ハ大林區署ノ森林主計部ニ於テ主管ス、各大林区署ハ獨リ此金庫ト關係ヲ有スルノミナラス應金庫(Haushalt)ヲ自應内ニ有シ常ニ林区ノ支出上必要ト認ムル金額ヲ保管シ中央局森林官ノ元締ニヨリ其範圍内ニ於テ大林區署ノ森林官之ヲ取扱フナ

リ而シテ支出ニ屬スル金額ノ一部ハ應金庫ニ納メ置キ殘部ハ大林區署ト遠隔シテ比較的不便ノ小林區署ニ置ク小林區署ハ事業施行ノ結果納入シタル金額ニシテ其署ニテ必要ト認ムル以外ノ金員ハ大林區署ニ轉送ス然ル時ハ大林區署ハ其受ケタル金額ヲ應金庫ニ納入シテ普通ノ場合ノ如ク夫々精算ノ手續ヲ爲スカ或ハ大林區署自カラ收入シ或ハ他ヨリ轉送ヲ受ケタル金額ノ合計カ五、〇〇〇乃至三、〇〇〇グルデン(五、〇〇〇グルデンマテハ先キニ云ヒタル森林署ニ適用ス)ヲ超過シ並其年ノ管理及施業上ノ支出ノ必要額ヲ超過スルトキハ當該稅務署ノ森林金庫ニ送付ス而シテ以上ノ額ニ達スルト否トニ係ハラヌ毎月精算書ヲ稅務署ニ送付スヘキモノトス

森林金庫ニテハ森林出納簿、預金簿及恩給簿ヲ整備ス

- 一、森林出納簿及豫算簿ニハ大林區署ノ爲シタル全收支ヲ明細ニ記入シ月末ニ稅務官吏ハ其收支ノ總計ヲ通計簿ニ記入ス
- 大林區署ノ應金庫ニテハ之等ノ補助簿ヲ作り毎月末ニ於テ稅務官吏ト

共ニ計算照合スルノ義務ヲ有ス

- 二、預金簿ニハ私人起業會社又ハ商業會社ヨリ保証金トシテ提供シアル預金ニシテ政府所有ニアラサル金額ヲ詳細ニ記入ス
- 二、恩給簿ニハ各種恩給金額ヲ明記シ毎月末農務省ト對照シテ其支拂ヲ明ニス

四、其外森林監督署ニ於テ行フ森林購入資本及森林資本ニ關スル收支ヲ記スル爲メ一ノ帳簿ヲ備フ

大林區署會計ニテハ毎月ノ收支ヲ翌月ノ十日迄ニ整理シ本省ノ中央森林會計ニ送付シ此所ニテ全國ヲ總計シテ十二日マテニ本省ニ提出ス故ニ前月ノ收支ハ翌月十二日ニハ明ニ知了シ得ル爲メ常ニ時期ヲ後レサルヨウ督勵ス

毎年度(旬國)ノ會計年度ハ曆年ニ依ル末ニ總計算ヲ爲スノ手續ハ我國ト大差ナク特記スルノ要ナカラン只少シク爰ニ記スヘキハ千八百八十四年ノ法律ヲ以テ定メタル森林購入資本是ナリ之レニ付テハ千八百八十六年ニ初メテ實際ニ

施行セラレ其收入ハ此時ヨリ千八百九十五年末マテニ三百三十五萬二千八百六十三グルデン八十七クロイツァーニシテ千八百九十五年末マテニ民有林ヲ購入シテ此資本ヨリ支拂タルハ七萬八千八百九十八ヨツホノ森林ヲ二百十萬三千二百四グルデン五十八クロイツァーニテ買ヒ其他ハ鐵道株券ヲ七十萬五千六百グルデンニテ買入レ其殘餘ハ五十四萬四千五百九十九グルデン三十三クロイツァーナリトス而シテ最近千九百年度末ニハ百六十一萬五千九百二十五グルデンノ殘餘ニシテ當該年度ノ收入ハ二百七萬七千五百五十七グルデンニ達セリ

而シテ收入官吏及物品會計官吏ヲ命セラレタル者ハ其年俸ノ三分ノ二ニ相當スル額ヲ保證金トシテ政府ニ納入スルモノニシテ二ケ年間ニ皆納スルノ制ナリ尙茲ニ旬國ニ於ケル森林豫算編製ニ關スル項目ヲ説明スルハ適當ノ順序ト認ムレトモ後章ニアル森林收支ヲ説明スルニ當リ同時ニ之レヲ示ストキハ重複ヲ避ケ却テ便宜ナルニ付茲ニ之ヲ略スルコトトセリ

第七 森林ノ警察的及司法的事項ノ裁斷

森林法實施ノ結果トシテ起ル諸種ノ事務裁斷ノ爲メニハ又之レニ應スル相當ノ機關アリ即チ先ツ農務省ヲ初メトシ各種ノ森林機關及地方行政團體特ニ其參事會並郡市町村長等ニシテ森林ニ對スル檢察官ノ位置ニアルハ主トシテ森林監督官ナリ而シテ森林所有ノ異ナルヨリ自然其機關ヲ異ニスルヲ以テ左ニ追次之レヲ述フヘシ

森林所有者其家族或ハ代理者若クハ森林官森林屬カ自己ノ所有若クハ管理スル森林ニ對シ法律ノ規定又ハ森林ニ關シ官廳ノ命令シタル警察違犯ノ行爲アリタルトキハ之レヲ森林違犯ト名ケ次ノ處理ヲ爲ス第一次ノ警察機關ハ參事會ニシテ其參事會員中ヨリ特ニ三名ノ森林ニ關スル特別委員ヲ設ケ該委員ニ於テ之レヲ取扱フ制トス其參事會員ノ職務ハ凡ソ次ノ如シ

第一次ノ
森林警察
機關

參事會員
ノ職務

- 一、 參事會員ハ施業案ニ關スル法律命令ノ實行如何ヲ監視ス故ニ認可濟ノ施業案一通ヲ保管ス
- 二、 農務省ノ發シタル省令及訓令ヲ實行ス
- 三、 森林違犯ヲ知了シタルトキハ直ニ森林監督官ノ意見ヲ聞キタル後相當ノ處置ヲ爲ス若シ猶豫シ能ハサル場合ニハ之レヲ專行シタル後直ニ森林監督官ニ通知ス
- 四、 參事會員ハ其管内ニ就職スル森林官及森林屬官ニ宣誓ヲ爲サシメ且是等カ法律ニ規定セル登用資格アリヤ否ヲ檢認ス
- 五、 林火ノ發生及其延燒並蟲害ヲ防ク爲メニ命令ヲ發ス
- 六、 地方行政廳ニ毎年自己ノ監視スル森林ノ状態ニ付報告ヲ爲ス
- 七、 其他法律カ特ニ參事會員ニ附與シタル諸種ノ權限ニ屬スル事務ヲ執行ス

町村長、町村吏員、森林官、森林屬、各警察署、森林番人若クハ收畜者ハ自

森林監督官ノ義務

已ノ知了シタル森林違犯ニ付縣ニテハ町村長或ハ郡長ニ、特別市或ハ行政顧問ヲ有スル市ニテハ其市ノ警察官或ハ行政顧問ヨリ特ニ委任セラレタル官吏ニ、而シテ「ブダベスト」ニ於テハ市長ヘ通知スル義務ヲ有ス此通知ヲ受ケタル者ハ直ニ其旨ヲ當該森林監督官ニ報告ス然ルトキハ森林監督官ハ其報告ノ事實ナリヤ否ヲ審査シ其報告ノ理由ナキニアラスト認メタルトキハ調書ヲ作り直ニ當該參事會員ニ提出スルナリ

第二次ノ森林警察機關

此場合ニ於テ參事會員其實明瞭ナリト認メタルトキハ第一次ノ審判ヲ下シ其結果ヲ森林監督官ニ報告ス若シ此審判ニシテ當事者又ハ森林監督官ニ於テ不服ナルトキハ第二次ノ警察機關即チ最上ノ森林事務廳ナル農務省ニ上告スルコトヲ得農務省ハ此上告ヲ受理シタルトキハ森林局長委員長トナリ四人ノ森林參事官及一人ノ上等森林監督官ヨリ成ル委員會ヲ設ケテ之レヲ審理シ之レニ基キ農務大臣ハ最高ノ審判ヲ爲スナリ

而シテ勾圖ニ於テ森林違犯ト稱スル所有者ノ爲ス警察違反ノ種類及罰金ノ額

森林違犯ノ種類

ハ凡ソ左ノ如ク定メリ

- 一、森林ニ危害ヲ起シ或ハ森林ヲ法令ノ命スル如ク利用セサル行爲ヲ禁止シ殊ニ目的ニ反シタル利用即チ保安林或ハ飛砂地上ノ森林ニ於テ禁止シアル根拠シヲ爲ス者ハ毎ヨツホニ付百乃至四百グルデンノ罰金
- 二、保安林ニ於テ禁シタル皆伐ヲ爲シタルトキハ毎ヨツホニ付五十乃至三百グルデンノ罰金
- 三、林地ニシテ耕地收草地園藝地ノ爲メ永久使用スルニ適セサル地ヲ開拓スルトキハ毎ヨツホニ付五十乃至三百グルデンノ罰金
- 四、森林法第十七條ニ規定スル各森林所有者カ施業案ニ反シテ過伐スルトキハ其過伐シタル丈ノ金額ニ達スルマテノ罰金ヲ科スルコトヲ得併シ最低ハ過伐量ニ對スル四分ノ一ヨリ小ナルコトヲ得ス
- 過量ニ伐採シタル分ニ對シテハ參事會員ハ一定ノ期間年伐量ヲ減シテ之レヲ補充セシム

五、森林所有者カ施業案ニ反シテ施業シタルコトカ森林法ニ規定シアラサルトキハ二十五乃至五百グルデンノ罰金

若シ再犯ナルトキハ千グルデンマテノ罰金

六、許可ナクシテ放牧シ或ハ切株根株ヲ掘採シ落葉ヲ蒐集スルトキハ五乃至二十五グルデンノ罰金

若シ再犯ナルトキハ百グルデンマテノ罰金

七、森林逃犯中怠慢ノ行爲トハ次ノ如シ

- イ、施業案ヲ政府ニ出スヲ怠ル者
- ロ、適當ナル森林官及保護吏ノ採用ヲ怠ル者並義務トシテ爲スヘキ監督ヲ怠ル者
- ハ、法律ノ命スル處ニヨリ實行ヲ要スル殖林ヲ怠ル者
- イノ場合ニハ森林法第十七條ニヨル森林所有者ニアリテハ森林カ五百ヨツホ以下ナレハ百乃至三百グルデン、五百ヨツホ以上ナレハ三百乃至千

- 八、必要ナル森林官及保護吏ヲ採用スル義務ヲ有スル森林法第十七條ニ依ル所有者カ其義務ヲ怠ル場合ニハ町村林ニテハ縣ノ參事會員自由ニ任命シ其他ノ森林ニテハ五百ヨツホ以下ナレハ百乃至三百グルデン、五百ヨツホ以上ナレハ三百乃至千グルデンノ罰金
- 九、所有者カ義務トスヘキ監督ヲ怠ル場合ノ罰金ハ恰モ其禁止シタル行爲及怠慢ヲ所有者自身カ爲スカ又ハ所有者ノ許可ヲ得テ爲シタル者モ同様ニ見做シ之レヲ科ス
- 十、所有者カ伐採セシカ或ハ根倒シタル林地ニ六ケ年間ニ造林セス又假令新植ヲ行フモ充分ナラサル場合ニ於テ其所有者ノ違犯セル林地カ限林地形ナル場合ニ係ルトキハ毎ヨツホニ付一年間五十乃至百グルデンノ罰金
- 十一、所有者カ宣誓シタル森林官ヲ免シタルトキ届出ヲ怠レハ一件毎ニ五

乃至二十五グルデンノ罰金若シ保護吏ニ係ルトキハ五乃至百グルデンノ罰金

十二、林火ニ關スル法律命令ニ反シタルトキハ尙森林違犯トシテ罰ス

十三、管流シ及筏流シニ關スル法律ノ規定ニ反シテ所有者又ハ企業者ノ爲シタル行爲モ森林違犯トス

十四、許可ナク管流シ又ハ政府ノ許可ヲ受ケサレハ爲シ能ハサル河川又ハ谷川ニ於テ筏流ヲ爲シ或ハ許可ナク管流シ及筏流ニ必要ナル工事ヲ爲シ若クハ河川或ハ谷川ノ修理ヲ爲シタル者ハ一件毎ニ百乃至千グルデンノ罰金ヲ科スル外自費ニテ原形ニ復セシム此外管流中ニ管流ノ許可狀ニ示シタル條件又ハ命令ニ反シタル者亦同シ

十五、管流ノ初メ及終リヲ適當ノ時ニ當該官廳ニ通知セサル者ハ十乃至百グルデンノ罰金

而シテ森林違犯ニシテ罰金百グルデン以下ノ者ハ一ケ年間經過ノ後ハ義務ヲ

森林犯罪

免ル若シ百グルデン以上ナレハ其期滿免除ヲ二ケ年間トス又違犯ノ宣告ヲ受ケタルヨリ三ケ年間ヲ過クルトキハ其宣告ノ効力ヲ失フ

次ハ森林犯罪ニシテ之レハ他人ノ森林ニ對シ害ヲ加ヘタル罪ヲ云フ而シテ此森林犯罪ト稱スル内ニハ竊取セラレタル物件ノ價格又ハ損害額三十グルデンヲ超エサルモノ及其他二三ノ特別ナル罪ヲ包含シ其以上ノ犯罪ハ普通ノ方法ニヨリ處斷セララル而シテ此犯罪ノ處斷ハ常ニ被害者ノ告訴ニヨリテ初マルモノトス然レトモ焚火ノ取締、林火ノ消防ニ關スル犯罪及林產物ノ賣買ニ干渉シテ特別ノ取締方法ヲ設ケタルモノニ對スル犯罪ハ被害者ノ告訴ヲ待タス直ニ國家カ其犯罪ヲ檢舉スルモノトス其森林犯罪ヲ處斷スル特別裁判組織ハ次ノ如シ

第一次ノ森林犯罪ノ裁判機關

第一次ノ森林犯罪ノ裁判ハ縣ニテハ郡長、特別市及行政顧問ヲ有スル市ニテハ警察署長或ハ行政顧問役及、ブダベストニテハ各區ニ於ケル當該區長之レヲ行フ但シ被盜物件若シクハ損害ノ額カ十グルデンヲ超エサル

第二次ノ森林犯罪ノ裁判機關

トキハ第一次ノ裁判ハ大小町村長若クハ其代理者之レヲ行フコトヲ得而シテ被害者カ告訴スルニハ其裁判ノ管轄ヲ隨意ニ選擇スルコトヲ得ルモ一且選擇シテ告訴シタルトキハ其後ニ至リ變更スルヲ許サス若シ判決ヲ受ケタル當事者之レニ不服ナルトキハ上級ノ裁判所ニ控訴スルコトヲ得

第二次ノ森林犯罪ノ裁判所ハ地方行政團體ニ於テ之レヲ取扱ヒ縣市監督又ハ縣市長若クハ其代理者裁判長トナリ二人ノ參事會員トノ合議ニヨリテ之レヲ行フ此第二次ノ裁判ヲ開廷スルニハ檢察官ノ立會ヲ請求スルヲ以テ制規トス但シ檢察官出席セサルコトアルモ其審理ノ進行ヲ妨ケス而シテ宣誓シタル森林官及保護吏ハ其犯罪及犯罪者ノ搜查ニ對シ司法警察官ノ職務ヲ行フ此判決ニシテ檢察官ニ於テ不適法ト認ムルトキハ大審院ニ上告スルモノトス

匈國ニ於テハ縣及特別市ニハ Obergespann 及 Vicespann ナルニ長官ヲ

置クニ等シク實際ノ行政機關ノ長ハ Vicegespann ニチ Obergespann
ハ王ヨリ特ニ命セラレ縣及特別市行政監督ノ爲メ駐在スルナ
リ故ニ譯語穩當ナラサルノ感アルモ前者ヲ縣市監督トシ後者
ヲ縣市長トシ字義ニ拘泥セス專ラ現實ノ職權ニヨリ之レヲ譯
セリ

森林犯罪
ノ大別

森林犯罪ト認ムヘキ事項ヲ大別スレハ三種類ニシテ一、森林竊盜、二、森林損
傷、三、危害ヲ起スヘキ行爲及怠慢トス今重モナル各犯罪及處罰ノ程度ヲ示ス
ヘシ

森林犯罪
ノ種類

- 一、造材前ノ木材ヲ盜ミタルトキハ其木材ノ價格及其損害額ヲ辨償セシム
損害額ハ木材價格ノ四分ノ一ヲ負擔セシメ尙ホ此二者ノ合計ト同額ノ
罰金
- 二、枝樞ヲ折取リ又ハ伐取リタルトキハ其物件價格ノ外損害額トシテ其價
格ノ半額ヲ拂ハシメ同時ニ其合計ニ等シキ罰金

三、枯死セルカ或ハ天然ノ害ニヨリ損傷シタル枝樞及根株ヲ盜ミタルトキ
ハ其價格ヲ支拂ハシムルノ外之レト同額ノ罰金

四、生木ノ剝皮、採取セル樹皮ノ竊取ハ前項ニ同シク枯死若クハ生葉又ハ
蘚苔ヲ盜ミタルトキハ物件價格ノ外之レト同額ノ補償及其合計ノ罰金
ヲ科スル等其他之レ等ニ類スル數種ノ犯罪ヲ包含ス

五、森林内ニ故意若クハ過失ニテ放牧シタルトキハ損害額ヲ支拂ハシムル
ハ勿論罰金ヲ科スル外一定ノ放牧料ヲ負擔セシム

六、立木ヲ損傷スルトキハ其損害額ノ外十五グルデンマテノ罰金

七、森林及其事業ノ爲メ設ケタル裝置ヲ損傷シタルトキハ五十クロイツア
一乃至二十五グルデンノ罰金ヲ科スル等其六ニ掲ケタル罪ニ類スル犯
罪數種アリ

八、林火ヲ起シタルトキハ普通刑法ニヨリ處断セララル、モ然ラスシテ只林
内及其近接地ニ於テ焚火ヲ爲シ又ハ他人ニ爲サシムルニ適當ノ看守ヲ

置カス又ハ林火豫防設備ヲ爲サ、ルトキ若クハ林火ヲ人ニ通報セサル
カ若クハ適當ノ消防ヲ行ハサルトキハ二乃至二十グロデンノ罰金
九、許可ナク入林シテ或ル使用ヲ爲ストキハ五十クロイツァー乃至二十グ
ロデンノ罰金

十、特別ノ場合ニ命令ヲ以テ林產物賣買ヲ制限シタルトキ之レニ反スルト
キハ二乃至十グロデンノ罰金

以上ノ如クニシテ物件價格又ハ損害額三十グロデンヲ超エタル犯罪、焚火ノ
際怠慢ニ基キ起シタル林火ニ對スル罰並價格ノ多寡ニ係ハラヌ造作セル木材
若クハ採取セル種實ヲ竊取シタルトキハ普通犯罪トシテ一般ノ刑法ニ於テ處
罰スルモノトス

森林犯罪ハ其未遂ヲ處罰シ若シ其罪ヲ定ムルニ價值ヲ確定シ難キトキハ十グ
ロデンマテノ罰金ヲ科シ森林犯罪ヲ爲シタルヨリ二ケ年ヲ過クレハ期滿免除
トナス而シテ刑法ニ云フ再犯ハ初犯判決後三ケ年ヲ經レハ消滅ス其他訴訟手

續ハ森林法ニ特別ノ規定ナキ限りハ一般刑法及民法ノ規定ニヨリテ行フヘキ
モノトス

第八 人事、教育及林業夫ノ關係ハ如何

人事ニ就テハ官吏ノ資格、給與及恩給等ニ分テテ説明スヘキカ今之ニ先ダチ
森林官ノ實際ノ氣風及執務ノ狀況ヲ知ルハ蓋シ不必要ニアラサルヘキヲ信ス
抑々匈國ニ於テ森林ノ事務及事業ニ直接從事スル役員ハ森林所有ノ官民ノ區
別ナク林學上ノ専門智識ヲ修得セシ者ニアラサルハナク從テ森林ノ最高事務
廳ナル農務省ノ命令及諸般ノ計劃ハ地方森林機關ニ於テ遲滯ナク完全ニ行ハ
レ決シテ事務ノ阻塞ヲ致スコトナシ故ニ一片ノ中央命令ハ忽ニシテ地方各部
ニ感動シ其脈絡ノ貫通、執務ノ敏捷ナルコトハ曾テ聞キシヨリ勝レリ元來歐
洲各國ニ於テハ一般ニ然リト稱セラルレトモ匈國モ亦其斑ヲ脱セスシテ其林
務、林業ニ關スル施設ハ常ニ一定ノ主義ニ則リテ實行セラル、ヲ以テ基礎鞏
固ニシテ輕シク變更セス時ニ或ハ局部ノ仕事ニシテ變改ノ必要ヲ認ムルナキ

森林官ノ
氣風

ニアラサレトモ一般ノ氣風トシテ漫ニ組織ノ變改ヲ企テス只其内容ニシテ實行ニ支障ナキヲ專一トシ形式ノ美ヨリハ事實ノ整備ヲ期セリ是ヲ以テ森林ニ關スル諸般ノ事項ハ今ヨリ二十四年前現行森林法發布以來終始一貫セルヲ以テ既往ニ遡リテ其成行及成蹟ヲ檢スレハ其沿革明瞭ニシテ諸般ノ統計モ完備シ從テ比較的事業ノ進歩セシヲ推知スルニ足レリ彼ノ往々小疵ヲ治セントシテ却テ全身ヲ害フ大施術ヲ試ミルカ如キ或ハ舊制遵由ニ嫌焉タラスシテ速ニ大體組織ヲ根本ヨリ變改シ其都度無經驗ナル新官吏ヲ増加シテ多年ノ歴史ヲ破壞シテ顧ミサルカ如キニ比スレハ匈國ノ如キ外形舉ラサルモ其内容ノ整頓セルヲ以テ満足セサルヘカラス而カモ其官吏カ其職務ニ鞅掌スルヤ熱心忠實ニシテ他念ヲ挾マス常ニ森林ト生死ヲ共ニスルヲ期シ勤勉努力事ニ從フノ美風ハ即チ斯ル進歩ヲ來タセシ主タル原因ナラン乎

匈國ニテ森林官民有林ニ於テ採用スル森林家ニシテ政府ノ認可ヲ受ケ資格完備ノ者ニ係ル場合ノ役員ナルトキハ尙之レニ包含セシムハ森林法ノ規定スル

所ニヨリテ其資格ヲ定ム即チ

森林官ノ資格

- 第一、從來非難スヘキ生活ヲ爲シ、コトナキ者タルヲ要ス
- 第二、高等森林學校ヲ卒業シ且内國ニ於テ舉行ノ森林高等試問ヲ經タル者タルヲ要ス

森林看守ハ森林ノ保護ニ從事スル外同時ニ狩獵ノ看守ヲ爲ス者ニシテ其採用資格ハ次ノ如シ

森林試問ヲ受ケ得ル資格

- 第一、從來非難スヘキ生活ヲ爲シ、コトナキ者タルヲ要ス
 - 第二、年齢二十四年ヲ超エタル者タルヲ要ス
 - 第三、保護吏學校ヲ卒業シ且森林普通試問ヲ經タル者タルヲ要ス
- 而シテ千八百九十八年ニハ法定ノ宣誓ヲ爲シタル森林官千五百二十八人ナリシカ就中森林法第十七條ニ掲クル森林ニ使用セラル、者ハ千一人ニシテ之等ハ皆高等森林學校ヲ卒業シ二年間森林官見習トシテ實務ヲ修得シ後毎年二回ブダベストニ於テ舉行スル森林高等試問ニ合格シタル者カ森林官試補ニ採用

セラレ漸次昇進セシモノナリ又千八百九十八年ノ終リニハ宣誓ヲ爲シタル保護吏一萬七千五百八十二人アリ其中四千七百七十四人ハ完全ナル資格ヲ有シ森林法第十七條ノ森林ニ使用セラル之等ハ一ニハ保護吏學校ヲ卒業シテ一ケ年ノ見習ヲ終リニニハ森林壯丁トシテ森林ノ實務ニ從事シテ三ケ年ヲ經過シ森林普通試問ヲ受ケテ及第シタル者ノミナリ其試問ハ毎年一回國內十五ノ市町ニ於テ之レヲ舉行ス此普通試問ニヨリ採用セラレタル者ハ森林官ニ昇ルコトヲ許サスシテ終身森林屬ニ止マルノミ其高等及普通ノ兩試問トモ學術的及實地的ニ就キ行フモノニシテ且一般試問方法タル筆記及口述ヲモ試ムルナリ而シテ高等試問委員ハ中央局ノ特命官吏ニシテ普通試問委員ハ森林監督官之レニ當リ本省ヨリ嚴封ノ上交付セル試問問題ニヨリテ之レヲ行フモノトス

今千八百八十年ヨリ千八百九十四年迄ノ高等試問志願者總數ヲ擧クレハ千二百四十人ニシテ受試認可者ハ千八百八十三人受試者ハ千四十七人内合格者八百九人不合格者ハ二百三十八人ナリキ就中合格者中最優等者ハ四步即チ三十五

森林試問成績

人優等者ハ二割三步即チ百八十六人尋常者ハ七割三步即チ五百八十八人ノ割合ニシテ普通試問ハ千八百八十五年ヨリ千八百九十四年迄ニ志願者總數四千九百二人受試許可者ハ四千六百八十八人内合格者三千七百七十三人不合格者八百三十五人ナリシカ最優等者ハ一割一步ニシテ四百五人アリタリト云フ

任用及懲戒ノ手續ハ第六ニモ述ヘタル如ク凡テ委員會組織トシ任用ニ關シテ七等官我國高等官四等以下ハ農務大臣之レヲ專行シ五等官及六等官ハ農務大臣ノ奏請ニヨリ國王之レヲ命ス森林屬以下ハ地方機關トモ凡テ其所屬長官ノ專行ニ委ス

森林官以下ノ給與

森林官ノ官名官等及俸給ハ第六ニ於テ既ニ示シタレハ今此處ニハ各官吏ノ俸給以外ニ受クヘキ給與ノ種類及年額ヲ示サントス

森林官

中央部

官等 官舍料 應費 小者費 飼馬料 薪材 土地使用

人事教育及林業夫ノ關係ハ如何

三六〇	三六	二				三六	
三五〇	三五	二				二四	三
三〇〇	三〇	二				二四	三
二七〇	二七	二				二四	三
二四〇	二四	二				二四	三
二〇〇	二〇					二四	三
補助員							
二〇〇							
森林等外吏							
三〇〇	四〇					三〇	三
二五〇	四〇					一八	
二〇〇	二〇					一八	
一八〇	一八					一二	

森林官恩給

右ハ匈國ノ本國ニ係ルモノ、ミニシテ此外特ニクロアティエン、スラフオニ
 エンニ行ハル、モノアルモ大差ナキヲ以テ略ス而シテ獨リ森林官ノミナラス
 一般官吏ニ對シテ在勤地ノ如何及其官吏ノ勤勞ノ程度ニ依リテ俸給ノ補給ヲ
 爲シ旅費ハ一般ノ規定ニ依ルト雖モ地方森林官ハ日當ヲ半額トシ汽車賃ハ國
 有鐵道ニアリテハ半額ニシテ森林ノ官吏ハ常ニ寫眞ヲ添付セル乘車券ヲ携帶
 スルナリ

千八百九十五年法律第十一號ヲ以テ政府ノ一般官吏屬官等外吏ニ關スル恩給
 令ヲ發布セラレ政府ノ森林官、森林屬及等外吏及是等ノ寡婦、子女ニ至ルマ
 テ等シク此法律ノ保護ヲ受ク而シテ此法律ニヨリ恩給ヲ享クル者ニ二種類ア
 リテ一ハ連續、二ハ一時トス連續ノ給與ハ連年恩給及子女養育補助金ヨリ成
 リ一時恩給ハ一時下賜金及葬式料ヨリ成ルモノニシテ其連續恩給ヲ受得スル

一五〇	一五					一二	
一二〇						一二	

ニハ常ニ奉職年限ト最後ニ得タル俸給額トノ二要素ヲ必要トス
 凡テ森林官ハ職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキハ連續恩給ヲ受ク但シ十年間勤
 績セシ者ニ限ル此恩給ハ十年ニシテ退官セシ者ニハ最後ニ得タル年俸ノ四〇
 %、十年ヲ超エタルトキハ毎一年ニ二%ヲ増シ四十年ニ至レハ俸給全額ヲ給
 與ス又寡婦ハ夫ニシテ五年間勤績シタルトキハ一時恩給ヲ受ク即チ其額ハ夫
 ノ受クヘキ一時恩給カ六百グルデンマテナルトキハ寡婦ノ受クヘキモノハ其
 五十%トス然レトモ六百グルデンヲ超過スル場合ニハ六百グルデンニ對シテ
 五十%其殘額ニ對シテ二十%ノ割合ヲ以テ一時恩給ヲ受ク而シテ父ナキ子女
 三人迄ハ其成年ニ達スルマテ即チ男ハ二十年女ハ十八年マテ一人ニ付其母ノ
 受クヘキ恩給ノ六分ノ一ヲ養育補助金トシテ受ク孤兒ハ父ノミナキ子女ノ受
 クヘキ恩給額ノ一倍半ヲ受ク

森林官及
森林等外
吏ノ恩給

森林官及森林等外吏ハ十年乃至二十年間奉職スレハ其最後ニ得タル俸給額ノ
 三分一、二十年乃至三十年ナルトキハ二分ノ一、三十年乃至四十年ナルトキ

ハ四分ノ三及四十年以上ナレハ全額ノ恩給ヲ受ク、保護吏ハ憲兵、巡査、税
 關吏ト同シク脱税ヲ謀ラントスル者ヲ取押ヘ或ハ反抗者ト闘ヒタル等ノ結果
 ニ基キ職務ヲ執ルコト能ハサルニ至リタル場合ニハ其奉職年限ニ拘ハラズ常
 任或ハ臨時ノ官吏タルトテ問ハス其最後ニ得タル俸給ノ全額ヲ恩給トシテ受
 ク其屬官及等外吏ノ寡婦ハ夫ノ最後ニ受ケタル俸給ノ三分ノ一ノ恩給ヲ受ク
 又其子女ハ男ハ十六年、女ハ十四年ニ達スルマテ毎年十八グルデンノ恩給ヲ
 受ク

一時恩給ニ付テ云フトキハ森林官、森林官及森林等外吏ニシテ十ヶ年以内ノ
 奉職者ナリシトキハ一時恩給ヲ受ク若シ五年以内ナルトキハ俸給全額、五年
 以上十年以内ナレハ俸給ノ二倍ヲ受ク寡婦及子女ニシテ連續恩給ヲ受クル權
 ナキ者ニシテ夫或ハ父カ一時恩給ヲ受クヘキ地位ニアリタル者ナリシトキ其
 受クヘキ額ハ最後ニ得タル俸給額ノ四分一トス而シテ森林官ノ寡婦及子女ハ
 此外ニ葬式料ヲ受ク葬式料ハ在官中ノ死亡ナリシトキハ其最後ノ俸給ニ依リ

又既ニ恩給ヲ受ケ居タル者ナリシトキハ其恩給額ニヨリテ之レヲ定ム即チ俸給及恩給年額千グルデン以下ナリシトキハ其三ヶ月分、千グルデン以上三千グルデンナレハ二ヶ月分トスルモ二百五十グルデン以下ナルコトナシ三千グルデン以上ナレハ一ヶ月分ナルモ五百グルデンヨリ少額ナラスシテ六百グルデンヨリ多額ヲ給與スルコトナシ而シテ森林屬官及森林等外吏ノ寡婦及子女ハ葬式料ヲ受クルヲ得ス斯クシテ森林官、森林屬官及森林等外吏ニ對シ年々受恩給者三千百餘人ニ對シテ三十六萬二千五百餘グルデンヲ支拂フモノトス要スルニ森林官、森林屬及森林等外吏ノ採用資格ノ嚴重ナル代リニハ俸給モ從テ我國ニ比シテ高ク加之官舎料若クハ宿泊料並土地ノ使用ヲ許シ薪材ヲ給與スル等周到ニシテ皆以テ其待遇ノ我國ニ勝レルコト數等ナリト謂ツ可シ是レ一般ニ物價高クシテ生活程度ノ我ニ勝レルニ基因スヘシト雖モ然モ給與ニ關スル率ノ我國ニ比シテ全然高キニ居ルヲ見レハ概シテ彼國官吏ノ待遇厚キヲ知ルヘキナリ斯ル原因ニヨリテ彼ノ官吏ハ我ニ比シテ一段ノ美風ヲ馴致シ

高等森林學校

タル所以ナランカ是レ實ニ我林政ノ上ニモ思ヲ致スヘキ點ナラストセンヤ是ヨリ教育ニ關スル事項ヲ述ヘンニ匈國ニハ高等森林學校一ヶ所、保護吏學校四ヶ所アリ

高等森林學校ハ匈國ノ北部山岳地方ナルセルメツパーニアニシムニツツトモ云フ此名ノ方世ニ名高シナル町ニ設ケアリテ最モ不便ノ場所ナリ然レトモ森林學ノ實習ニ至便ナルヲ以テ創立以來此地ニ存ス抑々本校ハ往古ヨリ設立セラレタル高等礦山學校ト聯合スルカ上ニ附近ニ礦坑アレハ礦山學生ノ研究ニモ裨益ヲ與フルコト尠カラス本校ハ固ト獨逸語ヲ以テ教授セシカ千八百七十二年ヨリ匈國語ニ變更セリ又普通科及經濟學ハ礦山森林ノ兩學生ヲ合併シテ講義ヲ爲シ第二年ヨリハ四人ノ教授ト四人ノ助手ニテ授業スレトモ非常ニ不足ヲ感セリト云フ森林學ハ二科ニ分カレ林學科ハ三學年ヲ以テ卒業シ森林土木科ハ四學年ニテ卒業ス本校ニ入ル者ハ高等學校若クハ高等專門學校ノ卒業生ニシテ無試験入學ヲ許ス其學科課程次ノ如シ

第一年級

冬期	科	講義時間	實習時間
學			
數學第一部		八時間	
普通化學		六時間	
拆解幾何學		四時間	
製圖			六時間
自在書			六時間
物理學		二時間	
計		二十時間	十二時間
夏期			
森林化學		四時間	

第二年級

植物學第一部	四時間	八時間
拆解幾何學	四時間	
製圖		六時間
自在書		二時間
習字	四時間	
物理學及電氣工學	五時間	四時間
計	十七時間	二十四時間
冬期		
植物學第二部	三時間	四時間
森林利用學	四時間	四時間
動物學	三時間	二時間

器械學及森林器械學	四時間	四時間
礦物學總論	三時間	
普通建築法	三時間	六時間
計	二十一時間	二十時間
夏期		
普通建築法	三時間	六時間
土壤及氣候學	三時間	四時間
造林學	四時間	四時間
森林經理學	四時間	四時間
測樹學第一部	四時間	八時間
森林會計	二時間	
計	二十時間	二十六時間
森林土木科ニ限リ左ノ學科ヲ増修セシム		

第三年級

夏期		
數學第二部	三時間	二時間
拆解立体幾何學	二時間	
計	五時間	二時間
冬期		
森林經理學	五時間	二時間
森林工藝學	四時間	
森林統計及森林著書歴史	二時間	
森林保護狩獵及ツールパリアリステン	三時間	二時間
森林文書	二時間	
材價算法	三時間	二時間

鐵道 道路建築法	三時間	二時間
計	二十二時間	八時間
夏期		
森林經理學	五時間	四時間
水工事及橋梁架設法	三時間	二時間
經濟及財政學	三時間	
堰建築法	三時間	二時間
農業通論	三時間	
狩獵術及實習	三時間	
計	二十時間	八時間
森林土木科ニ限リ左ノ學科ヲ增修セシム		
夏期		
器械學及材料強弱論	四時間	二時間

第四年級

森林土木科

冬期

森林器械學	二時間	二時間
一般器械學及熱論	七時間	六時間
書法力學	二時間	
計	十一時間	八時間
夏期		
一般器械學及熱論	五時間	四時間
汽鑪學	三時間	
測量學第二部	四時間	四時間
森林器械學	二時間	
計	十四時間	十二時間

今年二月現在學生ノ數ヲ聞クニ第三年級三十人、第二年級四十一人、第一年級六十二人外ニ員外生一人、客員三人ニシテ都合百三十七人トス而シテ國王ハ年々礪山及森林ノ兩科學生ニ對シ二人分ノ學費下賜アリ農務省ヨリハ年ニ一人三百グルデン宛ヲ森林科ノ十八人ニ給費シ内二人ハ必ス將來森林主計官タルヘキ約束ヲ以テス且學生卒業前ノ旅行ニ對シ總額千グルデンノ旅費ヲ支給ス此他森林會ヨリモ若干ノ給費ヲ受クル者アリ

小官ハ客年九月一度該校ヲ參觀シタルニ時恰モ夏季休業中ニシテ遺憾ナカラ親シク授業ノ實況ヲ見ルコトヲ得サルノミナラス林木ノ試驗標本類並模型等ニ就キテモ周密ノ觀察ヲ爲スコト能ハサリシト雖モ其大體ノ見聞ニ依レハ校務能ク整頓シ教材モ亦充分ニ具備シテ平素授業ノ完然セルコトヲ知了セリ是ニ於テ本校ノ歐洲各國森林學校中ニテ名聲噴々タル所以ノ偶然ナラサルヲ覺ユ而シテ本校卒業生ハ重ニ政府ノ官吏ニ採用スル目的ナレハ主トシテ實用的ニ教育ヲ施行セリ即チ工學ヲ課スル程度ハ一見森林官トシテハ過度ナルカ如

キモ將來之等ノ卒業者カ森林官トシテ自カラ行ハ、一般工學者ヲ使用スルヨリ最モ適當ナル作業ヲ爲シ得ルノミナラス且幾分土木費ヲ減少シ得ヘキヲ期セリ而シテ其作業ハ測量及鐵道、道路、運搬裝置ノ建設並水工事器械等ニシテ今日既ニ森林官ヲシテ之レヲ行ハシメ一般工學者ハ一人モ採用セス又林學科ノ方ハ森林ノ技術及行政ニ當ラシムルヲ目的トスレトモ現在ノ如ク法律關係ノ學科乏シキ爲メ行政官ト爲ス場合ニハ聊カ遺憾ナシトセス之レカ爲メ小官滯留中學科ニ改正ヲ加ヘ尙一層ノ法律思想ヲ注入スル組織ニ改メントノ議當局者ノ間ニ起レリ

元來本校ハ大藏省所管ナリト雖モ此ハ只經費ニ於テノミ該省ニ屬スルモノニシテ學科ノ編製及其教授方法ニ付テハ全ク農務省ノ主管スル所ナリ而シテ其學生ノ演習ニ充ツル爲メ學校最寄ニ四百有餘ヘクタールノ森林ヲ附屬セシメ又其近クニ凡ソ十ヘクタールノ農務省所管中央森林試驗場アリ植物學擔任ノ本校教授其場長ヲ兼ネ致々トシテ研究シ居ルモ何分數年前ノ設備ニシテ未タ充分

ノ結果ヲ觀ルヲ得サルモ、校内ニ存スル植物園ニ於テハ、疾クヨリ各種有益ノ試驗ヲ爲シ居リタルヲ見タリ

森林科創設以來數年前マテノ年別卒業生ノ員數ヲ次表ニヨリ參照スレハ、尙國ハ殆ト百年ニ垂ントスル昔ヨリ如何ニ森林ノ重要ニシテ如何ニ林學者ノ必要ヲ感シタルカ且如何ナル時代ニ最モ多クノ林學者ヲ得ントセシヤ等ヲ前ニ述ヘタル一般及森林ノ各歴史ト比較セハ自カラ釋然タルモノアラン、尙國ハ此多數ノ卒業生ヲ得ツ、今日ニ至リ政府其他ノ森林ニ是等專門家ヲ配置スルカ上ニ尙今夏ハ三十餘有人ノ卒業生ヲ見ントス以テ政府ノ益々進ンテ森林官ノ改善ヲ期スルト尙林務ノ擴張ヲ望ムトノ方針ナルヲ知ルヲ得ヘク且又國民ノ如何ニ林業ヲ重要視スルカヲ知ラシムルニ餘アリ

然ルニ小官ハ縱橫線ニヨリテ描キタル表ヲ得タルノミニシテ遂ニ定數ヲ得サリシヲ以テ只其高低ニヨリテ推算セシモノナレハ多少ノ誤差ハ免カレヌ然ルト雖モ小差アルカ爲メ其正鵠ヲ得サルノ憾ハ決シテ之レナキヲ信スルナリ

年次	卒業者	年次	卒業者
千八百十年	十六人	千八百十一年	四十八人
千八百十二年	五十七人	千八百十三年	五十八人
千八百十四年	二十六人	千八百十五年	十四人
千八百十六年	七人	千八百十七年	十五人
千八百十八年	十九人	千八百十九年	二十五人
千八百二十年	二十五人	千八百二十一年	四十人
千八百二十二年	三十人	千八百二十三年	四十人
千八百二十四年	十七人	千八百二十五年	二十五人
千八百二十六年	十七人	千八百二十七年	二十七人
千八百二十八年	十八人	千八百二十九年	二十六人
千八百三十年	二十三人	千八百三十一年	二十八人
千八百三十二年	二十三人	千八百三十三年	二十三人

千八百三十四年	十四	人	千八百三十五年	十三	人
千八百三十六年	十二	人	千八百三十七年	十五	人
千八百三十八年	二十二	人	千八百三十九年	二十八	人
千八百四十年	三十四	人	千八百四十一年	三十九	人
千八百四十二年	四十八	人	千八百四十三年	三十八	人
千八百四十四年	三十七	人	千八百四十五年	四十五	人
千八百四十六年	四十八	人	千八百四十七年	五十七	人
千八百四十八年	四十四	人	千八百四十九年	〇	
千八百五十年	三十六	人	千八百五十一年	二十八	人
千八百五十二年	二十九	人	千八百五十三年	五十六	人
千八百五十四年	七十八	人	千八百五十五年	八十五	人
千八百五十六年	七十六	人	千八百五十七年	六十七	人
千八百五十八年	七十三	人	千八百五十九年	四十四	人

千八百六十年	八十四	人	千八百六十一年	七十五	人
千八百六十二年	八十七	人	千八百六十三年	九十六	人
千八百六十四年	百五	人	千八百六十五年	百二十五	人
千八百六十六年	九十五	人	千八百六十七年	七十四	人
千八百六十八年	四十八	人	千八百六十九年	五十七	人
千八百七十年	五十八	人	千八百七十一年	九	人
千八百七十二年	九十八	人	千八百七十三年	百三十六	人
千八百七十四年	百四十六	人	千八百七十五年	百六十七	人
千八百七十六年	百七十三	人	千八百七十七年	百六十六	人
千八百七十八年	百三十八	人	千八百七十九年	百四十五	人
千八百八十年	百五十四	人	千八百八十一年	百六十九	人
千八百八十二年	二百二十二	人	千八百八十三年	二百四十八	人
千八百八十四年	二百七十八	人	千八百八十五年	三百五十八	人

森林保護
並學校

千八百八十六年	三百六十五人	千八百八十七年	三百六十九人
千八百八十八年	三百二十人	千八百八十九年	二百五十九人
千八百九十年	二百五人	千八百九十一年	百七十六人
千八百九十二年	百三十二人	千八百九十三年	百二人
千八百九十四年	九十四人	千八百九十五年	八十六人

次ニ保護吏學校ニ就テ述ヘンニ本校ハ全國ニ四箇所アリ專ラ森林ノ技術及實地的ノ教育ヲ爲スモノニシテ學生ノ管理ハ全ク軍律組織ト爲シアレハ其規律常ニ整然タリ入學程度ハ小學校卒業者ヲ無試験ニテ入ル、モ一般教育ノ普及ニ伴ヒ學業ノ程度ヲ進ムルノ必要アリ近年著シク學科ノ度ヲ高メタレハ相應ノ技術ヲ了得シテ卒業スルモノ多キハ喜フヘキモ就職後薄給ニ甘セス往々衷心不平ヲ抱ク者ヲ生シ所謂頭高ク取締ニ不便ナル形勢ヲ現ハシ來レリ換言セハ保護吏タル本職トモ云フヘキ器械的勤勞ニ適セサル者ヲ出スニ至レリ故ニ森林官中ニ於テモ既ニ其教育方法ノ適切ナラサルカ爲メ實用ニ恰當セストノ

非難ナキニアラス之レ我國ニ於ケル現時ノ保護吏ト多少趣キヲ異ニシ彼ハ全ク只命維レ從フ所ノ器械的人物ニアラサレハ森林ノ保護ヲ完全ニ爲スコト能ハストノ歴史的感念ヲ有スレハナリ今ヤ我國ニテモ高等森林官及之レ等保護吏ノ養成ヲ必要トスル時運ニ際會セリ宜シク確固不拔ノ教育方針ヲ一定シテ後日ノ悔ナカラシメンコトニ深ク留意セサルヘカラス

本校ハ卒業期ヲ二ケ年トシ學業ハ平易ヲ旨トシテ實務的練習ヲ重シ管ニ林務ノミナラス狩獵術及狩獵ニ關スル保護法ヲ教導ス其四ヶ所ノ學校ハ何レモ教育方針ヲ異ニセリ就中キラリ「ハルマ」ニアルモノハ其創設最モ古ク千八百八十三年ノ開校ニシテ飛砂地上ノ森林保護ニ從事セシムルヲ以テ目的トシ昨年ノ學生數ハ二十四人ナリ、次ハ千八百八十五年ニ開校セル「ウァダースト」ニアルモノニシテ平地林ノ保護ヲ委セントスルモノニシテ昨年ニ於ケル學生數ハ四十人、次ハ千八百八十六年ノ設置ニ係ル「リブソー」シュウァールノ學校ナリ之レハ高山地方ノ山岳林ヲ保護セシムルニアリテ昨年ノ學生數ハ五十

二人、次ハ最新ノ開校ニシテ「ゴールジュニヨ、スイグトイムレ」ニアリ昨年ノ學生數既ニ五十二人專ラ中府ナル高山地方ノ森林保護ニ充ツル目的ヲ以テ養成セリ其組織ノ適當ナルコト他歐洲諸國ニ於テモ多ク見サル方法ナリト云フヘシ

林業夫

森林勞力者即チ林業夫ニ關シテモ夫々法令ヲ定メ其林業夫ノ資格ヨリ權利義務ニ至ルマテ遂一法定シ且其待遇方法モ完備シテ遺憾ナカラシム即チ林業夫法ハ獨リ官廳ニ於テ使用スル者ノミニ限ラス凡ソ尙國內ニ於テ林業ニ從事スル者ニシテ林業夫ヲ使用スル場合ハ全然之レニ服從セサルヘカラサルコト、ス而シテ此法律ハ千九百年十二月二十日ニ公布セラレ一般勞働者ノ特別法トシテ成立セリ今其要點ヲ摘舉スレハ左ノ如シ

- 一、勞力者事業ニ從事センニハ其身分證明書ヲ所持セサルヘカラス
- 二、雇者及被雇者間ニハ勞力ノ種類、時間、分量、勞力賃、旅費、前借金、道具、宿泊所、暖室料及飲用水ノ取寄等ニ關スル明瞭ナル契約締結ヲ

爲スヲ要ス

- 三、雇者ハ貸金ヲ飲料其他ノ品物ト差引勘定ヲ爲シ前貸金ニ利子ヲ附シ若クハ手形印紙等ニテ仕拂ヲ爲スヲ得サラシム
- 四、雇者ノ雇人ヲ解除シ得ルハ勞力者カ雇者ノ生命財產ニ關シ罪トナルヘキ行爲ヲ爲シ又ハ之レヲ試ミタルトキ若クハ病氣ニ罹リ事業ニ從事シ能ハサルトキ、契約上ヨリ生スル義務ヲ履行セサルトキ、及千八百九十八年法律第二號第六十五條及第六十六條ニ反スル犯罪ノ一ニ因リ宣告セラレシトキニ限ル
- 五、雇者ハ被雇者ヲ間斷ナク勞働セシムル能ハサル事情起リタルトキハ他ノ事業ニ使用セシムル權利ヲ有ス
- 六、此法律ノ各規定ニ背キタル者ハ八日以内ノ拘留及六百クローネ以下ノ罰金ヲ科ス
- 七、此法律ニ背キタル爲メ起ル所ノ訴訟ハ普通裁判所ノ所管ニアラスシテ

第一次ハ縣ニテハ郡長、特別市ハ行政顧問ノ指定シタル顧問役及ブダ
ベストニ於テハ各區長ニシテ、第二次ハ地方行政團體之レニ當ル即チ
勞力者ニ關スル事件ヲ取扱フ參事會ノ特別委員會トシ最後ニ第三次ト
シテ農務大臣之レヲ處斷ス

八、被害者ハ第二次ニ於テ第一次ノ判決通り處斷セラレタルトキハ第三次
ニ上告ヲ許サヌ又第二次ニ於テ罪ヲ輕減セラレタルトキハ上告ヲ爲ス
ヲ得ス

之レ等ノ林業夫ハ多ク農民ノ兼ヌル所ニシテ其主モナル仕事ノ種類ハ種子採
集、播種、植樹、伐木、陸運、水運、製炭及森林工場工手等ナリ皆能ク其受
持ノ仕事ニ練熟シ中ニモ造材夫ノ如キハ其技術中庸ノ者ト雖モ一日平均二ラ
ウムメーターノ割木ヲ爲シテ之レヲ層積スルコトヲ得ト云フ匈國ニテハ一般
ニ一年中連續服役スル林業夫即チ常置夫ハ割合ニ少ナク只鑛山用ノ製炭地方
ノ一二ヶ所ニ於テ之ヲ使役スルニ過キヌ故ニ國有林ノ爲メニ常置スル林業夫

ハ總數二千四百人強ノミ此種ノ林業夫ハ年々政府ニ於テ事業ヲ行フ上ニ於テ
臨時雇入レタル林業夫ニ混シテ常ニ勞力ノ主腦トナリ大ニ便益ヲ致セリ
數年前以上ノ法律施行以來林業夫ニ關スル事項モ秩序整ヒ權義モ判明シ直接
林業上ニ裨益ヲ與ヘシノミナラス一般社會ノ上ニ好果ヲ及ホセシコト尠カラ
ヌ去レハ林業夫ヲ常置ト爲スコトモ雇者及被雇者ノ關係ニモ些ノ障害ヲ來タ
セシコトナク此組織ハ年々擴張セラレテ益々熟練ノ勞力者ヲ養成シ以テ後日
ノ大成ヲ期セントスルカ如シ而シテ匈國ハ此等林業夫ハ交通不便ナル深山ニ
生活スルヲ以テ之レヲ保護センカ爲メ常置ト臨時トヲ問ハヌ高價ノ物品ヲ需
用セシメサル手段トシテ國立ノ日用品販賣店ヲ開キ原價ニテ賣拂フ組織トセ
リ又場所ニヨリテハ出張官及彼等ノ宿泊ニ窮スル場合ニ應セン爲メ宿舍ヲモ
設ケタル所アリ其林業ノ發展ニ力ヲ用キル至レリ盡セリト云フヘシ斯クシテ
是レマテ深山ノ孤穴狸巢タル僻地モ頓ニ開拓セラレテ雞犬ノ聲相聞ユルニ至
レリ加之森林勞力者ノ殖民セル森林地方ノ如キ百有餘年ヲ經過シタル今日人

家稠密ノ町村ヲ組織セルモノ一二ニシテ足ラス其效豊没スヘケンヤ而シテ之等勞力者ノ賃銀ヲ我國ニ比スレハ比較的高カラスシテ普通我勞力者ノ賃金ニ三割乃至四割増シタルニ過キヌ之レ彼國ノ勞働者ハ賃金以外ノ便益アル爲メ然ルナラン

林業夫ノ恩給

勞力者ノ恩給ニ付テハ先ツ常置林業夫ニシテ重病体トナリ仕事ニ從フコト能ハサレハ賃金ノ六十%ヲ受ケ輕症ナルトキハ三十%ヲ受ク又臨時林業夫ハ重病ナルトキハ五十%輕キトキハ三十%ヲ受ク但シ三ヶ月ヲ經過スルヲ許サスト雖モ特ニ重病ノ場合ニハ六ヶ月マテ給與スルコトヲ得若シ又之レ等ノ者病死スル時ハ十グロゲンノ葬式料ヲ下付シ仕事ノ爲メニ死亡セシトキハ其倍額ヲ下付スルモノトス
常置林業夫ハ賃金一定スレトモ臨時林業夫ハ然ラス去レトモ補助金等支給ノ場合支障ヲ生スルニヨリ臨時林業夫ニ向ツテモ基本トスヘキ假定賃銀ヲ定メ置クナリ而シテ一人前ノ林業夫ハ八十グロイツァー、手傳夫ハ六十グロイツァー、步

人夫ハ四十グロイツァーナリ其年額計算ハ一年ヲ三百日トシテ林業夫二百四十グロゲン、手傳夫百七十グロゲン及歩人夫ハ百二十グロゲント定ムルノ制ヲ設ク尙賃銀ノ増給方法ハ常置林業夫ニアリテハ八年乃至十五年勤續シタル者ニハ三十%以上ニシテ恩給年限ニ達スレハ年ニ二%ノ増給ヲ爲シ四十年勤續ノ者ニハ賃銀ノ全額ヲ恩給トシテ給與ス又林業夫ハ一時恩給ヲ受クル權ヲ有シ四年以上勤續スレハ年賃額ノ半額、其以上ノ勤續ナレハ全額ヲ受ク寡婦ハ其夫ノ受クヘキ恩給ノ四分一ヲ毎月受ク勞働中仕事ノ爲メニ死スレハ三十ヘルラー宛毎日受ク子女ニ對シテハ父ナキ常置夫ノ子女ハ毎日其亡父ノ賃金ノ十二分ノ一ヲ受ク但シ男ハ十四年女ハ十二年マテトス若シ孤兒ナルトキハ其十分ノ二ヲ受ク然レトモ總テノ子女ニ對スル給與額ニシテ亡父ノ賃金ノ三十%マテ而テ孤兒ナリシトキハ六十%ヲ超ユルコトヲ得又臨時夫ニ對シテハ諸率ハ常置夫ト同様ナルモ賃金ノ基本ヲ一日八十グロイツァート定ムルノ差アルノミ常置夫ハ凡テ其賃銀ノ六%ヲ勞力者組合ニ納入スヘシ此組合ハ農務省

ヨリ認可セラレテ設立シタルモノニシテ恩給ノ半額ハ此組合ヨリ本人ニ仕拂
ヒ殘部ハ政府ニテ之レヲ仕拂フモノトス而シテ臨時夫ハ此組合ニ其賃銀ノ三
%ヲ納入スルヲ義務ト爲セリ

此組合ハ勾國舊來ヨリノ習慣ニヨリ多クハ礦夫ト共同ノ組合ヲ組織セリ而シ
テ其組合ノ貯蓄ニ付テハ惜哉小官近時ノ實況ヲ聞知スルヲ漏シタルモノ千八百
八十五年ニハ二百七十七萬七千六百三十四グルデンヲ有セリト云フ蓋シ現時ハ
尙ホ多大ノ藏蓄ヲ爲シタルナラン

今勾國政府ニ於テ國有林ノ諸事業ニ使用スル林業夫ノ數ヲ參考ニ掲ケヘシ但
シ千八百九十五年ノ統計ニ基クテ以テ現在ハ多少ノ差異アルヘシ

林業夫ノ
種類及數

常置林業夫

澗葉樹林

建築其他ノ用材製作

人

員 一日ノ賃金

十五人

薪炭材仕成

製炭

粗製品ノ調達

計

針葉樹林

建築其他ノ用材製作

薪炭材仕成

製炭

粗製品ノ調達

計

臨時林業夫

澗葉樹林

六百三十四人

二百六十二人

十人

九百二十一人

四十四クロイツァ
乃至一グルデン

九百十四人

三百五十八人

百七十五人

十四人

千四百六十一人

四十二クロイツァ
乃至一グルデン

二千三百八十二人

人事教育及林業夫ノ關係ハ如何

百五十六

建築其他ノ用材製作	千七百五十七人
薪炭材仕成	一萬三千四十五人
製炭	二百九十七人
粗製品ノ調達	四百三人
計	一萬五千五百二人
針葉樹林	六十五クロイツァー乃至一 グルデン二十クロイツァー
建築其他ノ用材製作	七千四百五十六人
薪炭材仕成	七百三十八人
製炭	五十七人
粗製品ノ調達	二百十二人
計	八千四百六十三人
合計	二萬三千九百六十五人
	五十四クロイツァー乃至一 グルデン二十クロイツァー

鋸場

常置林業夫	三百八人
臨時林業夫	六百六十八人
計	九百六十八人
總計	二萬七千三百十五人

人事教育及林業夫ノ關係ハ如何

百五十七

第九 林業ノ執行及森林工場ノ狀況

匈國ニ於ケル林業ノ範圍ハ尙我國ト異ナラス只彼ハ萬事大仕掛ナルニ我ハ小仕掛ニシテ半熟ノ感アラシムルノ差ノミ今林業ヲ細別スレハ諸種ノ事業ニ分カルヘキモ其主ナル施業方法ニ付説述セントス

抑々匈國ニ於テ林業ノ盛ンニ起リタルハ鐵道ノ敷設以來ナリ即チ千八百四十七年迄ハ木材ノ利用ハ局部ニ限ラレ只需用ニ應シテ隨時收穫スルニ止マリテ所謂合理ノ林業ト認ムヘキモノナシ然カノミナラス此頃ヨリシテ徐々亂伐ノ弊ヲ生シタルヲ以テ識者之レヲ痛憂シテ匡救ノ途ヲ講セリ而シテ其基ク所ハ徒ニ木材ノ缺乏ヲ恐レタルノミニアラスシテ國家ノ將來ニ當然陷ルヘキ危險ヲ防カントスルニ在リ是ニ於テ政府ハ其趨勢ヲ看破シ遂ニ完全ナル森林法ヲ制定シ千八百七十九年ヨリ實行シテ以テ幾分カ亂伐ノ弊ヲ遏シテ從テ消極的

ニ國土ノ危害ヲ未熟ニ防クコトヲ得タリ斯クノ如キ目的ヲ以テ斯ル機會ニ成立シタル法律ナレハ當初社會ハ非常ニ嚴重ナルモノ、如ク認メシモ實際然ラヌシテ眞ニ森林ヲシテ國家ノ重寶トシテ保持スルニハ此ノ如キ法律ノ實施セラル、ハ當然ニシテ決シテ苛酷ナラザリシコトハ今日ニ至リテ異口同音ニ唱フル所ナリ

而シテ尙國森林ノ合理的施業ハ森林法發布ノ後ヨリ完然ニ行ハレタルモノニシテ其以前ハ漠トシテ推究スルコト困難ナリ然リト雖モ今ヲ距ルコト五十年前頃ヨリ政府所有森林又ハ大地主ノ所有森林ハ漸々規則的ノ林業ヲ經營セシモノト云フヲ得ヘシ夫ヨリ降りテ二十三年前即チ森林法發布セラレテヨリ施業ノ主義ハ有要林木ヲ充實スルヲ以テ大本トシ輪伐齡ハ工藝的ニ因リ而シテ其方式ハ面積法ニヨルコト、定メ著々施業案ヲ編成セリ此方式ニ從フ時ハ年々材量ニ多少ノ差ヲ免カレサレトモ能ク實地ノ運用ヲ巧ニナストキハ凡ソ一割以內ノ差ヲ生スルノミニテ足ルヲ以テ實際大ナル差支ナシトシ將來尙此方

施業ノ主
及方式

式ノミニテ進行スル方針ナリト云フ

森林法第十七條ハ森林所有者ニ一大義務ヲ附加シタル規定ニシテ即チ國有、地方行政團體有、町村有、公私基本、世襲財產、宗教團體及其箇人有、組合有並礦業又ハ其他工業上ノ目的ヲ以テ成立スル株式會社有ノ森林ハ正式ノ施業案ヲ編製シテ作業セサルヘカラサルナリ然レトモ國有林其他一二ノモノハ法定ノ如ク實行スルコトヲ得シモ國內森林ノ多數ヲ占ムル町村林ハ經濟上及森林役員ノ需用上充分ニ許サ、ル所アリテ遂ニ法律ノ希望スル如ク行ハレス爲メニ千八百九十八年更ニ法律第十九號ヲ發シテ町村林及其他ノ森林並裸地ヲ特ニ政府ニ於テ管理スルコトニ改メ初テ國有林外ノ森林ノ干涉施業モ法律ノ預期スルカ如ク圓滿ニ之レヲ行フヲ得ルニ至レリ是ヨリ先キ森林法發布ノ當時既ニ該法ニ規定セラレタル假施業案ノ取除方法アリ即チ正式施業案ヲ編成スルニハ尙ホ多少ノ期間ヲ要スル場合ニシテ然レトモ其所有者ノ現在ノ施業方法ハ不規則ナルノミナラス延テ該森林ニ有害アリト認メラル、森林ニ向

施業案編成ノ成蹟

テ之レヲ作ラシメ直ニ本案ニヨリテ施業スルコトヲ許シタルモノ之レナリ
今森林法發布以來千八百九十四年末ニ至ル成蹟ヲ見ルニ

認可済成 認可済面積

正式施業案	七、二五九	三、八五八、〇五六ヨツホ(二、二二〇、三一一ヘクタール)
假 施業案	四、九八三	四、二一八、一七四全 (二、四二七、五五九全)
計	八、〇七六、二三〇全	(四、六四七、八七〇全)

右ノ如ク八年前既ニ大半ノ施業案ヲ編製セシモノニシテ官民林總面積九百有餘萬ヘクタールヨリ森林法第十七條施業案ノ編成ニ服從セサル民林三百有餘萬ヘクタールヲ減シ尙本表ノ編成済面積ヲ差引クトキハ殘部ハ實ニ僅少ナリ小官今春其編製ノ成蹟ヲ當局者ニ尋ネタル時當局者答テ曰ク施業案編成事業ハ漸ク完了シタリト見做スヘキ程度ニ達セリト是レ決シテ過言ニアラスト云フヘシ而シテ千八百九十八年法律第十九號町村林等ニ關スル法律ノ主意ハ如何ナル少面積ニテモ政府ニ於テ管理スルコトヲ得ト云フニアラスシテ五千ヨツホ

以上ナルトキハ政府ノ管理ヲ受ケテ其施業ヲ委託スルカ若クハ政府ノ認許セラル森林官ヲ聘用シテ其管理ヲ委セサルヘカラスト云フニアルナリ
尙國施業案編成上ノ要點ハ森林ノ保存保持ヲ安全ニシ利用ノ保續ヲ期シ適實ナル林産ヲ擧ケントスルニアリ此觀察ニ基ケルカ爲メ自然樹種作業種輪伐期更新及撫育ノ方法森林ノ區劃利用ノ順序等ニ大ニ注意ヲ爲ス前ニモ述ヘタル如ク尙國ニハ森林全面積ノ二七、九%ハ樺林五一、四%ハ山毛櫸其他ノ闊葉樹林二〇、七%ハ針葉樹林ニシテ山毛櫸林尙追次擴延スルノ虞アルヲ以テ林政上可成樺林及針葉樹林ニ變換セントノ大方針ヲ執レリ總シテ此國ノ森林ハ森林法實施以來長足ノ進歩ヲ爲シタレトモ森林ノ蓄積ニ至ツテハ法正ヲ得ルコト甚ク遠シ是レ放牧ノ慣習ニシテ容易ニ制限スルヲ得サルモノアレハナリ之レヲ補正センニハ將來尙數十年間當局者ノ思慮ヲ勞セサルヘカラス
此國ノ南部即チスラフオニエンノ平地及高原ハ頗ル豐饒ニシテ西歐州ニ於テ上等地ト稱セラル、モノヨリ遙ニ勝レリト雖モ其村落最寄又ハ丘岡ニ於テハ

正式施業
案編成順
序

柳ハ云フニ及ハス諸林木ヲ亂伐シタルヲ以テ一般ニ土地ノ生産力ヲ減耗シ材
量ノ蓄積モ充分ナラスシテ年度級モ不正ナリ故ニ勢ヒ幼木ニテモ速ニ伐採セ
サルヘカラサル形勢ニ陥リ其極深山ニアル過年度ノ大木ヲ多量伐採スルニ至
ルハ勢ノ免レサル所ナリ

作業種ニ付テ云フトキハ概シテ針葉樹ハ喬林トシ就中唐檜ハ皆伐シテ人工植
栽ヲ爲スノ方針ヲ執リ樅ハ陰伐法(Schirmschlag)ヲ施スコト、セリ又保安林ノ作
業ハ區劃擇伐法ニ依ルヲ原則トス而シテ匈國ノ更新方法ハ主トシテ天然生育
ノ方針ニ依ルモノニシテ喬林ノ伐期ハ普通八十年乃至百二十年ナレトモ稀ニ
ハ六十年乃至七十年トスルコトアリ矮林ハ十年乃至六十年ノ伐期ニ依ルヲ普
通トシ施業期ハ喬林二十年矮林十年ニシテ施業案編成順序ハ左ノ如シ

- 一、 森林記載一斑
- 二、 面積表
- 三、 材積及生長量表

- 四、 特別ナル林木ノ記載簿
- 五、 地位級表
- 六、 年度級表
- 七、 法正材量表
- 八、 現在林齡級表
- 九、 施業基案
- 十、 第一期主伐案
- 十一、 第一期間伐案
- 十二、 第一期副產物收穫案
- 十三、 第一期造林案
- 十四、 調査簿
- 十五、 面積移動簿
- 十六、 主伐移動簿